

令和 5 年度 (2023 年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和 6 年 8 月

令和5年度(2023年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I・調査方法等 >

1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2

< II・回収状況 >

回収状況	5
------	---

< III・調査結果 >

1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 障害学生数	
(2) 障害学生在籍率	
(3) 障害種別の障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別・学校種別)	
ア 発達障害と他の障害の重複	
イ 精神障害と他の障害の重複	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生数別	
4. 支援障害学生数	18
(1) 支援障害学生数	
(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率	
(3) 障害種別の支援障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別・学校種別)	
ア 発達障害と他の障害の重複	
イ 精神障害と他の障害の重複	

5. 支援障害学生 在籍学校数	26
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生数別	
6. 支援の実施状況	29
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援(総表)	
イ 授業以外の支援(総表)	
ウ 授業支援(大学)	
エ 授業以外の支援(大学)	
オ 授業支援(短期大学)	
カ 授業以外の支援(短期大学)	
キ 授業支援(高等専門学校)	
ク 授業以外の支援(高等専門学校)	
(3) 主な支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等	49
(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)	
(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(4-1) 障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(4-2) 障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)	
(4-3) 障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)	
(5) 障害学生の相談受付窓口	
(6) 支援の申出等に関する対応手順	
(7) 施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)	
(8) 支援学生(障害学生を支援する学生) 在籍学校数(支援学生数別・学校種別)	
8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況	59
(1) 学校種別・障害学生数別	
(2) 学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入れに関する配慮及び入学者数等	63
(1) 入学者選抜における配慮に関する体制	
(2) 入学者選抜において実施可能な配慮	
(3) 障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)	
(4) 受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別・課程別)	
(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別・配慮内容別)	

10. 障害学生の卒業後の進路	70
(1) 進路状況(学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況(一部再掲)	75
(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学校種別)	
(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)	
(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)	
(4) 発達障害学生への支援(支援内容別・学校種別)	
(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別・課程別)	
(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引	81
調査票(大学・大学院用)	95

< I・調査方法等 >

1.調査概要

- (1) 目的:障害のある学生(以下「障害学生」という。)の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校(以下「学校」という。)における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象:大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ。)、短期大学(大学内に短期大学部を有している場合及び専門職短期大学、専攻科を含む。以下同じ。)、高等専門学校(専攻科を含む。以下同じ。)
- (3) 調査方法:悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトから調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付で提出する。
- (4) 調査期日:令和5年5月1日現在

2.表記区分

(1)学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む。)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合及び専門職短期大学、専攻科を含む。)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む。)

(2)課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生を含まない。

(3)障害種別

障害種別	区 分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書あり)	SLD(限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害(診断書なし・配慮あり)	SLD(限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害)、区分不明

3.注意事項

(1)本調査における用語の定義

①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)

②「支援障害学生」とは、学校に支援の申出があり、それに対して学校が何らかの支援を行っている障害学生(今年度中の支援予定を含む。)

支援例:ノートイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

③障害種別の内訳区分

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用しての教育が必要な程度

弱視…視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度

(視野障害や、明るいところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む。)

※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(色覚異常、片目の失明等)を記入する。

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、口蓋裂）

※片耳の聾や難聴については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨（片耳の難聴等）を記入する。

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指及び各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指及び各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害及び運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。

内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者

※1：「身体障害者障害程度等級表」又は「小児慢性特定疾病」に該当する者

他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する。）

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下のとおり身体障害が重複している者

○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害又は精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない（14、15ページ、24、25 ページ参照）。

【発達障害（診断書あり）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

SLD……限局性学習症／限局性学習障害（旧LD：学習障害）

ADHD……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥／多動性障害）

ASD……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等:高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

以下の疾患が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者又は健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害(ICD-10 F20-F29に該当する疾患)

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分(感情)障害等(ICD-10 F30-F39に該当する疾患)

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害(強迫神経症)、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性(転換性)障害、身体表現性障害、神経衰弱等(ICD-10 F40-F48に該当する疾患)

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等(ICD-10 F50-F59に該当する疾患)

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等

【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者のうち、生活規制を必要とする程度のもの。

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

(2) 発達障害学生数について

発達障害学生数について、医師の診断書がない場合は「障害学生数」に含めていない。しかし、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により発達障害(診断書なし・配慮あり)の学生数、支援内容について回答を得ている。

【発達障害(診断書なし・配慮あり)】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援(教育上の配慮等)を行なっている者

※何らかの支援(教育上の配慮等)とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

SLD……限局性学習症／限局性学習障害(旧LD:学習障害)

ADHD…注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥／多動性障害)

ASD……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等:高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

< Ⅱ・回收状況 >

回収状況

本年度の回収率は100%である。本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは平成24年度を除いて回収率100%を達成している。

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	100	(101)	100	(101)	100.0	(100.0)
	私立	626	(626)	626	(626)	100.0	(100.0)
	小計	812	(813)	812	(813)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	15	(14)	15	(14)	100.0	(100.0)
	私立	283	(290)	283	(290)	100.0	(100.0)
	小計	298	(304)	298	(304)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	4	(3)	4	(3)	100.0	(100.0)
	小計	58	(57)	58	(57)	100.0	(100.0)
計		1,168	(1,174)	1,168	(1,174)	100.0	(100.0)

【留意点】

- ①表中の()内は、前年度の調査結果の数値である。
- ②表中の比率(%)については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果>においても同様である。

< Ⅲ・調査結果 >

1. 学校全体の学生数

学校からの回答における令和5年5月1日現在の学生数

表1 学校全体の学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

学校種別	課程別計	学部・学科・ 本科(通学)	学部・学科 (通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
学校種別計	3,247,212 (3,246,852)	2,769,762 (2,777,424)	204,425 (199,378)	263,365 (259,698)	3,603 (3,542)	6,057 (6,810)	
国立	635,717 (635,454)	478,947	—	153,568	—	3,202	
公立	171,761 (169,908)	154,228	—	17,052	—	481	
私立	2,439,734 (2,441,490)	2,136,587	204,425	92,745	3,603	2,374	
大学	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
	3,085,748 (3,076,995)	2,632,917 (2,632,029)	184,633 (180,471)	263,365 (259,698)	3,603 (3,542)	1,230 (1,255)	
	国立	584,764 (584,320)	430,892	—	153,568	—	304
	公立	162,789 (161,026)	145,557	—	17,052	—	180
私立	2,338,195 (2,331,649)	2,056,468	184,633	92,745	3,603	746	
短期大学	計	学科(通学)	学科(通信)			専攻科	
	104,973 (113,204)	83,474 (91,889)	19,792 (18,907)			1,707 (2,408)	
	国立	—	—			—	
	公立	5,162 (5,102)	5,038	—		124	
私立	99,811 (108,102)	78,436	19,792		1,583		
高等専門学校	計	本科(通学)				専攻科	
	56,491 (56,653)	53,371 (53,506)				3,120 (3,147)	
	国立	50,953 (51,134)	48,055			2,898	
	公立	3,810 (3,780)	3,633			177	
	私立	1,728 (1,739)	1,683			45	

()内は前年度数値

2.障害学生数

(1)障害学生数

○「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は58,141人で、前年度(49,672人)より8,469人の増。

表2-1 障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

学校種別	課程別計	学部・学科・ 本科(通学)	学部・学科 (通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
学校種別計	58,141 (49,672)	52,246 (44,330)	2,992 (2,673)	2,777 (2,553)	16 (21)	110 (95)	
国立	12,190 (10,947)	10,308	—	1,810	—	72	
公立	3,809 (2,941)	3,572	—	233	—	4	
私立	42,142 (35,784)	38,366	2,992	734	16	34	
大学	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
	52,087 (44,448)	46,317 (39,223)	2,965 (2,645)	2,777 (2,553)	16 (21)	12 (6)	
	国立	9,320 (8,422)	7,503	—	1,810	—	7
	公立	3,175 (2,477)	2,942	—	233	—	0
私立	39,592 (33,549)	35,872	2,965	734	16	5	
短期大学	計	学科(通学)	学科(通信)			専攻科	
	2,650 (2,296)	2,595 (2,251)	27 (28)			28 (17)	
	国立	—	—	—		—	
	公立	218 (170)	216	—		2	
私立	2,432 (2,126)	2,379	27		26		
高等専門学校	計	本科(通学)				専攻科	
	3,404 (2,928)	3,334 (2,856)				70 (72)	
	国立	2,870 (2,525)	2,805			65	
	公立	416 (294)	414			2	
	私立	118 (109)	115			3	

()内は前年度数値

(2) 障害学生在籍率

○全学生(3,247,212人)に占める障害学生の在籍率は1.79%で、前年度(1.53%)より0.26ポイントの増。

表2-2 障害学生在籍率 [学校種別・設置者別・課程別]

学校種別の 在籍率	全体の在籍率	学部・学科・ 本科(通学)	学部・学科 (通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
	(%)						
	1.79 (1.53)	1.89 (1.60)	1.46 (1.34)	1.05 (0.98)	0.44 (0.59)	1.82 (1.40)	
国立	1.92 (1.72)	2.15	—	1.18	—	2.25	
公立	2.22 (1.73)	2.32	—	1.37	—	0.83	
私立	1.73 (1.47)	1.80	1.46	0.79	0.44	1.43	
大学	在籍率	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
	1.69 (1.44)	1.76 (1.49)	1.61 (1.47)	1.05 (0.98)	0.44 (0.59)	0.98 (0.48)	
	国立	1.59 (1.44)	1.74	—	1.18	—	2.30
	公立	1.95 (1.54)	2.02	—	1.37	—	0
	私立	1.69 (1.44)	1.74	1.61	0.79	0.44	0.67
短期大学	在籍率	学科(通学)	学科(通信)			専攻科	
	2.52 (2.03)	3.11 (2.45)	0.14 (0.15)			1.64 (0.71)	
	国立	—	—	—		—	
	公立	4.22 (3.33)	4.29	—		1.61	
	私立	2.44 (1.97)	3.03	0.14		1.64	
高等専門学校	在籍率	本科(通学)				専攻科	
	6.03 (5.17)	6.25 (5.34)				2.24 (2.29)	
	国立	5.63 (4.94)	5.84			2.24	
	公立	10.92 (7.78)	11.40			1.13	
	私立	6.83 (6.27)	6.83			6.67	

()内は前年度数値

(3) 障害種別の障害学生数

図2-1 障害学生数[障害種別]

○障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」の18,943人で、前年度(15,787人)より3,156人の増。「病弱・虚弱」の15,181人で、前年度(13,529人)より1,652人の増。「発達障害」の11,706人で、前年度(10,288人)より1,418人の増。

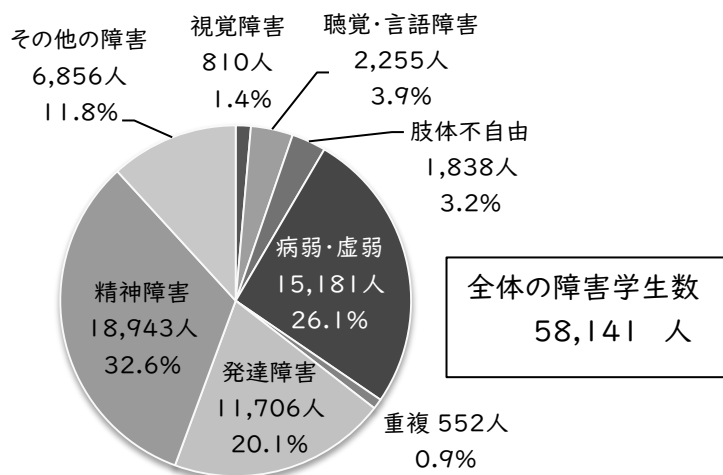


表2-3 障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	学校種別 計	大学	短期大学	高等専門学校
障害種別 計	58,141 (49,672)	52,087 (44,448)	2,650 (2,296)	3,404 (2,928)
視覚障害	810 (823)	738 (766)	26 (22)	46 (35)
盲	131 (141)	129	2	0
弱視	679 (682)	609	24	46
聴覚・言語障害	2,255 (2,005)	2,077 (1,875)	70 (61)	108 (69)
聾	467 (443)	458	9	0
難聴	1,716 (1,514)	1,559	57	100
言語障害のみ	72 (48)	60	4	8
肢体不自由	1,838 (1,983)	1,742 (1,877)	54 (54)	42 (52)
上肢機能障害	264 (278)	249	6	9
下肢機能障害	689 (714)	653	19	17
上下肢機能障害	489 (574)	467	13	9
他の機能障害	396 (417)	373	16	7
病弱・虚弱	15,181 (13,529)	13,269 (11,848)	993 (883)	919 (798)
内部障害等	8,952 (8,273)	8,027	487	438
他の慢性疾患	6,229 (5,256)	5,242	506	481
重複	552 (478)	519 (444)	17 (25)	16 (9)
発達障害	11,706 (10,288)	10,046 (8,811)	351 (317)	1,309 (1,160)
SLD	309 (254)	259	20	30
ADHD	4,090 (3,421)	3,523	112	455
ASD	4,929 (4,640)	4,168	159	602
発達障害の重複	2,378 (1,973)	2,096	60	222
精神障害	18,943 (15,787)	17,917 (14,903)	676 (579)	350 (305)
統合失調症等	899 (780)	861	32	6
気分障害	5,696 (4,489)	5,459	167	70
神経症性障害等	7,556 (5,952)	7,191	260	105
摂食障害・睡眠障害等	1,233 (1,084)	1,137	46	50
他の精神障害	3,559 (3,482)	3,269	171	119
その他の障害	6,856 (4,779)	5,779 (3,924)	463 (355)	614 (500)

()内は前年度数値

(4) 障害種別・学科(専攻)別

ア 大学

○大学に在籍している障害学生数(52,087人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」12,185人、「人文科学」11,295人、「工学」7,082人。

表2-4 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別](大学)

障害種別	(人)	学科(専攻)別											
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
障害種別 計	52,087	11,295	12,185	1,981	7,082	1,840	945	5,128	54	1,252	3,270	3,065	3,990
視覚障害	738	101	181	24	91	8	13	111	2	11	38	32	126
盲	129	17	23	7	12	0	0	19	0	0	3	10	38
弱視	609	84	158	17	79	8	13	92	2	11	35	22	88
聴覚・言語障害	2,077	308	492	68	345	51	35	227	1	41	193	140	176
聾	458	53	93	13	142	0	2	8	0	4	40	64	39
難聴	1,559	245	384	53	195	50	32	207	1	36	151	74	131
言語障害のみ	60	10	15	2	8	1	1	12	0	1	2	2	6
肢体不自由	1,742	348	552	37	158	29	30	159	1	20	111	89	208
上肢機能障害	249	38	72	10	30	8	5	30	0	6	20	10	20
下肢機能障害	653	124	184	14	64	7	18	82	1	6	47	39	67
上下肢機能障害	467	101	181	10	43	6	5	21	0	3	23	20	54
他の機能障害	373	85	115	3	21	8	2	26	0	5	21	20	67
病弱・虚弱	13,269	2,300	3,258	309	1,565	471	257	2,122	1	404	957	604	1,021
内部障害等	8,027	1,396	1,905	200	1,015	286	200	1,249	1	273	505	393	604
他の慢性疾患	5,242	904	1,353	109	550	185	57	873	0	131	452	211	417
重複	519	101	122	12	75	6	13	52	0	7	38	38	55
発達障害	10,046	2,381	2,182	631	1,934	478	86	401	18	115	426	691	703
SLD	259	53	55	12	42	14	2	10	0	2	15	20	34
ADHD	3,523	835	783	186	624	150	39	174	9	46	195	248	234
ASD	4,168	1,003	904	287	825	202	34	151	6	54	151	285	266
発達障害の重複	2,096	490	440	146	443	112	11	66	3	13	65	138	169
精神障害	17,917	4,571	4,091	786	2,192	638	403	1,293	27	440	1,127	1,111	1,238
統合失調症等	861	207	232	35	88	22	15	52	1	13	31	68	97
気分障害	5,459	1,436	1,239	233	731	193	105	376	8	111	299	368	360
神経症性障害等	7,191	1,880	1,670	318	805	248	188	527	14	188	472	413	468
摂食障害・睡眠障害等	1,137	255	206	52	124	53	44	117	3	51	74	66	92
他の精神障害	3,269	793	744	148	444	122	51	221	1	77	251	196	221
その他の障害	5,779	1,185	1,307	114	722	159	108	763	4	214	380	360	463

(4) 障害種別・学科(専攻)別
イ 短期大学

○短期大学に在籍している障害学生数(2,650人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」834人、「家政」473人、「社会」332人。

表2-5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	学科 (専攻) 別 計	人	社	教	工	農	保	家	教	芸	そ
		文	会	養	業	業	健	政	育	術	の
障害種別 計	2,650	275	332	53	45	18	144	473	834	262	214
視覚障害	26	2	3	1	0	0	0	6	9	3	2
盲	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
弱視	24	2	3	1	0	0	0	6	9	1	2
聴覚・言語障害	70	11	8	0	2	0	3	11	20	7	8
聾	9	0	0	0	0	0	0	2	3	4	0
難聴	57	9	8	0	2	0	3	8	17	3	7
言語障害のみ	4	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1
肢体不自由	54	6	14	1	1	0	1	7	15	2	7
上肢機能障害	6	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1
下肢機能障害	19	3	0	1	1	0	1	4	7	0	2
上下肢機能障害	13	1	6	0	0	0	0	0	3	0	3
他の機能障害	16	1	7	0	0	0	0	2	4	1	1
病弱・虚弱	993	54	132	20	6	3	63	184	385	69	77
内部障害等	487	37	67	13	4	3	37	92	172	30	32
他の慢性疾患	506	17	65	7	2	0	26	92	213	39	45
重複	17	2	3	1	0	0	0	5	4	1	1
発達障害	351	53	46	15	14	9	8	56	74	42	34
SLD	20	1	3	1	0	2	0	2	8	1	2
ADHD	112	16	16	5	4	4	7	11	33	9	7
ASD	159	25	23	7	4	1	1	25	25	29	19
発達障害の重複	60	11	4	2	6	2	0	18	8	3	6
精神障害	676	101	73	11	10	6	32	121	177	89	56
統合失調症等	32	8	3	1	0	1	1	3	7	6	2
気分障害	167	30	21	1	2	1	5	22	42	26	17
神経症性障害等	260	34	27	5	4	1	17	51	73	25	23
摂食障害・睡眠障害等	46	7	4	0	0	1	3	11	13	5	2
他の精神障害	171	22	18	4	4	2	6	34	42	27	12
その他の障害	463	46	53	4	12	0	37	83	150	49	29

(4) 障害種別・学科(専攻)別

ウ 高等専門学校

○高等専門学校に在籍している障害学生数(3,404人)を学科(専攻)別に見ると、ほとんどの障害学生(3,359人)が「工業」に在籍している。

表2-6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

(人)	学科 (専攻) 別 計	学科(専攻)別			
		社会	工業	商船	芸術
障害種別 計	3,404	14	3,359	16	15
視覚障害	46	0	46	0	0
盲	0	0	0	0	0
弱視	46	0	46	0	0
聴覚・言語障害	108	0	107	0	1
聾	0	0	0	0	0
難聴	100	0	99	0	1
言語障害のみ	8	0	8	0	0
肢体不自由	42	0	42	0	0
上肢機能障害	9	0	9	0	0
下肢機能障害	17	0	17	0	0
上下肢機能障害	9	0	9	0	0
他の機能障害	7	0	7	0	0
病弱・虚弱	919	9	903	1	6
内部障害等	438	3	429	1	5
他の慢性疾患	481	6	474	0	1
重複	16	0	16	0	0
発達障害	1,309	1	1,295	9	4
SLD	30	0	30	0	0
ADHD	455	0	448	6	1
ASD	602	1	598	0	3
発達障害の重複	222	0	219	3	0
精神障害	350	3	342	4	1
統合失調症等	6	0	6	0	0
気分障害	70	0	70	0	0
神経症性障害等	105	1	102	1	1
摂食障害・睡眠障害等	50	0	49	1	0
他の精神障害	119	2	115	2	0
その他の障害	614	1	608	2	3

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別・学校種別)

ア 発達障害と他の障害の重複

○発達障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」との重複が681人、「病弱・虚弱」との重複が210人となっている。

○学校種別で見ると、「大学」と「短期大学」では「精神障害」との重複が最も多く、「高等専門学校」では「病弱・虚弱」との重複が最も多くなっている。

表2-7 発達障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別・学校種別]

学校種別 計 (人)	大学						短期大学					高等専門学校				
	S L D	A D D	A H D	A S D	発達障害の 重複		S L D	A D D	A H D	A S D	発達障害の 重複	S L D	A D D	A H D	A S D	発達障害の 重複
障害種別 計	1,229	1,153	26	473	462	192	36	1	18	16	1	40	1	19	12	8
視覚障害	20	17	0	1	13	3	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	20	17	0	1	13	3	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0
聴覚・言語障害	33	32	2	17	11	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
聾	9	9	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	23	22	1	11	8	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
言語障害のみ	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	27	25	0	7	15	3	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0
上肢機能障害	3	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	7	5	0	2	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0
上下肢機能障害	4	4	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	13	13	0	3	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	210	191	5	65	76	45	7	1	3	3	0	12	1	5	3	3
内部障害等	107	98	2	32	41	23	3	1	1	1	0	6	0	3	2	1
他の慢性疾患	103	93	3	33	35	22	4	0	2	2	0	6	1	2	1	2
重複	122	120	1	52	43	24	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
精神障害	681	652	15	278	265	94	21	0	12	9	0	8	0	4	3	1
統合失調症等	22	21	0	9	10	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	253	242	3	124	74	41	10	0	4	6	0	1	0	1	0	0
神経症性障害等	230	220	3	73	114	30	8	0	5	3	0	2	0	1	1	0
摂食障害・睡眠障害等	40	38	2	21	9	6	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
他の精神障害	136	131	7	51	58	15	1	0	1	0	0	4	0	2	1	1
その他の障害	136	116	3	53	39	21	4	0	1	3	0	16	0	7	5	4

イ 精神障害と他の障害の重複

○精神障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」との重複が1,283人、「病弱・虚弱」との重複が310人となっている。

○学校種別で見ると、すべての学校種において、「発達障害」との重複が最も多くなっている。

表2-8 精神障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別・学校種別]

障害種別	学校種別 計	大学						短期大学						高等専門学校					
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害			
障害種別 計	2,069	1,976	56	601	642	122	555	61	2	13	25	7	14	32	0	6	9	1	16
視覚障害	13	13	2	2	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	13	13	2	2	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	29	28	2	3	12	4	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
聾	8	8	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	21	20	2	1	10	0	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	39	38	5	9	5	1	18	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	4	4	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	13	13	4	2	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	12	12	1	2	2	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	10	9	0	3	1	0	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	310	292	13	73	78	22	106	14	0	6	6	0	2	4	0	0	1	0	3
内部障害等	183	176	10	43	53	10	60	6	0	3	3	0	0	1	0	0	0	0	1
他の慢性疾患	127	116	3	30	25	12	46	8	0	3	3	0	2	3	0	0	1	0	2
重複	127	125	4	68	28	6	19	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	1,283	1,225	23	391	413	65	333	34	2	6	12	3	11	24	0	5	8	1	10
SLD	18	18	0	8	3	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	459	442	3	178	129	19	113	10	0	3	3	2	2	7	0	3	3	0	1
ASD	541	516	16	130	200	23	147	14	2	2	6	1	3	11	0	1	3	1	6
発達障害の重複	265	249	4	75	81	22	67	10	0	1	3	0	6	6	0	1	2	0	3
その他の障害	268	255	7	55	103	24	66	9	0	0	6	3	0	4	0	1	0	0	3

3. 障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

○障害学生が在籍している学校数は998校。

○障害種別の在籍学校数は多い順に「精神障害」875校、「発達障害」816校、「病弱・虚弱」798校。

表3-1 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	学校種別 計	大学	短期大学	高等専門学校
障害種別	998	721	220	57
視覚障害	307	262	24	21
盲	60	58	2	0
弱視	283	240	22	21
聴覚・言語障害	545	459	51	35
聾	107	100	7	0
難聴	514	436	43	35
言語障害のみ	54	46	4	4
肢体不自由	509	442	40	27
上肢機能障害	161	147	6	8
下肢機能障害	310	281	16	13
上下肢機能障害	232	211	12	9
他の機能障害	193	177	10	6
病弱・虚弱	798	608	139	51
内部障害等	738	577	112	49
他の慢性疾患	631	478	109	44
重複	155	141	9	5
発達障害	816	618	142	56
SLD	200	169	17	14
ADHD	654	523	77	54
ASD	672	531	90	51
発達障害の重複	468	386	37	45
精神障害	875	651	171	53
統合失調症等	362	330	27	5
気分障害	645	533	81	31
神経症性障害等	742	577	128	37
摂食障害・睡眠障害等	404	337	39	28
他の精神障害	636	504	88	44
その他の障害	690	527	118	45
全体の学校数	1,168	812	298	58

(2) 学生数別・学校種別・障害学生数別

○全学校(1,168校)に占める障害学生在籍学校の割合は85.4%。

○障害学生数別で見ると、多い順に「21人以上」539校、「0人」170校、「11~20人」147校。

○障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1~499人」274校、「1,000~1,999人」210校、「2,000~4,999人」172校。

表3-2 障害学生在籍学校数 [学校種別・障害学生数別]

	全体の (校) 学校数	障害学生 在籍学校数	障害学生 在籍率(%)	障害学生 21人以上	障害学生 11~20人	障害学生 6~10人	障害学生 2~5人	障害学生 1人	障害学生 0人
学校種別 計	1,168	998	85.4	539	147	112	139	61	170
大学	812	721	88.8	460	94	62	72	33	91
短期大学	298	220	73.8	33	47	48	65	27	78
高等専門学校	58	57	98.3	46	6	2	2	1	1

表3-3 障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・障害学生数別]

	(校) 学校数	障害学生 在籍学校数	障害学生 在籍率(%)	障害学生 21人以上	障害学生 11~20人	障害学生 6~10人	障害学生 2~5人	障害学生 1人	障害学生 0人
10,000人以上	72	72	100.0	71	0	0	1	0	0
大学	72	72	100.0	71	0	0	1	0	0
短期大学	0	0	-	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	-	0	0	0	0	0	0
5,000~9,999人	108	106	98.1	100	3	2	1	0	2
大学	106	105	99.1	100	3	2	0	0	1
短期大学	2	1	50.0	0	0	0	1	0	1
高等専門学校	0	0	-	0	0	0	0	0	0
2,000~4,999人	175	172	98.3	139	21	7	4	1	3
大学	173	170	98.3	139	19	7	4	1	3
短期大学	2	2	100.0	0	2	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	-	0	0	0	0	0	0
1,000~1,999人	229	210	91.7	121	37	23	23	6	19
大学	194	176	90.7	95	32	22	21	6	18
短期大学	5	5	100.0	1	2	0	2	0	0
高等専門学校	30	29	96.7	25	3	1	0	0	1
500~999人	194	164	84.5	69	33	23	29	10	30
大学	133	111	83.5	39	26	17	21	8	22
短期大学	35	27	77.1	9	4	5	7	2	8
高等専門学校	26	26	100.0	21	3	1	1	0	0
1~499人	390	274	70.3	39	53	57	81	44	116
大学	134	87	64.9	16	14	14	25	18	47
短期大学	254	185	72.8	23	39	43	55	25	69
高等専門学校	2	2	100.0	0	0	0	1	1	0

(注) 障害学生在籍率: 障害学生在籍学校数 ÷ 全体の学校数 × 100 (%)

4. 支援障害学生数

(1) 支援障害学生数

○障害学生数(58,141人)のうち支援障害学生数は32,002人で、前年度(27,121人)より4,881人の増。

表4-1 支援障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

学校種別	課程別計	学部・学科・ 本科(通学)	学部・学科 (通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
学校種別計	32,002 (27,121)	29,023 (24,441)	1,396 (1,281)	1,522 (1,344)	8 (18)	53 (37)	
国立	7,458 (6,474)	6,346	—	1,082	—	30	
公立	1,662 (1,452)	1,584	—	75	—	3	
私立	22,882 (19,195)	21,093	1,396	365	8	20	
大学	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科	
	29,486 (24,852)	26,554 (22,215)	1,390 (1,270)	1,522 (1,344)	8 (18)	12 (5)	
	国立	6,273 (5,440)	5,184	—	1,082	—	7
	公立	1,368 (1,241)	1,293	—	75	—	0
私立	21,845 (18,171)	20,077	1,390	365	8	5	
短期大学	計	学科(通学)	学科(通信)			専攻科	
	1,096 (1,044)	1,073 (1,028)	6 (11)			17 (5)	
	国立	—	—	—		—	
	公立	88 (64)	86	—		2	
私立	1,008 (980)	987	6		15		
高等専門学校	計	本科(通学)				専攻科	
	1,420 (1,225)	1,396 (1,198)				24 (27)	
	国立	1,185 (1,034)	1,162			23	
	公立	206 (147)	205			1	
	私立	29 (44)	29			0	

()内は前年度数値

(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率

○全学生(3,247,212人)に占める支援障害学生の在籍率は0.99%で、前年度(0.84%)より0.15ポイントの増。

○障害学生(58,141人)に占める支援障害学生の割合(障害学生支援率)は55.0%で、前年度(54.6%)より0.4ポイントの増。

表4-2 支援障害学生在籍率・障害学生支援率 [学校種別・設置者別・課程別]

	全体の 在籍率 (%)	全体の 支援率	学部・学科・ 本科(通学)		学部・学科 (通信)		大学院(通学)		大学院(通信)		専攻科	
			在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率
学校種別の 在籍率・支援率	0.99 (0.84)	55.0 (54.6)	1.05 (0.88)	55.6 (55.1)	0.68 (0.64)	46.7 (47.9)	0.58 (0.52)	54.8 (52.6)	0.22 (0.51)	50.0 (85.7)	0.88 (0.54)	48.2 (38.9)
国立	1.17 (1.02)	61.2 (59.1)	1.32	61.6	—	—	0.70	59.8	—	—	0.94	41.7
公立	0.97 (0.85)	43.6 (49.4)	1.03	44.3	—	—	0.44	32.2	—	—	0.62	75.0
私立	0.94 (0.79)	54.3 (53.6)	0.99	55.0	0.68	46.7	0.39	49.7	0.22	50.0	0.84	58.8
大学	在籍率	支援率	学部(通学)		学部(通信)		大学院(通学)		大学院(通信)		専攻科	
			在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率
	0.96 (0.81)	56.6 (55.9)	1.01 (0.84)	57.3 (56.6)	0.75 (0.70)	46.9 (48.0)	0.58 (0.52)	54.8 (52.6)	0.22 (0.51)	50.0 (85.7)	0.98 (0.40)	100.0 (83.3)
国立	1.07 (0.93)	67.3 (64.6)	1.20	69.1	—	—	0.70	59.8	—	—	2.30	100.0
公立	0.84 (0.77)	43.1 (50.1)	0.89	43.9	—	—	0.44	32.2	—	—	—	—
私立	0.93 (0.78)	55.2 (54.2)	0.98	56.0	0.75	46.9	0.39	49.7	0.22	50.0	0.67	100.0
短期大学	在籍率	支援率	学科(通学)		学科(通信)						専攻科	
			在籍率	支援率	在籍率	支援率					在籍率	支援率
	1.04 (0.92)	41.4 (45.5)	1.29 (1.12)	41.3 (45.7)	0.03 (0.06)	22.2 (39.3)					1.00 (0.21)	60.7 (29.4)
国立	—	—	—	—	—	—					—	—
公立	1.70 (1.25)	40.4 (37.6)	1.71	39.8	—	—					1.61	100.0
私立	1.01 (0.91)	41.4 (46.1)	1.26	41.5	0.03	22.2					0.95	57.7
高等専門学校	在籍率	支援率	本科(通学)								専攻科	
			在籍率	支援率							在籍率	支援率
	2.51 (2.16)	41.7 (41.8)	2.62 (2.24)	41.9 (41.9)							0.77 (0.86)	34.3 (37.5)
国立	2.33 (2.02)	41.3 (41.0)	2.42	41.4							0.79	35.4
公立	5.41 (3.89)	49.5 (50.0)	5.64	49.5							0.56	50.0
私立	1.68 (2.53)	24.6 (40.4)	1.72	25.2							0.00	0.0

(注1) 支援障害学生在籍率:支援障害学生数÷全体の学生数×100(%)

(注2) 障害学生支援率:支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

()内は前年度数値

(3) 障害種別の支援障害学生数

図4-1 支援障害学生数[障害種別]

○支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」の12,554人で、前年度(10,222人)より2,332人の増。「発達障害」の8,227人で、前年度(7,164人)より1,063人の増。「病弱・虚弱」の4,778人で、前年度(4,191人)より587人の増。

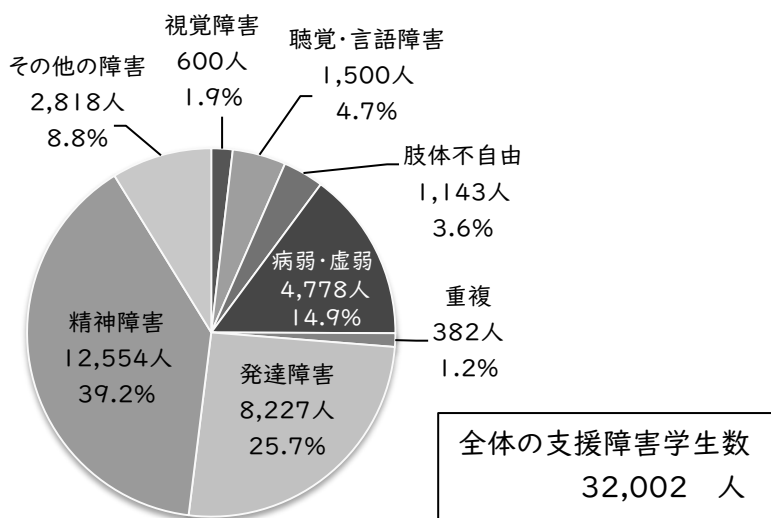


表4-3 支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	学校種別 計	大学	短期大学	高等専門学校
障害種別 計	32,002 (27,121)	29,486 (24,852)	1,096 (1,044)	1,420 (1,225)
視覚障害	600 (607)	568 (581)	18 (13)	14 (13)
盲	124 (132)	122	2	0
弱視	476 (475)	446	16	14
聴覚・言語障害	1,500 (1,387)	1,411 (1,315)	48 (43)	41 (29)
聾	429 (417)	420	9	0
難聴	1,038 (945)	964	35	39
言語障害のみ	33 (25)	27	4	2
肢体不自由	1,143 (1,215)	1,092 (1,154)	30 (38)	21 (23)
上肢機能障害	121 (136)	116	2	3
下肢機能障害	405 (402)	388	7	10
上下肢機能障害	358 (405)	343	10	5
他の機能障害	259 (272)	245	11	3
病弱・虚弱	4,778 (4,191)	4,178 (3,580)	210 (241)	390 (370)
内部障害等	3,195 (2,732)	2,929	105	161
他の慢性疾患	1,583 (1,459)	1,249	105	229
重複	382 (339)	369 (328)	6 (7)	7 (4)
発達障害	8,227 (7,164)	7,405 (6,483)	247 (220)	575 (461)
SLD	228 (181)	198	13	17
ADHD	2,785 (2,346)	2,530	76	179
ASD	3,388 (3,151)	3,027	111	250
発達障害の重複	1,826 (1,486)	1,650	47	129
精神障害	12,554 (10,222)	11,958 (9,699)	408 (362)	188 (161)
統合失調症等	578 (470)	553	20	5
気分障害	3,801 (2,962)	3,655	100	46
神経症性障害等	5,103 (3,920)	4,877	164	62
摂食障害・睡眠障害等	702 (613)	655	26	21
他の精神障害	2,370 (2,257)	2,218	98	54
その他の障害	2,818 (1,996)	2,505 (1,712)	129 (120)	184 (164)

()内は前年度数値

(4) 障害種別・学科(専攻)別

ア 大学

○大学に在籍している支援障害学生数(29,486人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「人文科学」7,137人、「社会科学」7,017人、「工学」4,018人。

表4-4 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (大学)

障害種別	(人)	学科(専攻)別												
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他	
障害種別計	29,486	7,137	7,017	1,319	4,018	1,180	531	2,138	32	698	1,750	1,390	2,276	
視覚障害	568	75	138	21	71	6	7	91	1	5	26	23	104	
盲	122	16	21	7	11	0	0	18	0	0	2	10	37	
弱視	446	59	117	14	60	6	7	73	1	5	24	13	67	
聴覚・言語障害	1,411	198	335	57	247	32	23	119	1	25	154	92	128	
聾	420	50	83	12	135	0	2	7	0	4	38	52	37	
難聴	964	145	243	43	108	31	21	111	1	20	114	39	88	
言語障害のみ	27	3	9	2	4	1	0	1	0	1	2	1	3	
肢体不自由	1,092	219	371	21	89	17	18	93	1	13	56	30	164	
上肢機能障害	116	21	36	3	7	4	3	16	0	2	11	1	12	
下肢機能障害	388	70	117	9	43	3	11	47	1	5	20	13	49	
上下肢機能障害	343	75	145	6	28	3	2	17	0	3	13	8	43	
他の機能障害	245	53	73	3	11	7	2	13	0	3	12	8	60	
病弱・虚弱	4,178	797	1,104	110	539	214	77	476	1	124	257	145	334	
内部障害等	2,929	547	772	81	372	145	60	363	1	91	167	91	239	
他の慢性疾患	1,249	250	332	29	167	69	17	113	0	33	90	54	95	
重複	369	73	73	11	66	4	8	31	0	5	33	29	36	
発達障害	7,405	1,902	1,561	520	1,363	373	61	275	15	94	307	401	533	
SLD	198	43	44	9	26	10	2	8	0	1	12	15	28	
ADHD	2,530	658	546	144	437	111	27	115	7	38	139	141	167	
ASD	3,027	794	625	243	576	153	22	106	5	46	107	158	192	
発達障害の重複	1,650	407	346	124	324	99	10	46	3	9	49	87	146	
精神障害	11,958	3,319	2,834	511	1,345	450	280	799	10	339	746	548	777	
統合失調症等	553	129	147	20	67	15	9	30	0	12	18	29	77	
気分障害	3,655	1,059	876	166	420	133	74	226	4	94	196	192	215	
神経症性障害等	4,877	1,379	1,192	189	516	185	134	333	5	148	314	202	280	
摂食障害・睡眠障害等	655	171	117	30	69	29	33	69	0	29	42	26	40	
他の精神障害	2,218	581	502	106	273	88	30	141	1	56	176	99	165	
その他の障害	2,505	554	601	68	298	84	57	254	3	93	171	122	200	

(4) 障害種別・学科(専攻)別
イ 短期大学

○短期大学に在籍している支援障害学生数(1,096人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」311人、「家政」166人、「人文」150人。

表4-5 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

障害種別	(人)	学科(専攻)別										
		計	人文	社会	教養	工業	農業	保健	家政	教育	芸術	その他
障害種別 計	1,096		150	138	26	35	5	59	166	311	120	86
視覚障害	18		0	3	0	0	0	0	3	7	3	2
盲	2		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
弱視	16		0	3	0	0	0	0	3	7	1	2
聴覚・言語障害	48		8	7	0	0	0	2	8	13	6	4
聾	9		0	0	0	0	0	0	2	3	4	0
難聴	35		6	7	0	0	0	2	5	10	2	3
言語障害のみ	4		2	0	0	0	0	0	1	0	0	1
肢体不自由	30		3	12	1	0	0	1	2	6	0	5
上肢機能障害	2		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	7		0	0	1	0	0	1	1	3	0	1
上下肢機能障害	10		1	5	0	0	0	0	0	1	0	3
他の機能障害	11		1	6	0	0	0	0	1	2	0	1
病弱・虚弱	210		13	24	10	4	0	19	24	94	6	16
内部障害等	105		9	17	6	3	0	14	12	34	0	10
他の慢性疾患	105		4	7	4	1	0	5	12	60	6	6
重複	6		1	2	1	0	0	0	0	0	1	1
発達障害	247		40	34	8	14	5	5	38	47	36	20
SLD	13		1	2	0	0	1	0	0	7	1	1
ADHD	76		13	12	2	4	3	5	5	23	7	2
ASD	111		18	16	4	4	0	0	19	12	25	13
発達障害の重複	47		8	4	2	6	1	0	14	5	3	4
精神障害	408		71	45	6	10	0	21	70	106	51	28
統合失調症等	20		8	2	1	0	0	0	0	3	5	1
気分障害	100		19	18	0	2	0	4	11	25	15	6
神経症性障害等	164		22	15	3	4	0	13	30	52	12	13
摂食障害・睡眠障害等	26		5	2	0	0	0	1	8	8	2	0
他の精神障害	98		17	8	2	4	0	3	21	18	17	8
その他の障害	129		14	11	0	7	0	11	21	38	17	10

(4) 障害種別・学科(専攻)別
ウ 高等専門学校

○高等専門学校に在籍している支援障害学生数(1,420人)を学科(専攻)別に見ると、障害学生数と同様に、ほとんどの支援障害学生(1,406人)が「工業」に在籍している。

表4-6 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

(人)	学科 (専攻) 別 計	学科(専攻)別			
		社会	工業	商船	芸術
障害種別 計	1,420	11	1,406	1	2
視覚障害	14	0	14	0	0
盲	0	0	0	0	0
弱視	14	0	14	0	0
聴覚・言語障害	41	0	41	0	0
聾	0	0	0	0	0
難聴	39	0	39	0	0
言語障害のみ	2	0	2	0	0
肢体不自由	21	0	21	0	0
上肢機能障害	3	0	3	0	0
下肢機能障害	10	0	10	0	0
上下肢機能障害	5	0	5	0	0
他の機能障害	3	0	3	0	0
病弱・虚弱	390	9	381	0	0
内部障害等	161	3	158	0	0
他の慢性疾患	229	6	223	0	0
重複	7	0	7	0	0
発達障害	575	1	572	1	1
SLD	17	0	17	0	0
ADHD	179	0	179	0	0
ASD	250	1	248	0	1
発達障害の重複	129	0	128	1	0
精神障害	188	0	188	0	0
統合失調症等	5	0	5	0	0
気分障害	46	0	46	0	0
神経症性障害等	62	0	62	0	0
摂食障害・睡眠障害等	21	0	21	0	0
他の精神障害	54	0	54	0	0
その他の障害	184	1	182	0	1

(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別・学校種別)

ア 発達障害と他の障害の重複

○発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」549人、「病弱・虚弱」141人となっている。

表4-7 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

学校種別 計 (人)	大学						短期大学					高等専門学校				
	S L D	A D D	A H D	A S D	発達障害の重複		S L D	A D D	A S D	発達障害の重複		S L D	A D D	A S D	発達障害の重複	
障害種別 計	927	876	24	361	361	130	25	1	12	11	1	26	1	11	8	6
視覚障害	17	15	0	1	11	3	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	17	15	0	1	11	3	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
聴覚・言語障害	27	26	2	13	9	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
聾	8	8	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	19	18	1	7	8	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	18	17	0	2	12	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
上肢機能障害	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
上下肢機能障害	3	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	10	10	0	1	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	141	129	4	47	55	23	4	1	2	1	0	8	1	1	3	3
内部障害等	73	68	2	25	29	12	1	1	0	0	0	4	0	1	2	1
他の慢性疾患	68	61	2	22	26	11	3	0	2	1	0	4	1	0	1	2
重複	84	82	1	33	34	14	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
精神障害	549	526	14	231	210	71	16	0	8	8	0	7	0	4	2	1
統合失調症等	16	16	0	6	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	196	187	3	99	57	28	8	0	3	5	0	1	0	1	0	0
神経症性障害等	187	178	3	63	88	24	7	0	4	3	0	2	0	1	1	0
摂食障害・睡眠障害等	33	32	2	20	5	5	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
他の精神障害	117	113	6	43	51	13	1	0	1	0	0	3	0	2	0	1
その他の障害	91	81	3	34	30	14	2	0	0	2	0	8	0	3	3	2

イ 精神障害と他の障害の重複

○精神障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」1,061人、「病弱・虚弱」210人となっている。

表4-8 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

学校種別	大学							短期大学					高等専門学校						
	計	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	
(人)																			
障害種別 計	1,631	1,560	35	449	512	98	466	46	1	9	18	7	11	25	0	5	6	1	13
視覚障害	11	11	2	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	11	2	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	22	22	1	3	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聾	8	8	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	14	14	1	1	7	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	33	32	3	7	5	1	16	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	3	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	11	11	3	2	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	10	10	0	2	2	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	9	8	0	2	1	0	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	210	198	8	50	54	10	76	9	0	4	3	0	2	3	0	0	0	0	3
内部障害等	124	119	7	28	35	4	45	4	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1
他の慢性疾患	86	79	1	22	19	6	31	5	0	1	2	0	2	2	0	0	0	0	2
重複	85	84	3	37	23	4	17	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	1,061	1,013	12	317	333	60	291	29	1	4	12	3	9	19	0	4	6	1	8
SLD	17	17	0	8	2	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	380	366	2	145	106	18	95	9	0	2	3	2	2	5	0	2	2	0	1
ASD	438	417	6	102	161	20	128	12	1	2	6	1	2	9	0	1	2	1	5
発達障害の重複	226	213	4	62	64	21	62	8	0	0	3	0	5	5	0	1	2	0	2
その他の障害	209	200	6	35	85	19	55	6	0	0	3	3	0	3	0	1	0	0	2

5. 支援障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

○支援障害学生が在籍している学校数は914校。

○障害種別の在籍学校数は、多い順に「精神障害」761校、「発達障害」726校、「病弱・虚弱」631校。

表5-1 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	学校種別 計	大学	短期大学	高等専門学校
障害種別	914	680	179	55
視覚障害	243	214	17	12
盲	58	56	2	0
弱視	217	190	15	12
聴覚・言語障害	428	366	37	25
聾	104	97	7	0
難聴	394	341	28	25
言語障害のみ	28	22	4	2
肢体不自由	395	353	25	17
上肢機能障害	86	81	2	3
下肢機能障害	231	217	6	8
上下肢機能障害	191	177	9	5
他の機能障害	133	121	9	3
病弱・虚弱	631	505	87	39
内部障害等	563	469	58	36
他の慢性疾患	436	353	56	27
重複	126	120	5	1
発達障害	726	570	102	54
SLD	154	133	12	9
ADHD	546	451	52	43
ASD	593	480	65	48
発達障害の重複	407	341	29	37
精神障害	761	585	132	44
統合失調症等	268	249	15	4
気分障害	533	455	55	23
神経症性障害等	624	508	91	25
摂食障害・睡眠障害等	288	253	23	12
他の精神障害	524	438	58	28
その他の障害	553	448	68	37
全体の学校数	1,168	812	298	58

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生数別

○全学校(1,168校)に占める支援障害学生在籍校(914校)の割合は78.3%。支援障害学生数別で見ると、多い順に「21人以上」371校、「0人」254校、「2~5人」190校。

表5-2 支援障害学生在籍学校数 [学校種別・支援障害学生数別]

学校種別	全体の 学校数 (校)	支援障害学生 在籍学校数	支援障害学生 在籍率(%)	支援	支援	支援	支援	支援	支援
				障害学生 21人以上	障害学生 11~20人	障害学生 6~10人	障害学生 2~5人	障害学生 1人	障害学生 0人
計	1,168	914	78.3	371	144	132	190	77	254
大学	812	680	83.7	341	109	81	101	48	132
短期大学	298	179	60.1	5	22	42	83	27	119
高等専門学校	58	55	94.8	25	13	9	6	2	3

表5-3 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生数別]

学生数別	(校)	学校数	支援障害学生 在籍学校数	支援障害学生 在籍率(%)	支援	支援	支援	支援	支援
					障害学生 21人以上	障害学生 11~20人	障害学生 6~10人	障害学生 2~5人	障害学生 1人
10,000人以上		72	71	98.6	68	2	1	0	1
大学		72	71	98.6	68	2	1	0	1
短期大学		0	0	-	0	0	0	0	0
高等専門学校		0	0	-	0	0	0	0	0
5,000~9,999人		108	104	96.3	87	9	6	1	4
大学		106	104	98.1	87	9	6	1	2
短期大学		2	0	0.0	0	0	0	0	2
高等専門学校		0	0	-	0	0	0	0	0
2,000~4,999人		175	166	94.9	107	30	12	12	9
大学		173	165	95.4	107	30	12	11	8
短期大学		2	1	50.0	0	0	0	1	1
高等専門学校		0	0	-	0	0	0	0	0
1,000~1,999人		229	196	85.6	69	50	31	35	33
大学		194	163	84.0	53	39	27	33	31
短期大学		5	5	100.0	1	2	0	2	0
高等専門学校		30	28	93.3	15	9	4	0	2
500~999人		194	153	78.9	35	28	33	45	41
大学		133	102	76.7	22	19	22	29	31
短期大学		35	26	74.3	3	5	6	11	9
高等専門学校		26	25	96.2	10	4	5	5	1
1~499人		390	224	57.4	5	25	49	97	166
大学		134	75	56.0	4	10	13	27	59
短期大学		254	147	57.9	1	15	36	69	107
高等専門学校		2	2	100.0	0	0	0	1	0

(注1) 支援障害学生在籍校:支援障害学生が在籍している学校数

(注2) 支援障害学生在籍率:支援障害学生在籍学校数÷全体の学校数×100(%)

6. 支援の実施状況

(1) 障害種別・学校種別

○障害学生への授業に関する支援を実施している学校数は895校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「精神障害」724校、「発達障害」687校、「病弱・虚弱」589校。

○障害学生への授業以外の支援を実施している学校数は704校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「精神障害」537校、「発達障害」534校、「病弱・虚弱」421校。

表6-1 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

(校)	学校種別 計	大学	短期大学	高等専門学校
障害種別	895	667	173	55
視覚障害	232	204	17	11
聴覚・言語障害	411	353	35	23
肢体不自由	362	323	23	16
病弱・虚弱	589	478	76	35
重複	119	113	5	1
発達障害	687	545	92	50
精神障害	724	557	128	39
その他の障害	523	425	65	33

(注) 複数回答あり

表6-2 授業以外の支援実施状況 [障害種別・学校種別]

(校)	学校種別 計	大学	短期大学	高等専門学校
障害種別	704	538	115	51
視覚障害	97	90	3	4
聴覚・言語障害	195	167	17	11
肢体不自由	287	263	15	9
病弱・虚弱	421	349	43	29
重複	91	89	1	1
発達障害	534	426	61	47
精神障害	537	429	72	36
その他の障害	306	252	31	23

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別

ア 授業支援(総表)

表6-3 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

支援内容別 (校)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	点 訳・ 墨 訳	教 材の テキ スト デー タ化	教 材の 拡大	ガ イド ヘル プ	リ ー ディ ング サー ビス	手 話 通 訳	ノ ー ト テ イク	パ ソ コ ン テ イク	ビ デ オ 教 材 字 幕 付 け・ 文 字 起 こ し	ア シ ス タ ン ト の 活 用	試 験 時 間 延 長・ 別 室 受 験	解 答 方 法 配 慮	パ ソ コ ン の 持 込 使 用 許 可	注 意 事 項 等 文 書 伝 達	
障害種別	42	157	205	45	23	58	138	120	139	104	435	276	276	377	
視覚障害	232	41	83	115	23	15	0	8	3	6	18	108	76	82	26
盲	56	36	42	7	19	9	0	3	1	3	11	37	35	32	7
弱視	204	6	52	111	8	7	0	5	2	4	7	83	55	60	21
聴覚・言語障害	411	-	22	2	2	2	57	117	102	125	14	30	28	39	157
聾	104	-	6	0	0	1	33	52	53	59	6	5	7	18	53
難聴	376	-	18	2	2	1	34	83	71	93	10	24	18	27	134
言語障害のみ	23	-	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	4	2	0
肢体不自由	362	-	28	22	11	0	-	21	10	1	15	113	72	71	25
上肢機能障害	60	-	5	2	0	0	-	1	2	0	1	21	16	14	2
下肢機能障害	202	-	2	2	5	0	-	0	2	0	2	21	6	5	6
上下肢機能障害	175	-	18	8	6	0	-	15	3	1	9	71	44	43	14
他の機能障害	119	-	6	11	4	0	-	8	3	0	6	39	21	23	8
病弱・虚弱	589	-	26	23	8	1	-	10	1	4	14	128	52	43	68
内部障害等	520	-	22	21	7	1	-	9	1	4	12	107	40	35	47
他の慢性疾患	392	-	6	3	1	0	-	1	0	1	3	40	19	12	34
重複	119	2	11	17	4	0	7	11	11	11	7	46	26	16	24
発達障害	687	-	46	56	1	3	-	11	10	10	50	223	148	143	273
SLD	145	-	16	24	0	1	-	3	3	1	6	45	51	44	22
ADHD	496	-	12	3	0	1	-	2	2	3	25	83	23	31	163
ASD	549	-	17	13	0	1	-	1	4	6	25	132	60	51	188
発達障害の重複	376	-	20	19	1	0	-	7	6	2	16	108	66	77	141
精神障害	724	-	24	10	2	3	-	8	7	9	25	236	71	48	157
統合失調症等	221	-	2	0	1	0	-	0	0	1	5	20	7	5	21
気分障害	478	-	6	2	0	1	-	3	2	0	4	77	13	8	55
神経症性障害等	575	-	12	1	0	1	-	1	1	2	9	149	33	18	78
摂食障害・睡眠障害等	231	-	0	0	0	0	-	1	0	0	1	10	2	3	23
他の精神障害	477	-	12	7	1	1	-	4	5	8	16	112	38	22	91
その他の障害	523	-	7	22	0	1	-	3	4	3	4	107	26	19	52

(注) 複数回答あり

支援内容別 (校)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	使用教室配慮	実技・実習配慮	教室内座席配慮	F M補聴器・マイク使用	専用機・イス・スペース確保	読み上げソフト・音声認識ソフト使用	講義に関する配慮	配慮依頼文書の配付	出席に関する配慮	学習指導	授業内容の代替、提出期限延長等	履修支援	学外実習・フィールドワーク配慮	その他	
障害種別	264	455	664	243	232	172	500	657	636	377	529	307	288	461	
視覚障害	232	24	58	136	-	22	47	106	177	31	18	50	44	28	87
盲	56	9	16	22	-	10	29	18	42	6	2	21	25	10	16
弱視	204	17	45	122	-	14	23	94	153	27	16	37	23	22	78
聴覚・言語障害	411	30	93	273	239	13	114	112	302	45	18	57	37	56	138
聾	104	8	25	60	49	6	44	27	83	5	3	17	11	19	33
難聴	376	23	73	248	216	9	91	95	275	37	16	38	26	41	124
言語障害のみ	23	0	4	1	1	0	2	3	18	3	0	7	3	1	7
肢体不自由	362	129	140	210	-	151	4	104	264	158	21	90	29	74	93
上肢機能障害	60	5	22	10	-	6	1	15	41	15	2	15	3	5	7
下肢機能障害	202	66	70	103	-	71	1	22	133	84	9	26	8	37	50
上下肢機能障害	175	59	55	98	-	69	1	62	139	76	6	47	17	29	46
他の機能障害	119	31	31	61	-	41	1	33	92	49	6	29	8	17	30
病弱・虚弱	589	66	228	254	-	59	12	114	443	421	89	271	65	122	256
内部障害等	520	52	184	212	-	46	9	89	385	374	68	228	51	95	202
他の慢性疾患	392	19	101	94	-	18	5	43	314	207	38	141	30	58	154
重複	119	26	35	68	16	30	14	47	97	63	10	49	13	24	50
発達障害	687	37	170	313	-	18	30	359	534	389	280	400	237	100	320
SLD	145	3	15	16	-	1	9	61	110	15	24	48	11	3	33
ADHD	496	9	59	131	-	4	6	183	382	255	156	278	133	39	197
ASD	549	23	125	212	-	10	14	247	425	279	175	281	160	65	237
発達障害の重複	376	6	52	132	-	8	16	178	308	181	119	206	102	33	176
精神障害	724	59	184	401	-	17	30	256	535	513	197	408	153	140	335
統合失調症等	221	4	22	59	-	2	4	36	170	144	22	111	46	18	70
気分障害	478	12	64	160	-	5	5	98	371	332	90	276	73	54	184
神経症性障害等	575	38	112	311	-	6	9	122	434	402	105	294	85	79	247
摂食障害・睡眠障害等	231	3	23	36	-	0	3	35	183	155	34	122	18	19	66
他の精神障害	477	14	76	176	-	7	18	144	373	274	93	241	87	48	212
その他の障害	523	33	110	290	-	15	7	94	382	343	76	210	48	55	199

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 イ 授業以外の支援(総表)

表6-4 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

支援内容別 (校)	学生生活支援					社会的スキル指導				保健管理・生活支援				進路・就職指導				その他						
	1 居場所の確保	2 通学支援	3 個別支援情報の収集	4 情報取得支援	5 自己管理指導	6 対人関係配慮	7 日常生活支援	8 専門家によるカウンセリング	9 医療機関との連携	10 医療機器、薬剤の保管等	11 休憩室・治療室の確保等	12 生活介助	13 介助者の入構、入室許可	14 キャリア教育	15 障害学生向け求人情報の提供	16 就職支援情報の提供、 支援機関の紹介	17 インターシップ先の開拓		18 就職先の開拓、就職活動支援					
障害種別	440	241	219	150	162	399	335	270	137	596	479	303	111	301	63	138	368	216	210	282	105	222	249	
視覚障害	97	40	15	6	17	21	12	8	7	5	36	19	8	0	12	-	8	47	18	31	35	10	23	21
盲	35	22	6	4	9	12	3	3	2	1	11	4	0	0	2	-	7	16	7	10	11	3	10	5
弱視	74	23	10	3	10	11	12	8	6	4	29	17	8	0	11	-	2	39	13	26	28	9	17	16
聴覚・言語障害	195	60	15	4	32	26	26	14	15	7	76	59	11	2	9	-	6	87	39	54	65	17	45	37
聾	55	21	7	2	12	9	9	6	4	3	13	7	1	0	3	-	3	31	15	20	24	6	15	14
難聴	172	44	13	1	24	18	23	12	13	6	69	54	10	2	8	-	6	74	30	46	54	14	37	26
言語障害のみ	13	3	1	1	1	1	1	1	1	1	7	5	2	0	0	-	1	7	4	4	7	1	5	0
肢体不自由	287	171	36	148	27	12	34	15	8	18	164	52	18	10	58	46	87	107	48	67	79	21	62	89
上肢機能障害	45	8	2	5	1	0	5	3	1	1	15	8	1	0	6	0	1	23	9	12	15	4	11	7
下肢機能障害	158	92	11	83	11	5	9	5	3	6	58	23	6	3	18	7	24	54	19	29	39	10	32	49
上下肢機能障害	124	67	14	58	13	5	14	4	1	9	83	22	10	6	27	29	49	51	22	33	39	14	25	36
他の機能障害	97	48	10	39	7	4	15	8	4	4	48	12	3	2	19	11	30	38	16	25	29	4	17	24
病弱・虚弱	421	151	48	86	36	26	101	62	46	32	331	171	105	71	169	15	44	136	64	79	99	23	83	135
内部障害等	365	126	32	77	26	20	73	47	31	20	271	131	80	48	129	14	38	107	51	63	81	18	62	117
他の慢性疾患	267	63	24	15	21	14	47	28	19	19	203	106	53	28	91	1	9	79	33	42	54	13	47	66
重複	91	41	14	19	12	11	22	15	12	3	61	33	17	7	18	7	15	45	16	17	31	9	17	19
発達障害	534	248	155	10	93	118	333	284	208	81	431	393	159	13	128	-	10	269	164	146	210	68	161	128
SLD	66	20	7	0	10	7	22	14	10	2	35	33	2	1	3	-	2	24	13	13	14	7	13	9
ADHD	398	126	73	1	40	53	230	204	100	46	302	279	86	3	50	-	4	139	75	60	95	29	76	77
ASD	427	184	116	9	61	85	225	182	151	49	348	319	104	9	76	-	7	201	119	99	157	48	115	84
発達障害の重複	293	121	59	1	36	58	172	141	104	37	224	206	72	2	46	-	3	125	81	77	101	25	71	66
精神障害	537	223	150	34	41	73	236	169	159	80	455	405	209	20	168	-	18	203	114	97	150	39	111	133
統合失調症等	191	45	25	2	9	16	58	31	25	25	144	126	51	1	27	-	3	67	32	28	42	11	32	31
気分障害	368	108	74	9	13	33	133	95	80	50	317	280	121	6	80	-	3	119	63	50	81	20	64	71
神経症性障害等	407	129	84	17	23	37	143	90	99	42	347	313	121	10	105	-	10	125	59	56	87	17	76	80
摂食障害・睡眠障害等	170	29	21	1	4	8	46	31	21	19	138	121	53	0	25	-	2	46	19	19	29	4	24	30
他の精神障害	353	106	68	11	21	36	120	88	65	28	279	239	88	6	73	-	5	116	60	59	88	17	66	65
その他の障害	306	77	39	26	18	16	75	50	38	22	244	196	53	10	80	2	3	78	30	37	50	14	48	67

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別

ウ 授業支援(大学)

表6-5 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (大学)

支援内容別 (校)	1 点 訳 ・ 墨 訳	2 教 材 の テ キ ス ト デ ー タ 化	3 教 材 の 拡 大	4 ガ イ ド ヘ ル プ	5 リ ー ド イ ン グ サ ー ビ ス	6 手 話 通 訳	7 ノ ー ト テ イ ク	8 パ ソ コ ン テ イ ク	9 ビ デ オ 教 材 字 幕 付 け ・ 文 字 起 こ し	10 チ ュ ー ス タ ー 又 は テ ィ ー チ ン グ ・ ア シ ス タ ン ト の 活 用	11 試 験 時 間 延 長 ・ 別 室 受 験	12 解 答 方 法 配 慮	13 パ ソ コ ン の 持 込 使 用 許 可	14 注 意 事 項 等 文 書 伝 達	
															障害種別
視覚障害	204	40	78	103	23	15	0	8	3	6	16	102	73	77	24
盲	54	35	40	6	19	9	0	3	1	3	10	35	33	30	5
弱視	178	6	49	100	8	7	0	5	2	4	6	79	54	57	21
聴覚・言語障害	353	-	20	2	2	2	57	113	98	119	14	27	25	37	148
聾	97	-	4	0	0	1	33	51	51	56	6	5	7	17	49
難聴	326	-	18	2	2	1	34	80	69	89	10	22	17	27	129
言語障害のみ	19	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0
肢体不自由	323	-	28	21	11	0	-	21	10	1	14	106	69	69	25
上肢機能障害	56	-	5	2	0	0	-	1	2	0	1	21	16	14	2
下肢機能障害	188	-	2	2	5	0	-	0	2	0	2	21	5	5	6
上下肢機能障害	162	-	18	8	6	0	-	15	3	1	9	68	44	42	14
他の機能障害	108	-	6	10	4	0	-	8	3	0	5	35	19	22	8
病弱・虚弱	478	-	26	22	7	1	-	10	1	4	14	116	52	40	60
内部障害等	441	-	22	20	7	1	-	9	1	4	12	96	40	32	42
他の慢性疾患	321	-	6	3	0	0	-	1	0	1	3	38	19	11	30
重複	113	2	11	17	4	0	7	11	11	11	7	46	26	16	22
発達障害	545	-	43	46	1	3	-	11	7	10	46	196	137	127	234
SLD	126	-	14	20	0	1	-	3	3	1	5	40	48	39	19
ADHD	417	-	12	3	0	1	-	2	2	3	23	74	22	26	142
ASD	450	-	16	9	0	1	-	1	2	6	24	115	56	45	166
発達障害の重複	320	-	20	16	1	0	-	7	4	2	14	96	62	71	127
精神障害	557	-	23	9	2	3	-	7	6	9	25	205	66	45	142
統合失調症等	204	-	2	0	1	0	-	0	0	1	5	19	7	5	19
気分障害	412	-	6	2	0	1	-	3	2	0	4	66	13	8	53
神経症性障害等	474	-	11	1	0	1	-	1	1	2	9	136	32	17	71
摂食障害・睡眠障害等	202	-	0	0	0	0	-	1	0	0	1	8	2	3	21
他の精神障害	401	-	12	6	1	1	-	3	4	8	16	100	34	20	81
その他の障害	425	-	7	20	0	1	-	3	4	3	4	95	24	19	48

(注) 複数回答あり

支援内容別 (校)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	使用教室配慮	実技・実習配慮	教室内座席配慮	F M補聴器・マイク使用	専用機・イス・スペース確保	読み上げソフト・音声認識ソフト使用	講義に関する配慮	配慮依頼文書の配付	出席に関する配慮	学習指導	授業内容の代替、提出期限延長等	履修支援	学外実習・フィールドワーク配慮	その他	
障害種別	222	366	523	216	220	160	425	513	498	303	440	268	246	384	
視覚障害	204	21	50	115	-	22	45	100	162	30	16	50	43	24	82
盲	54	9	16	21	-	10	28	17	40	6	2	21	24	10	16
弱視	178	14	37	102	-	14	22	89	140	26	14	37	23	18	73
聴覚・言語障害	353	24	78	236	213	13	108	101	270	43	17	52	33	48	127
聾	97	6	23	54	46	6	41	24	78	5	3	16	8	16	31
難聴	326	19	61	216	193	9	87	87	249	35	15	35	25	36	115
言語障害のみ	19	0	3	1	1	0	2	3	16	3	0	6	3	0	7
肢体不自由	323	119	120	195	-	143	4	99	245	151	18	86	29	66	90
上肢機能障害	56	5	20	9	-	6	1	14	40	15	1	14	3	5	7
下肢機能障害	188	63	61	96	-	69	1	22	127	80	8	26	8	34	49
上下肢機能障害	162	56	48	95	-	67	1	60	133	74	6	46	17	27	45
他の機能障害	108	27	28	57	-	37	1	31	85	47	5	27	8	14	29
病弱・虚弱	478	61	187	224	-	56	12	110	374	364	73	247	61	100	228
内部障害等	441	48	153	193	-	43	9	87	343	331	58	211	51	77	182
他の慢性疾患	321	17	81	79	-	18	5	40	270	182	29	129	26	43	142
重複	113	26	35	67	15	30	14	45	94	62	10	48	13	23	49
発達障害	545	29	135	266	-	17	27	311	439	340	228	347	213	92	272
SLD	126	2	9	11	-	1	9	56	99	14	20	42	9	2	28
ADHD	417	6	46	111	-	4	5	168	336	230	129	254	125	36	173
ASD	450	17	101	185	-	9	11	220	358	253	147	250	142	61	207
発達障害の重複	320	4	42	115	-	8	15	165	270	165	98	187	93	30	156
精神障害	557	48	157	327	-	16	26	239	441	421	172	360	136	122	297
統合失調症等	204	3	21	52	-	2	4	35	161	135	21	109	41	18	64
気分障害	412	8	59	138	-	5	4	95	333	299	84	261	70	49	170
神経症性障害等	474	31	98	263	-	5	7	114	374	343	94	269	74	69	230
摂食障害・睡眠障害等	202	2	18	32	-	0	2	33	169	136	31	111	17	15	64
他の精神障害	401	10	64	154	-	7	16	136	328	250	85	224	80	43	193
その他の障害	425	27	88	251	-	14	6	87	333	298	70	191	44	45	181

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 エ 授業以外の支援(大学)

表6-6 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (大学)

支援内容別 (校)	学生生活支援					社会的スキル指導					保健管理・生活支援					進路・就職指導					その他			
	1 居場所の確保	2 通学支援	3 個別支援情報の収集	4 情報取得支援	5 自己管理指導	6 対人関係配慮	7 日常生活支援	8 専門家によるカウンセリング	9 医療機関との連携	10 医療機器、薬剤の保管等	11 休憩室・治療室の確保等	12 生活介助	13 介助者の入構、入室許可	14 キャリア教育	15 障害学生向け求人情報の提供	16 就職支援情報の紹介	17 インターシップ先の開拓	18 就職先の開拓、就職活動支援						
障害種別	354	191	202	118	138	307	266	211	112	466	377	244	92	239	61	130	302	183	178	241	90	185	211	
視覚障害	90	37	15	6	16	19	12	8	7	5	31	18	4	0	12	-	8	46	17	31	35	10	23	20
盲	33	20	6	4	9	10	3	3	2	1	10	3	0	0	2	-	7	15	6	10	11	3	10	5
弱視	69	22	10	3	9	11	12	8	6	4	25	17	4	0	11	-	2	39	13	26	28	9	17	15
聴覚・言語障害	167	51	14	4	26	22	23	14	13	6	65	49	10	2	9	-	5	80	34	49	61	15	39	31
聾	52	19	7	2	10	8	9	6	4	3	13	7	1	0	3	-	3	30	14	20	24	5	14	13
難聴	149	37	12	1	20	15	20	12	11	5	59	45	9	2	8	-	5	70	28	43	52	13	33	21
言語障害のみ	9	3	1	1	1	1	1	1	1	1	5	3	2	0	0	-	1	5	2	2	5	1	4	0
肢体不自由	263	157	32	136	23	12	32	15	8	16	150	46	18	9	52	44	80	104	47	66	78	20	59	83
上肢機能障害	44	8	2	5	1	0	5	3	1	1	14	7	1	0	6	0	1	23	9	12	15	4	11	7
下肢機能障害	150	88	10	79	10	5	8	5	3	5	53	20	6	3	17	6	22	53	19	29	39	10	31	45
上下肢機能障害	118	63	13	55	12	5	14	4	1	9	80	21	10	5	26	29	47	50	21	32	38	13	24	34
他の機能障害	88	42	8	34	5	4	14	8	4	3	43	11	3	2	15	10	27	37	16	25	29	4	16	24
病弱・虚弱	349	135	40	82	30	24	81	50	39	25	282	156	85	57	140	15	44	119	58	70	92	21	73	113
内部障害等	312	116	27	74	22	19	60	39	26	17	235	122	64	40	107	14	38	99	48	60	78	17	57	99
他の慢性疾患	222	53	19	14	17	12	37	23	17	14	173	99	43	21	76	1	9	70	30	36	50	12	42	54
重複	89	40	14	19	11	10	22	15	12	3	60	33	16	7	18	7	15	44	16	17	31	9	16	18
発達障害	426	197	121	10	70	102	266	232	161	69	353	317	134	11	103	-	10	226	142	126	182	60	138	107
SLD	59	17	6	0	8	6	21	14	9	2	30	28	2	0	2	-	2	24	13	13	14	7	13	8
ADHD	330	107	63	1	29	48	192	173	78	43	257	235	74	2	42	-	4	129	70	57	92	27	69	63
ASD	349	152	93	9	50	74	185	157	121	42	289	264	88	8	57	-	7	172	104	85	137	44	100	72
発達障害の重複	242	101	49	1	29	52	144	121	86	34	187	170	62	2	36	-	3	114	74	72	95	23	65	55
精神障害	429	191	127	32	37	65	196	145	135	72	374	333	176	16	136	-	17	176	100	84	138	36	98	115
統合失調症等	178	42	24	2	9	13	53	29	21	24	134	117	48	1	23	-	3	65	31	27	41	11	32	29
気分障害	317	97	65	8	13	30	117	89	72	46	275	243	108	5	68	-	3	110	57	47	78	19	61	66
神経症性障害等	347	115	72	16	23	33	127	82	87	41	298	270	109	9	89	-	10	116	55	53	85	17	69	75
摂食障害・睡眠障害等	151	26	18	1	4	8	45	31	20	19	124	112	49	0	22	-	1	43	18	18	27	4	22	28
他の精神障害	297	91	59	10	17	33	104	77	56	26	234	201	74	3	64	-	5	103	53	51	81	15	58	56
その他の障害	252	69	34	26	16	14	64	43	35	20	201	163	44	10	69	2	3	70	27	33	44	12	43	58

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 オ 授業支援(短期大学)

表6-7 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

支援内容別 (校)	1 点訳・墨訳	2 教材のテキストデータ化	3 教材の拡大	4 ガイドヘルプ	5 リーディングサービス	6 手話通訳	7 ノートテイク	8 パソコンテイク	9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし	10 チャーター又はティーチング・アシスタントの活用	11 試験時間延長・別室受験	12 解答方法配慮	13 パソコンの持込使用許可	14 注意事項等文書伝達	
															障害種別
障害種別															
視覚障害	17	1	8	15	1	0	0	4	4	6	4	32	13	14	39
盲	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2	4	3	4	2
弱視	15	0	2	8	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	0
聴覚・言語障害	35	-	2	0	0	0	0	4	4	6	0	1	2	2	9
聾	7	-	2	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	1	4
難聴	27	-	0	0	0	0	0	3	2	4	0	0	1	0	5
言語障害のみ	3	-	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0
肢体不自由	23	-	0	1	0	0	-	0	0	0	0	5	1	0	0
上肢機能障害	2	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	6	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	8	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	2	0	0	0
他の機能障害	8	-	0	1	0	0	-	0	0	0	0	3	1	0	0
病弱・虚弱	76	-	0	0	1	0	-	0	0	0	0	4	0	1	5
内部障害等	49	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	4	0	1	2
他の慢性疾患	50	-	0	0	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	3
重複	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
発達障害	92	-	1	4	0	0	-	0	0	0	2	12	3	6	22
SLD	12	-	1	2	0	0	-	0	0	0	1	1	1	3	2
ADHD	45	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	2	1	1	14
ASD	57	-	0	2	0	0	-	0	0	0	9	1	3	12	
発達障害の重複	26	-	0	1	0	0	-	0	0	0	0	3	0	0	6
精神障害	128	-	1	1	0	0	-	1	1	0	0	20	4	3	11
統合失調症等	14	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0	0	1
気分障害	50	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	8	0	0	2
神経症性障害等	85	-	1	0	0	0	-	0	0	0	0	8	1	1	6
摂食障害・睡眠障害等	18	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0	0	1
他の精神障害	53	-	0	1	0	0	-	1	1	0	0	8	3	2	7
その他の障害	65	-	0	2	0	0	-	0	0	0	0	5	1	0	3

(注) 複数回答あり

支援内容別 (校)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
	使用教室配慮	実技・実習配慮	教室内座席配慮	F M補聴器・マイク使用	専用機・イス・スペース確保	読み上げソフト・音声認識ソフト使用	講義に関する配慮	配慮依頼文書の配付	出席に関する配慮	学習指導	授業内容の代替、提出期限延長等	履修支援	学外実習・フィールドワーク配慮	その他	
障害種別	26	55	101	13	7	9	56	111	105	43	60	36	32	47	
視覚障害	17	3	3	10	-	0	1	5	12	0	2	0	1	3	2
盲	2	0	0	1	-	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0
弱視	15	3	3	9	-	0	0	4	10	0	2	0	0	3	2
聴覚・言語障害	35	3	6	20	13	0	6	8	25	2	1	5	4	6	7
聾	7	2	2	6	3	0	3	3	5	0	0	1	3	3	2
難聴	27	1	3	15	10	0	4	5	19	2	1	3	1	3	5
言語障害のみ	3	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0
肢体不自由	23	5	8	8	-	5	0	3	14	3	0	1	0	5	1
上肢機能障害	2	0	0	1	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	6	1	4	2	-	1	0	0	4	2	0	0	0	2	0
上下肢機能障害	8	2	4	2	-	2	0	2	5	0	0	0	0	1	1
他の機能障害	8	2	0	3	-	2	0	1	5	1	0	1	0	2	0
病弱・虚弱	76	1	26	20	-	2	0	3	53	42	10	14	4	15	15
内部障害等	49	1	18	11	-	2	0	1	33	30	5	8	0	12	11
他の慢性疾患	50	0	11	10	-	0	0	2	32	20	6	8	4	11	6
重複	5	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	1	0	1	1
発達障害	92	5	16	27	-	1	3	33	64	33	25	32	22	5	29
SLD	12	1	4	2	-	0	0	4	7	1	3	4	2	0	3
ADHD	45	2	5	9	-	0	1	9	30	16	14	13	8	2	12
ASD	57	4	10	18	-	1	3	20	42	18	8	17	16	1	18
発達障害の重複	26	0	5	5	-	0	1	8	20	11	7	7	8	2	9
精神障害	128	11	21	64	-	1	2	14	77	78	15	35	16	16	26
統合失調症等	14	1	1	6	-	0	0	1	8	9	1	2	5	0	4
気分障害	50	4	5	19	-	0	0	2	33	30	4	13	3	5	10
神経症性障害等	85	7	12	43	-	1	2	7	53	51	7	17	10	10	12
摂食障害・睡眠障害等	18	1	3	3	-	0	1	2	9	14	1	8	1	3	0
他の精神障害	53	4	8	19	-	0	1	7	31	19	5	14	7	4	14
その他の障害	65	2	14	26	-	0	1	3	37	33	2	11	3	9	7

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 カ 授業以外の支援(短期大学)

表6-8 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

支援内容別 (校)	学生生活支援				4 情報取得支援	社会的スキル指導				保健管理・生活支援	進路・就職指導					その他								
	1 居場所の確保	2 通学支援	3 個別支援情報の収集	4 情報取得支援		5 自己管理指導	6 対人関係配慮	7 日常生活支援	8 専門家によるカウンセリング		9 医療機関との連携	10 医療機器、薬剤の保管等	11 休憩室・治療室の確保等	12 生活介助	13 介助者の入構、入室許可		14 キャリア教育	15 障害学生向け求人情報の提供	16 就職支援情報の提供、	17 インターンシップ先の開拓	18 就職先の開拓、就職活動支援			
障害種別	52	25	12	17	15	55	37	31	13	83	61	28	8	40	1	5	51	25	25	31	10	27	21	
視覚障害	3	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	1	0	0	-	0	1	1	0	0	0	0	0
盲	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-	0	1	1	0	0	0	0	0
弱視	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	17	6	0	0	4	4	2	0	1	1	3	2	1	0	0	-	1	7	5	5	4	2	6	2
聾	3	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	1	1	0	0	1	1	1
難聴	12	4	0	0	2	3	2	0	1	1	3	2	1	0	0	-	1	4	2	3	2	1	4	1
言語障害のみ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	2	2	2	2	0	1	0
肢体不自由	15	10	3	8	3	0	1	0	0	1	8	1	0	0	4	1	4	3	1	1	1	1	3	1
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	4	3	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	0
上下肢機能障害	4	3	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1
他の機能障害	7	4	2	3	2	0	1	0	0	1	4	1	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	1	0
病弱・虚弱	43	9	4	3	3	1	11	8	2	4	26	6	9	5	16	0	0	15	5	7	5	2	9	9
内部障害等	28	5	2	3	2	0	6	6	1	1	16	2	7	4	11	0	0	8	3	3	3	1	5	8
他の慢性疾患	24	5	3	0	1	1	7	2	1	4	16	5	4	1	9	0	0	7	2	4	2	1	4	2
重複	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
発達障害	61	20	11	0	9	7	32	22	19	3	37	36	3	0	11	-	0	29	15	15	19	4	14	9
SLD	2	2	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	-	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	31	6	4	0	4	4	19	15	9	0	17	17	1	0	3	-	0	7	5	3	3	1	4	6
ASD	39	12	6	0	4	5	16	7	11	2	24	23	2	0	7	-	0	18	8	9	11	1	9	4
発達障害の重複	20	6	2	0	1	3	7	4	5	2	9	8	1	0	3	-	0	9	6	5	6	2	5	2
精神障害	72	22	16	2	2	7	26	15	15	6	53	44	19	4	25	-	1	24	12	11	11	2	12	11
統合失調症等	9	3	1	0	0	3	5	2	4	1	6	5	1	0	3	-	0	2	1	1	1	0	0	1
気分障害	31	10	8	1	0	3	11	5	5	3	25	20	7	1	10	-	0	9	6	3	3	1	3	3
神経症性障害等	44	10	8	1	0	4	13	6	9	0	35	29	6	1	15	-	0	9	4	3	2	0	7	2
摂食障害・睡眠障害等	11	2	2	0	0	0	1	0	1	0	7	3	3	0	2	-	1	3	1	1	2	0	2	2
他の精神障害	34	11	8	1	2	2	8	5	5	2	27	21	8	3	7	-	0	10	5	6	6	1	7	4
その他の障害	31	4	2	0	1	1	5	4	1	1	22	14	4	0	6	0	0	8	3	4	6	2	5	4

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別

キ 授業支援(高等専門学校)

表6-9 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

支援内容別 (校)	1 点訳・墨訳	2 教材のテキストデータ化	3 教材の拡大	4 ガイドヘルプ	5 リーディングサービス	6 手話通訳	7 ノートテイク	8 パソコンテイク	9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし	10 チュースター又はティーチング・アシスタントの活用	11 試験時間延長・別室受験	12 解答方法配慮	13 パソコンの持込使用許可	14 注意事項等文書伝達
障害種別	0	3	10	0	0	0	0	3	0	3	28	12	12	18
視覚障害	11	0	1	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	0	1	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
聴覚・言語障害	23	-	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
聾	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	23	-	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
言語障害のみ	1	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
肢体不自由	16	-	0	0	0	-	0	0	0	1	2	2	2	0
上肢機能障害	2	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	8	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	0
上下肢機能障害	5	-	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0	1	0
他の機能障害	3	-	0	0	0	-	0	0	0	1	1	1	1	0
病弱・虚弱	35	-	0	1	0	-	0	0	0	0	8	0	2	3
内部障害等	30	-	0	1	0	-	0	0	0	0	7	0	2	3
他の慢性疾患	21	-	0	0	0	-	0	0	0	0	2	0	1	1
重複	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達障害	50	-	2	6	0	-	0	3	0	2	15	8	10	17
SLD	7	-	1	2	0	-	0	0	0	0	4	2	2	1
ADHD	34	-	0	0	0	-	0	0	0	1	7	0	4	7
ASD	42	-	1	2	0	-	0	2	0	1	8	3	3	10
発達障害の重複	30	-	0	2	0	-	0	2	0	2	9	4	6	8
精神障害	39	-	0	0	0	-	0	0	0	0	11	1	0	4
統合失調症等	3	-	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1
気分障害	16	-	0	0	0	-	0	0	0	0	3	0	0	0
神経症性障害等	16	-	0	0	0	-	0	0	0	0	5	0	0	1
摂食障害・睡眠障害等	11	-	0	0	0	-	0	0	0	0	1	0	0	1
他の精神障害	23	-	0	0	0	-	0	0	0	0	4	1	0	3
その他の障害	33	-	0	0	0	-	0	0	0	0	7	1	0	1

(注) 複数回答あり

支援内容別 (校)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	使用教室配慮	実技・実習配慮	教室内座席配慮	F M補聴器・マイク使用	専用機・イス・スペース確保	読み上げソフト・音声認識ソフト使用	講義に関する配慮	配慮依頼文書の配付	出席に関する配慮	学習指導	授業内容の代替、提出期限延長等	履修支援	学外実習・フィールドワーク配慮	その他
障害種別	16	34	40	14	5	3	19	33	33	31	29	3	10	30
視覚障害	11	0	5	11	-	0	1	1	3	1	0	0	1	3
盲	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	0	5	11	-	0	1	1	3	1	0	0	1	3
聴覚・言語障害	23	3	9	17	13	0	0	3	7	0	0	0	2	4
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	23	3	9	17	13	0	0	3	7	0	0	0	2	4
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	16	5	12	7	-	3	0	2	5	4	3	3	0	2
上肢機能障害	2	0	2	0	-	0	0	1	0	0	1	1	0	0
下肢機能障害	8	2	5	5	-	1	0	0	2	2	1	0	1	1
上下肢機能障害	5	1	3	1	-	0	0	0	1	2	0	1	1	0
他の機能障害	3	2	3	1	-	2	0	1	2	1	1	1	0	1
病弱・虚弱	35	4	15	10	-	1	0	1	16	15	6	10	0	13
内部障害等	30	3	13	8	-	1	0	1	9	13	5	9	0	9
他の慢性疾患	21	2	9	5	-	0	0	1	12	5	3	4	0	6
重複	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
発達障害	50	3	19	20	-	0	0	15	31	16	27	21	2	19
SLD	7	0	2	3	-	0	0	1	4	0	1	2	0	2
ADHD	34	1	8	11	-	0	0	6	16	9	13	11	0	12
ASD	42	2	14	9	-	0	0	7	25	8	20	14	2	12
発達障害の重複	30	2	5	12	-	0	0	5	18	5	14	12	1	11
精神障害	39	0	6	10	-	0	2	3	17	14	10	13	1	12
統合失調症等	3	0	0	1	-	0	0	0	1	0	0	0	0	2
気分障害	16	0	0	3	-	0	1	1	5	3	2	2	0	4
神経症性障害等	16	0	2	5	-	0	0	1	7	8	4	8	1	5
摂食障害・睡眠障害等	11	0	2	1	-	0	0	0	5	5	2	3	0	2
他の精神障害	23	0	4	3	-	0	1	1	14	5	3	3	0	5
その他の障害	33	4	8	13	-	1	0	4	12	12	4	8	1	11

(注) 複数回答あり

(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別

ク 授業以外の支援 (高等専門学校)

表6-10 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

支援内容別 (校)	学生生活支援				4 情報取得支援	社会的スキル指導				保健管理・生活支援				進路・就職指導				その他						
	1 居場所の確保	2 通学支援	3 個別支援情報の収集	4 情報取得支援		5 自己管理指導	6 対人関係配慮	7 日常生活支援	8 専門家によるカウンセリング	9 医療機関との連携	10 医療機器、薬剤の保管等	11 休憩室・治療室の確保等	12 生活介助	13 介助者の入構、入室許可	14 キャリア教育	15 障害学生向け求人情報の提供	16 就職機関の紹介		17 インターシップ先の開拓	18 就職先の開拓、就職活動支援				
障害種別	34	25	5	15	9	37	32	28	12	47	41	31	11	22	1	3	15	8	7	10	5	10	17	
視覚障害	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1
聴覚・言語障害	11	3	1	0	2	0	1	0	1	0	8	8	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	4
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	11	3	1	0	2	0	1	0	1	0	7	7	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	4
言語障害のみ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	9	4	1	4	1	0	1	0	0	1	6	5	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	5
上肢機能障害	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	4	1	1	1	0	0	1	0	0	1	3	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
上下肢機能障害	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
他の機能障害	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	29	7	4	1	3	1	9	4	5	3	23	9	11	9	13	0	0	2	1	2	2	0	1	13
内部障害等	25	5	3	0	2	1	7	2	4	2	20	7	9	4	11	0	0	0	0	0	0	0	0	10
他の慢性疾患	21	5	2	1	3	1	3	3	1	1	14	2	6	6	6	0	0	2	1	2	2	0	1	10
重複	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
発達障害	47	31	23	0	14	9	35	30	28	9	41	40	22	2	14	-	0	14	7	5	9	4	9	12
SLD	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4	4	0	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1
ADHD	37	13	6	0	7	1	19	16	13	3	28	27	11	1	5	-	0	3	0	0	0	1	3	8
ASD	39	20	17	0	7	6	24	18	19	5	35	32	14	1	12	-	0	11	7	5	9	3	6	8
発達障害の重複	31	14	8	0	6	3	21	16	13	1	28	28	9	0	7	-	0	2	1	0	0	0	1	9
精神障害	36	10	7	0	2	1	14	9	9	2	28	28	14	0	7	-	0	3	2	2	1	1	1	7
統合失調症等	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	2	0	1	-	0	0	0	0	0	0	0	1
気分障害	20	1	1	0	0	0	5	1	3	1	17	17	6	0	2	-	0	0	0	0	0	0	0	2
神経症性障害等	16	4	4	0	0	0	3	2	3	1	14	14	6	0	1	-	0	0	0	0	0	0	0	3
摂食障害・睡眠障害等	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7	6	1	0	1	-	0	0	0	0	0	0	0	0
他の精神障害	22	4	1	0	2	1	8	6	4	0	18	17	6	0	2	-	0	3	2	2	1	1	1	5
その他の障害	23	4	3	0	1	1	6	3	2	1	21	19	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5

(注) 複数回答あり

(3) 主な支援

ア 視覚障害

図6-1-1 主な授業支援

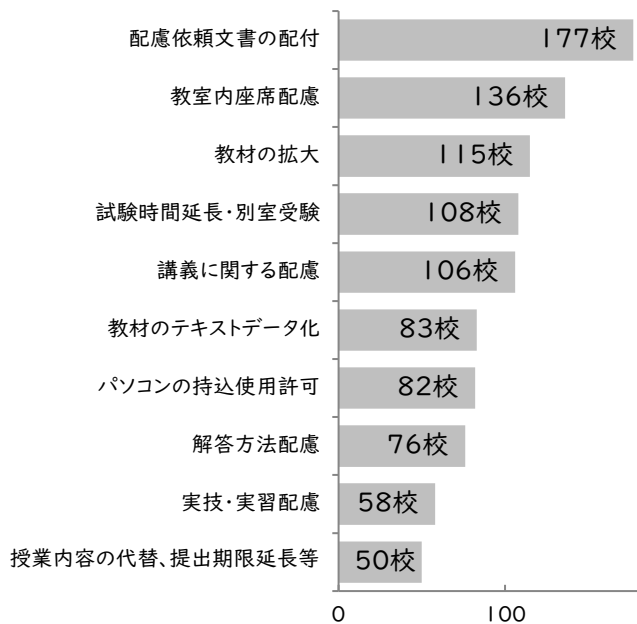
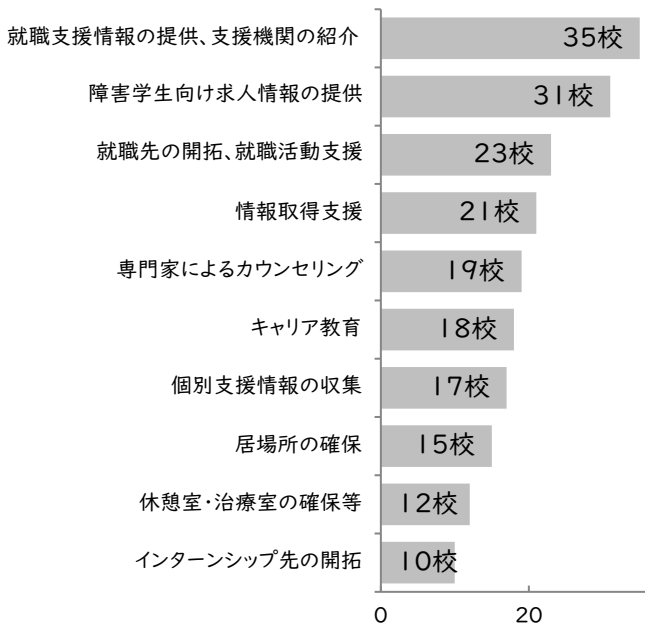


図6-1-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

イ 聴覚・言語障害

図6-2-1 主な授業支援

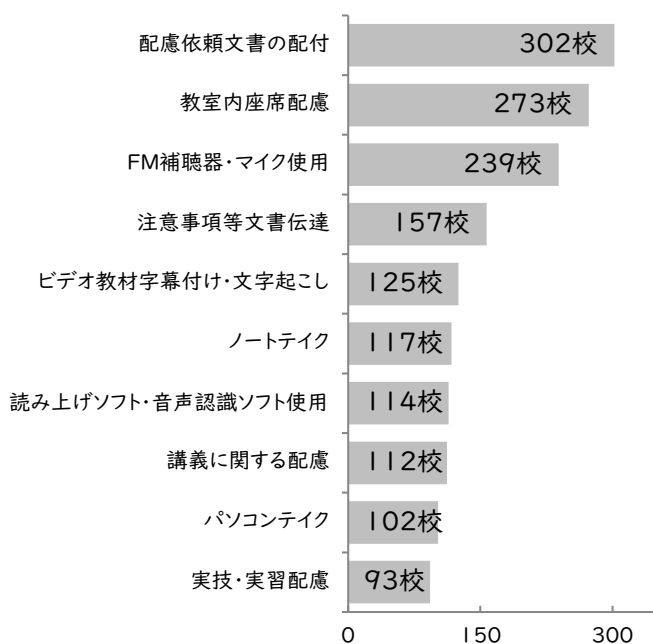
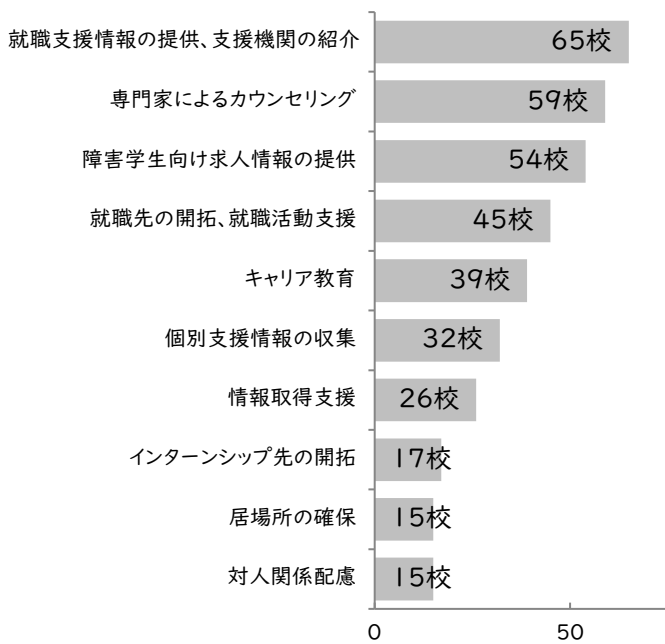


図6-2-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

ウ 肢体不自由

図6-3-1 主な授業支援

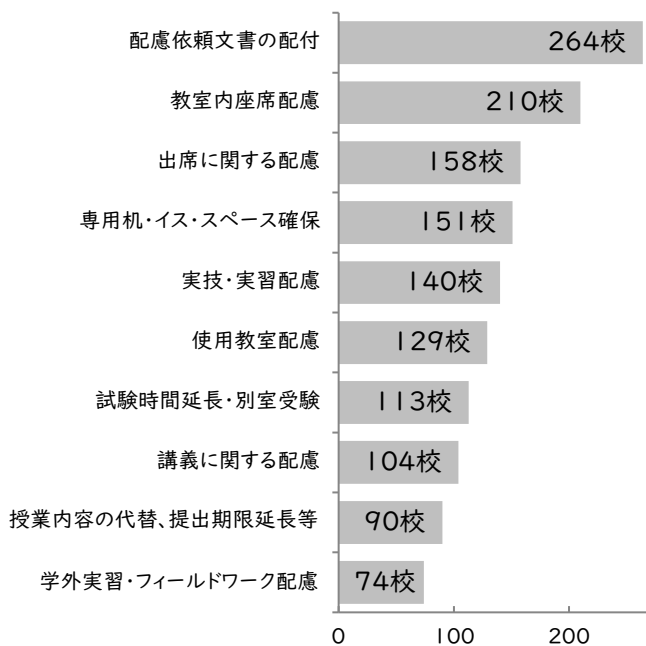
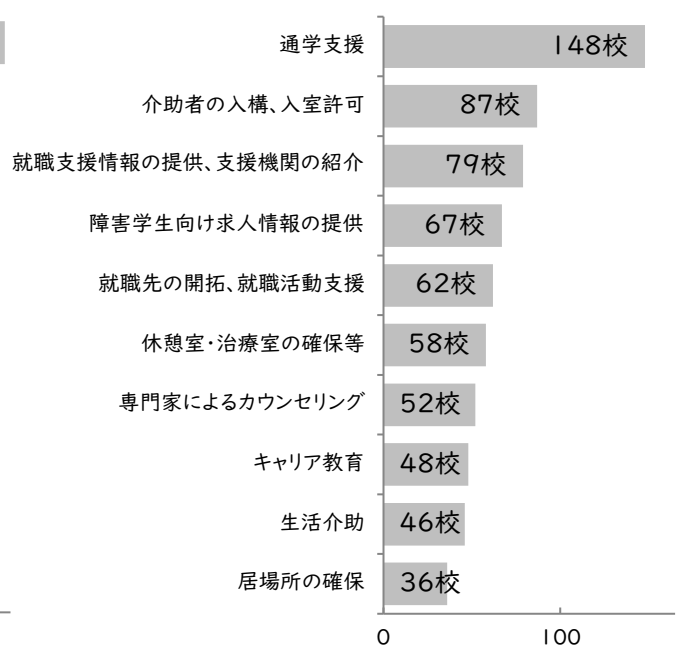


図6-3-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

エ 病弱・虚弱

図6-4-1 主な授業支援

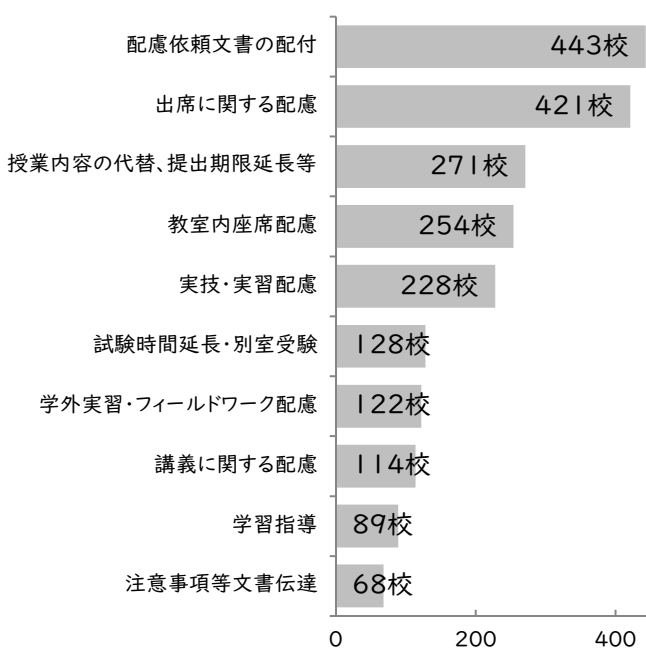
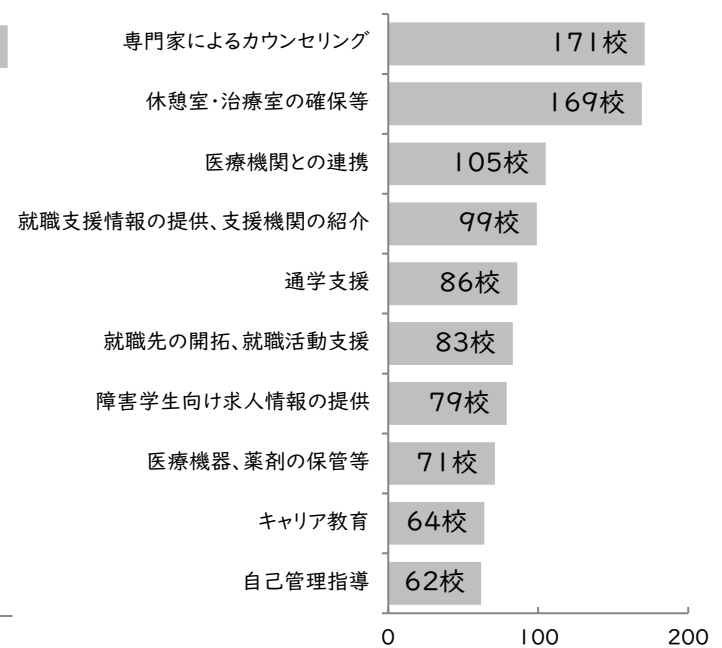


図6-4-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

才 発達障害

図6-5-1 主な授業支援

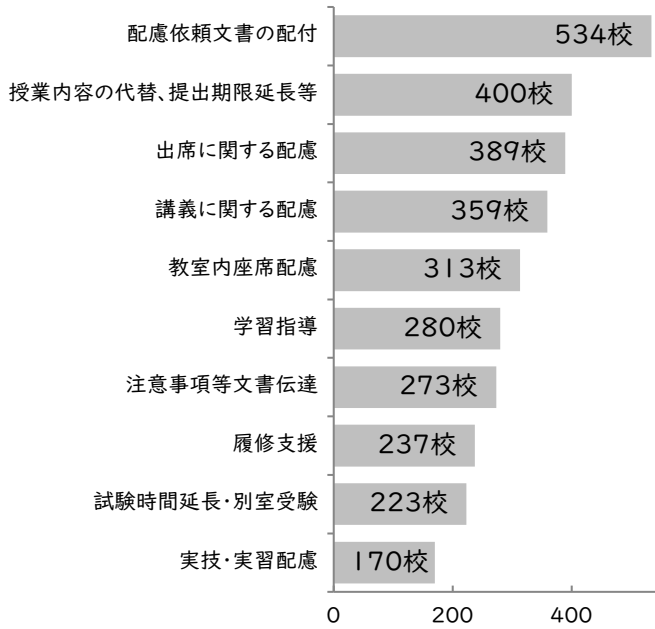
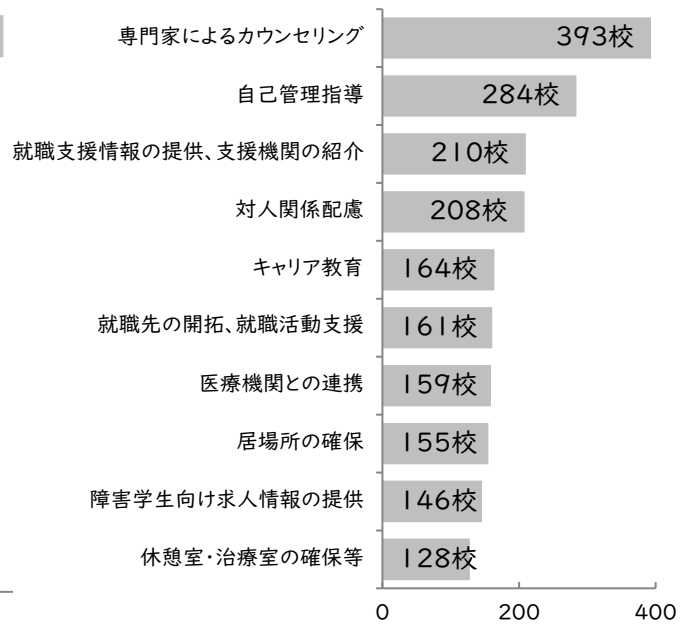


図6-5-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

カ 精神障害

図6-6-1 主な授業支援

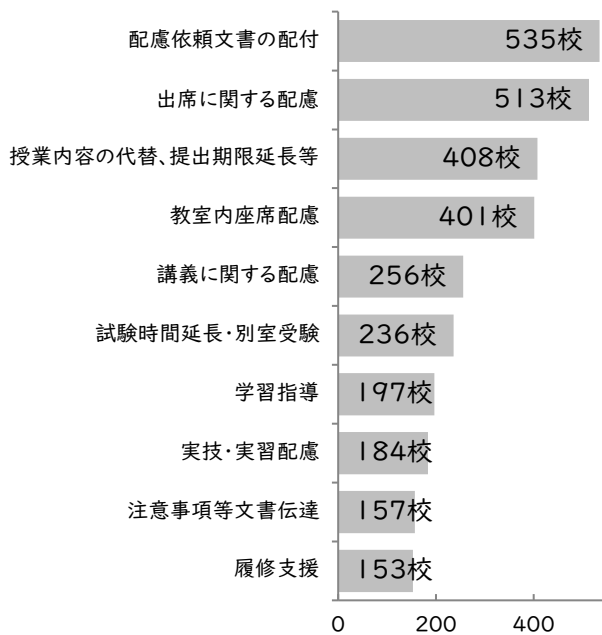
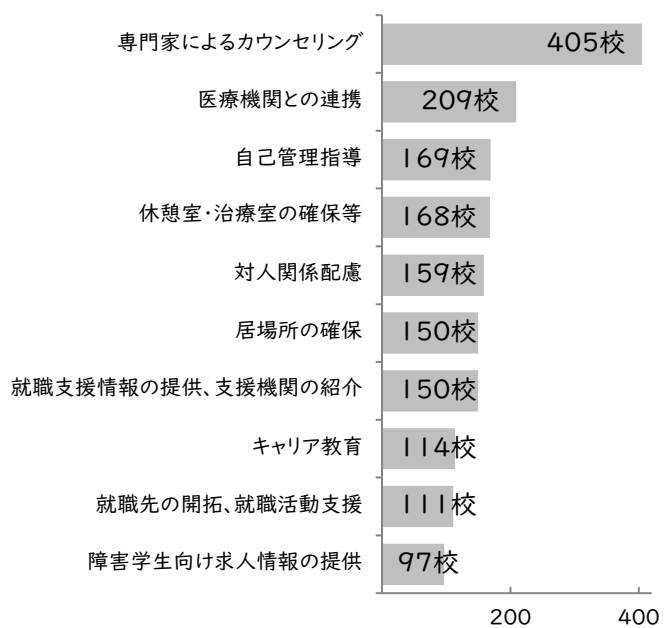


図6-6-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

7. 障害学生支援に関する体制等

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると、「対応要領又は基本方針、規程等がある」学校数は941校で、全学校(1,168校)の80.6%。「令和5年度中に策定予定」である学校数59校を合わせると1,000校であり、全学校(1,168校)の85.6%。「対応要領又は基本方針、規程等はない」学校数は168校で全学校(1,168校)の14.4%。

表7-1 障害者差別解消法に関する対応要領等 [学校種別]

	全体の 学校数 (校)	対応要領又は基本方針、 規程等がある			令和5年度中に策定予定			対応要領又は基本方針、 規程等はない		
		支援障害 学生在籍校 (%)			支援障害 学生在籍校 (%)			支援障害 学生在籍校 (%)		
計	1,168	941	80.6	809	59	5.1	29	168	14.4	76
大学	812	667	82.1	601	39	4.8	22	106	13.1	57
短期大学	298	218	73.2	155	19	6.4	6	61	20.5	18
高等専門学校	58	56	96.6	53	1	1.7	1	1	1.7	1

表7-2 障害者差別解消法に関する対応要領等 [障害学生数別・学校種別]

	学校数 (校)	対応要領又は基本方針、 規程等がある			令和5年度中に策定予定			対応要領又は基本方針、 規程等はない		
		支援障害 学生在籍校 (%)			支援障害 学生在籍校 (%)			支援障害 学生在籍校 (%)		
障害学生21人以上	539	501	92.9	487	10	1.9	8	28	5.2	23
大学	460	430	93.5	418	8	1.7	8	22	4.8	19
短期大学	33	25	75.8	24	2	6.1	0	6	18.2	4
高等専門学校	46	46	100.0	45	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生11~20人	147	123	83.7	115	9	6.1	8	15	10.2	13
大学	94	76	80.9	75	8	8.5	8	10	10.6	9
短期大学	47	42	89.4	35	1	2.1	0	4	8.5	3
高等専門学校	6	5	83.3	5	0	0.0	0	1	16.7	1
障害学生6~10人	112	86	76.8	84	7	6.3	6	19	17.0	18
大学	62	45	72.6	45	4	6.5	3	13	21.0	13
短期大学	48	40	83.3	38	2	4.2	2	6	12.5	5
高等専門学校	2	1	50.0	1	1	50.0	1	0	0.0	0
障害学生2~5人	139	108	77.7	93	7	5.0	4	24	17.3	12
大学	72	51	70.8	47	4	5.6	1	17	23.6	8
短期大学	65	55	84.6	45	3	4.6	3	7	10.8	4
高等専門学校	2	2	100.0	1	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生1人	61	41	67.2	30	3	4.9	3	17	27.9	10
大学	33	20	60.6	16	2	6.1	2	11	33.3	8
短期大学	27	20	74.1	13	1	3.7	1	6	22.2	2
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	170	82	48.2	0	23	13.5	0	65	38.2	0
大学	91	45	49.5	0	13	14.3	0	33	36.3	0
短期大学	78	36	46.2	0	10	12.8	0	32	41.0	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

○障害学生支援に関する専門委員会の設置状況を見ると、「専門委員会を設置」している学校数は575校で、全学校(1,168校)の49.2%。「他の委員会が対応」する学校数は519校で、全学校(1,168校)の44.4%。これらを合わせた「対応する委員会がある」学校数は1,094校で、全学校(1,168校)の93.7%。

表7-3 障害学生支援に関する専門委員会等 [学校種別]

	全体の 学校数 (校)	対応する委員会がある									対応する委員会はない		
		支援障 害学生 在籍校 (%)			専門委員会を設置 (%)			他の委員会が対応 (%)			支援障 害学生 在籍校 (%)		
計	1,168	1,094	93.7	878	575	49.2	523	519	44.4	355	74	6.3	36
大学	812	763	94.0	653	412	50.7	390	351	43.2	263	49	6.0	27
短期大学	298	274	91.9	171	124	41.6	96	150	50.3	75	24	8.1	8
高等専門学校	58	57	98.3	54	39	67.2	37	18	31.0	17	1	1.7	1

表7-4 障害学生支援に関する専門委員会等 [障害学生数別・学校種別]

	学校数 (校)	対応する委員会がある									対応する委員会はない		
		支援障 害学生 在籍校 (%)			専門委員会を設置 (%)			他の委員会が対応 (%)			支援障 害学生 在籍校 (%)		
障害学生21人以上	539	525	97.4	506	342	63.5	336	183	34.0	170	14	2.6	12
大学	460	448	97.4	435	294	63.9	289	154	33.5	146	12	2.6	10
短期大学	33	32	97.0	27	18	54.5	18	14	42.4	9	1	3.0	1
高等専門学校	46	45	97.8	44	30	65.2	29	15	32.6	15	1	2.2	1
障害学生11~20人	147	138	93.9	127	76	51.7	72	62	42.2	55	9	6.1	9
大学	94	88	93.6	86	46	48.9	46	42	44.7	40	6	6.4	6
短期大学	47	44	93.6	35	25	53.2	21	19	40.4	14	3	6.4	3
高等専門学校	6	6	100.0	6	5	83.3	5	1	16.7	1	0	0.0	0
障害学生6~10人	112	109	97.3	105	54	48.2	52	55	49.1	53	3	2.7	3
大学	62	60	96.8	59	26	41.9	25	34	54.8	34	2	3.2	2
短期大学	48	47	97.9	44	26	54.2	25	21	43.8	19	1	2.1	1
高等専門学校	2	2	100.0	2	2	100.0	2	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生2~5人	139	126	90.6	101	59	42.4	53	67	48.2	48	13	9.4	8
大学	72	64	88.9	51	27	37.5	25	37	51.4	26	8	11.1	5
短期大学	65	60	92.3	49	30	46.2	27	30	46.2	22	5	7.7	3
高等専門学校	2	2	100.0	1	2	100.0	1	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生1人	61	54	88.5	39	13	21.3	10	41	67.2	29	7	11.5	4
大学	33	26	78.8	22	6	18.2	5	20	60.6	17	7	21.2	4
短期大学	27	27	100.0	16	7	25.9	5	20	74.1	11	0	0.0	0
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	1	100.0	1	0	0.0	0
障害学生0人	170	142	83.5	0	31	18.2	0	111	65.3	0	28	16.5	0
大学	91	77	84.6	0	13	14.3	0	64	70.3	0	14	15.4	0
短期大学	78	64	82.1	0	18	23.1	0	46	59.0	0	14	17.9	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0

(3) 紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

○紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると、「第三者視点で調査を行なう機関がある」学校数93校と「他の機関で対応している」学校数536校を合わせた629校で組織的な対応をしており、全学校(1,168校)の53.9%。

○「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校数は539校で、全学校(1,168校)の46.1%。

表7-5 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [学校種別]

	全体の 学校数 (校)	対応する機関がある									第三者的視点で調整 を行なう機関はない		
		第三者的視点で調整を 行なう機関がある			他の機関で対応して いる								
		支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	
計	1,168	629	53.9	515	93	8.0	85	536	45.9	430	539	46.1	399
大学	812	446	54.9	392	79	9.7	73	367	45.2	319	366	45.1	288
短期大学	298	154	51.7	97	11	3.7	10	143	48.0	87	144	48.3	82
高等専門学校	58	29	50.0	26	3	5.2	2	26	44.8	24	29	50.0	29

表7-6 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [障害学生数別・学校種別]

	学校数 (校)	対応する機関がある									第三者的視点で調整 を行なう機関はない		
		第三者的視点で調整を 行なう機関がある			他の機関で対応して いる								
		支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	支援障 害学生 在籍校 (%)	
障害学生21人以上	539	319	59.2	308	67	12.4	63	252	46.8	245	220	40.8	210
大学	460	279	60.7	272	64	13.9	61	215	46.7	211	181	39.3	173
短期大学	33	16	48.5	13	0	0.0	0	16	48.5	13	17	51.5	15
高等専門学校	46	24	52.2	23	3	6.5	2	21	45.7	21	22	47.8	22
障害学生11~20人	147	76	51.7	72	11	7.5	10	65	44.2	62	71	48.3	64
大学	94	48	51.1	48	8	8.5	8	40	42.6	40	46	48.9	44
短期大学	47	26	55.3	22	3	6.4	2	23	48.9	20	21	44.7	16
高等専門学校	6	2	33.3	2	0	0.0	0	2	33.3	2	4	66.7	4
障害学生6~10人	112	54	48.2	53	6	5.4	5	48	42.9	48	58	51.8	55
大学	62	31	50.0	30	3	4.8	2	28	45.2	28	31	50.0	31
短期大学	48	22	45.8	22	3	6.3	3	19	39.6	19	26	54.2	23
高等専門学校	2	1	50.0	1	0	0.0	0	1	50.0	1	1	50.0	1
障害学生2~5人	139	72	51.8	59	6	4.3	6	66	47.5	53	67	48.2	50
大学	72	36	50.0	29	1	1.4	1	35	48.6	28	36	50.0	27
短期大学	65	35	53.8	30	5	7.7	5	30	46.2	25	30	46.2	22
高等専門学校	2	1	50.0	0	0	0.0	0	1	50.0	0	1	50.0	1
障害学生1人	61	33	54.1	23	2	3.3	1	31	50.8	22	28	45.9	20
大学	33	16	48.5	13	2	6.1	1	14	42.4	12	17	51.5	13
短期大学	27	17	63.0	10	0	0.0	0	17	63.0	10	10	37.0	6
高等専門学校	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	1
障害学生0人	170	75	44.1	0	1	0.6	0	74	43.5	0	95	55.9	0
大学	91	36	39.6	0	1	1.1	0	35	38.5	0	55	60.4	0
短期大学	78	38	48.7	0	0	0.0	0	38	48.7	0	40	51.3	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0

(4-1) 障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

- 障害学生支援担当部署の設置状況を見ると、「専門部署・機関を設置」している学校数344校と「他の部署・機関が対応」する学校数797校を合わせた1,141校で、組織的な対応をしており、全学校(1,168校)の97.7%。
- 「対応する部署・機関はない」学校数は27校で、全学校(1,168校)の2.3%。

表7-7 障害学生支援担当部署 [学校種別]

	全体の 学校数 (校)	対応する部署・機関がある									対応する部署・機関はない		
		専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			支援障 害学生 (%) 在籍校			支援障 害学生 (%) 在籍校		
		支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	
計	1,168	1,141	97.7	904	344	29.5	322	797	68.2	582	27	2.3	10
大学	812	799	98.4	676	259	31.9	251	540	66.5	425	13	1.6	4
短期大学	298	284	95.3	173	68	22.8	55	216	72.5	118	14	4.7	6
高等専門学校	58	58	100.0	55	17	29.3	16	41	70.7	39	0	0.0	0

表7-8 障害学生支援担当部署 [障害学生数別・学校種別]

	学校数 (校)	対応する部署・機関がある									対応する部署・機関はない		
		専門部署・機関を設置			他の部署・機関が対応			支援障 害学生 (%) 在籍校			支援障 害学生 (%) 在籍校		
		支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	支援障 害学生 (%) 在籍校	
障害学生21人以上	539	538	99.8	517	234	43.4	232	304	56.4	285	1	0.2	1
大学	460	459	99.8	444	209	45.4	208	250	54.3	236	1	0.2	1
短期大学	33	33	100.0	28	10	30.3	10	23	69.7	18	0	0.0	0
高等専門学校	46	46	100.0	45	15	32.6	14	31	67.4	31	0	0.0	0
障害学生11~20人	147	145	98.6	134	39	26.5	37	106	72.1	97	2	1.4	2
大学	94	93	98.9	91	26	27.7	26	67	71.3	65	1	1.1	1
短期大学	47	46	97.9	37	12	25.5	10	34	72.3	27	1	2.1	1
高等専門学校	6	6	100.0	6	1	16.7	1	5	83.3	5	0	0.0	0
障害学生6~10人	112	108	96.4	105	29	25.9	28	79	70.5	77	4	3.6	3
大学	62	61	98.4	60	13	21.0	12	48	77.4	48	1	1.6	1
短期大学	48	45	93.8	43	15	31.3	15	30	62.5	28	3	6.3	2
高等専門学校	2	2	100.0	2	1	50.0	1	1	50.0	1	0	0.0	0
障害学生2~5人	139	137	98.6	107	24	17.3	23	113	81.3	84	2	1.4	2
大学	72	72	100.0	56	4	5.6	4	68	94.4	52	0	0.0	0
短期大学	65	63	96.9	50	20	30.8	19	43	66.2	31	2	3.1	2
高等専門学校	2	2	100.0	1	0	0.0	0	2	100.0	1	0	0.0	0
障害学生1人	61	58	95.1	41	2	3.3	2	56	91.8	39	3	4.9	2
大学	33	31	93.9	25	1	3.0	1	30	90.9	24	2	6.1	1
短期大学	27	26	96.3	15	1	3.7	1	25	92.6	14	1	3.7	1
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	1	100.0	1	0	0.0	0
障害学生0人	170	155	91.2	0	16	9.4	0	139	81.8	0	15	8.8	0
大学	91	83	91.2	0	6	6.6	0	77	84.6	0	8	8.8	0
短期大学	78	71	91.0	0	10	12.8	0	61	78.2	0	7	9.0	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0

(4-2) 障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

○障害学生支援担当者の配置状況を見てみると、「専任」を配置している学校数296校と「兼任」を配置している学校数840校を合わせた1,136校で支援担当者を配置しており、全学校(1,168校)の97.3%。

表7-9 障害学生支援担当者 [学校種別]

	全体の 学校数 (校)	支援担当者を配置									外部委託 (%)	
		専任			兼任							
		支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校		
計	1,168	1,136	97.3	903	296	25.3	265	840	71.9	638	514	44.0
大学	812	792	97.5	673	233	28.7	223	559	68.8	450	351	43.2
短期大学	298	286	96.0	175	56	18.8	35	230	77.2	140	119	39.9
高等専門学校	58	58	100.0	55	7	12.1	7	51	87.9	48	44	75.9

表7-10 障害学生支援担当者 [障害学生数別・学校種別]

	学校数 (校)	支援担当者を配置									外部委託 (%)	
		専任			兼任							
		支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校	支援障害 (%) 学生在籍校		
障害学生21人以上	539	534	99.1	516	211	39.1	208	323	59.9	308	262	48.6
大学	460	455	98.9	443	199	43.3	197	256	55.7	246	214	46.5
短期大学	33	33	100.0	28	9	27.3	8	24	72.7	20	11	33.3
高等専門学校	46	46	100.0	45	3	6.5	3	43	93.5	42	37	80.4
障害学生11~20人	147	145	98.6	134	32	21.8	29	113	76.9	105	72	49.0
大学	94	93	98.9	91	17	18.1	17	76	80.9	74	43	45.7
短期大学	47	46	97.9	37	12	25.5	9	34	72.3	28	25	53.2
高等専門学校	6	6	100.0	6	3	50.0	3	3	50.0	3	4	66.7
障害学生6~10人	112	108	96.4	106	15	13.4	15	93	83.0	91	52	46.4
大学	62	61	98.4	60	6	9.7	6	55	88.7	54	30	48.4
短期大学	48	45	93.8	44	8	16.7	8	37	77.1	36	22	45.8
高等専門学校	2	2	100.0	2	1	50.0	1	1	50.0	1	0	0.0
障害学生2~5人	139	134	96.4	105	13	9.4	11	121	87.1	94	56	40.3
大学	72	69	95.8	54	3	4.2	2	66	91.7	52	26	36.1
短期大学	65	63	96.9	50	10	15.4	9	53	81.5	41	29	44.6
高等専門学校	2	2	100.0	1	0	0.0	0	2	100.0	1	1	50.0
障害学生1人	61	59	96.7	42	3	4.9	2	56	91.8	40	20	32.8
大学	33	31	93.9	25	1	3.0	1	30	90.9	24	10	30.3
短期大学	27	27	100.0	16	2	7.4	1	25	92.6	15	9	33.3
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	1	100.0	1	1	100.0
障害学生0人	170	156	91.8	0	22	12.9	0	134	78.8	0	52	30.6
大学	91	83	91.2	0	7	7.7	0	76	83.5	0	28	30.8
短期大学	78	72	92.3	0	15	19.2	0	57	73.1	0	23	29.5
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	1	100.0

(注1) 複数回答あり

(注2) 専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

(4-3) 障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると、専任スタッフで最も多いのが「コーディネーター」154校。

次いで「職員」143校、「教員」72校。兼任スタッフで最も多いのが「職員」965校。次いで「教員」689校、「カウンセラー」402校。

表7-11 障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

全体の 学校数 (校)	専任スタッフ									兼任スタッフ							外部委託				
	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他			
計	1,168	296	154	48	6	8	143	72	46	1,085	112	402	183	15	965	689	70	514	461	46	43
大学	812	233	129	38	6	8	118	56	33	761	82	296	158	9	684	458	51	351	309	39	29
短期大学	298	56	22	7	0	0	24	15	12	267	23	92	23	6	230	177	14	119	108	6	9
高等専門学校	58	7	3	3	0	0	1	1	1	57	7	14	2	0	51	54	5	44	44	1	5

表7-12 障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

学校数 (校)	専任スタッフ									兼任スタッフ							外部委託				
	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他			
障害学生21人以上	539	211	125	33	6	7	108	52	25	506	67	243	118	3	448	312	36	262	228	34	29
大学	460	199	118	28	6	7	104	49	25	431	57	219	112	3	380	255	31	214	181	33	22
短期大学	33	9	5	3	0	0	4	3	0	30	4	12	4	0	26	14	2	11	10	0	2
高等専門学校	46	3	2	2	0	0	0	0	0	45	6	12	2	0	42	43	3	37	37	1	5
障害学生11~20人	147	32	15	5	0	1	12	6	6	140	18	47	21	1	125	87	10	72	68	3	5
大学	94	17	8	5	0	1	7	3	4	90	11	28	17	1	85	53	7	43	42	2	3
短期大学	47	12	6	0	0	0	4	2	1	44	6	19	4	0	36	29	3	25	22	1	2
高等専門学校	6	3	1	0	0	0	1	1	1	6	1	0	0	0	4	5	0	4	4	0	0
障害学生6~10人	112	15	8	3	0	0	8	2	3	105	9	33	13	1	97	75	5	52	50	1	2
大学	62	6	3	1	0	0	3	0	0	60	3	14	7	1	56	42	2	30	29	1	0
短期大学	48	8	5	1	0	0	5	2	3	43	6	18	6	0	40	31	2	22	21	0	2
高等専門学校	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0
障害学生2~5人	139	13	4	0	0	0	9	6	1	129	13	41	14	3	115	93	9	56	50	5	1
大学	72	3	0	0	0	0	2	2	0	69	7	17	9	1	64	48	5	26	22	3	1
短期大学	65	10	4	0	0	0	7	4	1	58	6	23	5	2	49	43	4	29	27	2	0
高等専門学校	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2	2	0	1	1	0	0
障害学生1人	61	3	0	1	0	0	1	0	3	57	1	11	5	2	49	37	5	20	17	0	3
大学	33	1	0	1	0	0	1	0	1	30	1	6	5	2	26	16	2	10	9	0	1
短期大学	27	2	0	0	0	0	0	0	2	26	0	5	0	0	22	20	2	9	7	0	2
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0
障害学生0人	170	22	2	6	0	0	5	6	8	148	4	27	12	5	131	85	5	52	48	3	3
大学	91	7	0	3	0	0	1	2	3	81	3	12	8	1	73	44	4	28	26	0	2
短期大学	78	15	2	3	0	0	4	4	5	66	1	15	4	4	57	40	1	23	21	3	1
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0

(注1) 複数回答あり

(注2) 兼任スタッフがいる校数については、専任スタッフと兼任スタッフの両方が配置されている学校も含めている。

表7-13 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

支援障害学生在籍校 (校)	専任スタッフ									兼任スタッフ						外部委託					
	専任スタッフ	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	兼任スタッフ	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他	
計	914	265	152	41	6	8	131	63	36	865	104	357	163	10	770	558	61	430	385	41	38
大学	680	223	129	35	6	8	114	54	30	645	78	278	145	8	577	394	46	307	268	39	26
短期大学	179	35	20	3	0	0	16	8	5	166	19	65	16	2	145	113	10	82	76	1	7
高等専門学校	55	7	3	3	0	0	1	1	1	54	7	14	2	0	48	51	5	41	41	1	5

表7-14 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

学校数 (校)	専任スタッフ									兼任スタッフ						外部委託					
	専任スタッフ	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	兼任スタッフ	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他	
障害学生21人以上	518	208	125	32	6	7	105	51	25	490	66	241	116	3	433	303	36	251	217	34	29
大学	445	197	118	28	6	7	102	49	25	420	57	217	110	3	369	248	31	205	172	33	22
短期大学	28	8	5	2	0	0	3	2	0	26	3	12	4	0	23	13	2	10	9	0	2
高等専門学校	45	3	2	2	0	0	0	0	0	44	6	12	2	0	41	42	3	36	36	1	5
障害学生11~20人	136	29	15	5	0	1	10	5	5	131	16	44	19	1	117	81	10	69	65	3	5
大学	92	17	8	5	0	1	7	3	4	88	10	27	16	1	83	51	7	43	42	2	3
短期大学	38	9	6	0	0	0	2	1	0	37	5	17	3	0	30	25	3	22	19	1	2
高等専門学校	6	3	1	0	0	0	1	1	1	6	1	0	0	0	4	5	0	4	4	0	0
障害学生6~10人	108	15	8	3	0	0	8	2	3	103	9	32	12	1	95	74	5	50	48	1	2
大学	61	6	3	1	0	0	3	0	0	59	3	14	7	1	55	42	2	29	28	1	0
短期大学	45	8	5	1	0	0	5	2	3	42	6	17	5	0	39	30	2	21	20	0	2
高等専門学校	2	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0
障害学生2~5人	109	11	4	0	0	0	7	5	1	101	12	32	12	3	90	75	7	44	41	3	0
大学	56	2	0	0	0	0	1	2	0	54	7	15	8	1	50	40	4	21	18	3	0
短期大学	52	9	4	0	0	0	6	3	1	46	5	16	4	2	39	34	3	23	23	0	0
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
障害学生1人	43	2	0	1	0	0	1	0	2	40	1	8	4	2	35	25	3	16	14	0	2
大学	26	1	0	1	0	0	1	0	1	24	1	5	4	2	20	13	2	9	8	0	1
短期大学	16	1	0	0	0	0	0	0	1	15	0	3	0	0	14	11	0	6	5	0	1
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0
障害学生0人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
短期大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注1) 複数回答あり

(注2) 兼任スタッフがいる校数については、専任スタッフと兼任スタッフの両方が配置されている学校も含めている。

(5) 障害学生の相談受付窓口

○障害学生の支援の申出等に対応する窓口の設置状況を見ると、「支援の申出等の相談に対応する窓口がある」学校数は1,013校で、全学校(1,168校)の86.7%。このうち、「窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している」学校数は883校。

表7-15 障害学生の相談受付窓口の設置状況

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
支援の申出等の相談に対応する窓口がある	1,013	717	241	55
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している	883	636	199	48
窓口は設けているが、特に周知はしていない	130	81	42	7
支援の申出等の相談に対応する窓口はない	155	95	57	3
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している	110	68	39	3
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない	45	27	18	0

(6) 支援の申出等に関する対応手順

○支援の申出等に関する対応手順の整備状況を見ると、「対応手順を規定した文書がある」学校数は471校。「対応要領等に対応手順が記載されている」学校数319校と合わせると790校で、全学校(1,168校)の67.6%。

表7-16 支援の申出等に関する対応手順

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
対応手順を規定した文書がある	471	336	107	28
対応要領等に対応手順が記載されている	319	228	77	14
対応手順を規定する文書はない	378	248	114	16

(7) 施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)

○大学、短期大学及び高等専門学校全ての全てにおいて、学内全体に整備されているものの中で、屋外は「道路の舗装、段差の解消等」、「専用駐車場」などが多く、屋内は「エレベーター」、「障害者用トイレ」などが多い。支援機器については、現在必要な箇所に整備されているものの中で、「車椅子、簡易ベッド等」が多い。

表7-17 施設・設備の整備状況

	(校)	学内全体に 整備	現在必要な 箇所に整備	部分的に整備し ているが不十分	整備中又は年度 内に整備予定	未整備
大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	157	354	260	0	41
	手すり、スロープ、階段昇降機等	90	399	277	0	46
	点字ブロック、標識シール等	47	195	267	1	302
屋内	専用駐車場	164	412	120	2	114
	自動扉等出入り口の整備	149	327	266	1	69
	エレベーター	223	359	219	0	11
	手すり、スロープ、階段昇降機等	107	369	299	0	37
	車椅子移動等に必要なスペース確保	173	326	261	0	52
	点字プレート等教室表示	24	88	106	2	592
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	8	19	1	784
	障害者用トイレ	206	411	182	0	13
	自習室、独習室	66	272	183	3	288
	磁気誘導ループ	0	5	9	2	796
支援機器	点字プリンタ	-	69	23	2	718
	立体コピー機	-	36	8	4	764
	拡大読書機	-	107	58	2	645
	点字携帯端末	-	28	6	1	777
	筆談器等	-	139	108	2	563
	車椅子、簡易ベッド等	-	541	225	5	41
	その他	11	82	15	1	-
短期大学						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	41	126	107	0	24
	手すり、スロープ、階段昇降機等	18	128	117	0	35
	点字ブロック、標識シール等	9	44	75	2	168
	専用駐車場	39	139	42	1	77
	自動扉等出入り口の整備	31	110	93	0	64
屋内	エレベーター	53	120	79	2	44
	手すり、スロープ、階段昇降機等	22	120	123	1	32
	車椅子移動等に必要なスペース確保	38	118	104	0	38
	点字プレート等教室表示	0	14	40	2	242
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	2	1	295
	障害者用トイレ	49	136	87	0	26
	自習室、独習室	10	78	54	2	154
	磁気誘導ループ	0	0	2	1	295
	点字プリンタ	-	8	0	0	290
	立体コピー機	-	5	3	0	290
支援機器	拡大読書機	-	13	3	1	281
	点字携帯端末	-	3	1	0	294
	筆談器等	-	22	22	1	253
	車椅子、簡易ベッド等	-	179	93	3	23
	その他	4	12	2	0	-
高等専門学校						
屋外	道路の舗装、段差の解消等	11	22	24	1	0
	手すり、スロープ、階段昇降機等	7	26	24	1	0
	点字ブロック、標識シール等	0	6	17	0	35
	専用駐車場	9	31	12	0	6
	自動扉等出入り口の整備	7	24	22	0	5
屋内	エレベーター	9	21	27	0	1
	手すり、スロープ、階段昇降機等	7	23	27	1	0
	車椅子移動等に必要なスペース確保	7	18	28	1	4
	点字プレート等教室表示	0	0	4	0	54
	聴覚障害者用屋内信号装置	0	0	0	0	58
	障害者用トイレ	12	22	23	0	1
	自習室、独習室	2	18	13	1	24
	磁気誘導ループ	0	0	0	0	58
	点字プリンタ	-	0	0	0	58
	立体コピー機	-	1	0	0	57
支援機器	拡大読書機	-	2	1	0	55
	点字携帯端末	-	0	1	0	57
	筆談器等	-	3	4	0	51
	車椅子、簡易ベッド等	-	39	18	0	1
その他	1	3	0	0	-	

(8) 支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)

○支援学生在籍学校の状況を見ると、「①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる」学校数は212校であり、支援学生在籍学校(236校)の89.8%となっている。

表7-18 支援学生在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

(校)	支援学生がいる																
	①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる				②①以外の支援学生がいる												
	i) 学生が運営			ii) 他校より派遣			iii) その他										
	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他		
計	236	212	198	25	5	8	2	6	0	5	5	0	0	23	16	5	2
大学	207	187	173	24	5	7	2	5	0	3	3	0	0	20	15	4	1
短期大学	26	23	23	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	1	0	1
高等専門学校	3	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
51人以上	55	54	51	9	2	2	0	2	0	2	2	0	0	3	1	1	1
大学	52	51	48	9	2	2	0	2	0	1	1	0	0	3	1	1	1
短期大学	3	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41~50人	20	20	18	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
大学	20	20	18	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31~40人	19	19	18	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	16	16	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期大学	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21~30人	22	22	22	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	20	20	20	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期大学	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11~20人	38	35	30	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0
大学	34	31	26	4	1	2	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0
短期大学	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6~10人	23	21	20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3	1	0
大学	20	19	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
短期大学	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
1~5人	59	41	39	2	1	4	0	4	0	2	2	0	0	14	11	2	1
大学	45	30	28	2	1	3	0	3	0	1	1	0	0	13	11	2	0
短期大学	13	11	11	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
高等専門学校	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)①②は複数回答あり

支援学生はいない	932
大学	605
短期大学	272
高等専門学校	55

8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況

(1) 学校種別・障害学生数別

○障害学生支援に関する活動や取組を実施している学校数は1,117校であり、そのうち支援障害学生が在籍する学校数は903校である。

表8-1 活動・取組実施状況 [学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生 在籍校
計	1,168	1,117	903
大学	812	779	672
短期大学	298	280	176
高等専門学校	58	58	55

表8-2 活動・取組実施状況 [障害学生数別・学校種別]

(校)	学校数	実施校数	支援障害 学生 在籍校
障害学生21人以上	539	534	514
大学	460	456	441
短期大学	33	32	28
高等専門学校	46	46	45
障害学生11～20人	147	146	135
大学	94	94	92
短期大学	47	46	37
高等専門学校	6	6	6
障害学生6～10人	112	110	107
大学	62	61	60
短期大学	48	47	45
高等専門学校	2	2	2
障害学生2～5人	139	134	107
大学	72	69	55
短期大学	65	63	51
高等専門学校	2	2	1
障害学生1人	61	56	40
大学	33	29	24
短期大学	27	26	15
高等専門学校	1	1	1
障害学生0人	170	137	0
大学	91	70	0
短期大学	78	66	0
高等専門学校	1	1	0

(2) 学校種別・内容別

○障害学生支援に関する活動や取組を内容別に見ると、多い順に「支援情報の公開」829校(前年度772校)、「不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組」818校(同766校)、「障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援」814校(同798校)。

表8-3 活動・取組実施状況 [学校種別・内容別]

(校) 学校種別 計				1,117校中	1,168校中
	大学	短期大学	高等 専門学校	の実施率 (%)	の実施率 (%)
不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組 (766)	575 (542)	197 (176)	46 (48)	73.2 (69.6)	70.0 (65.2)
社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組 (673)	529 (483)	171 (148)	38 (42)	66.1 (61.2)	63.2 (57.3)
支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している。) (772)	607 (575)	171 (146)	51 (51)	74.2 (70.2)	71.0 (65.8)
障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援 (798)	580 (571)	198 (191)	36 (36)	72.9 (72.5)	69.7 (68.0)
他大学等との連携 (294)	309 (230)	51 (45)	22 (19)	27.7 (26.7)	26.5 (25.0)
学外機関との連携 (508)	528 (367)	111 (107)	36 (34)	47.3 (46.2)	45.2 (43.3)
相談対応・懇親会等(障害学生・支援スタッフ向け) (344)	349 (255)	68 (67)	21 (22)	31.2 (31.3)	29.9 (29.3)
障害学生支援に関する(学内)研修 (465)	520 (342)	117 (101)	25 (22)	46.6 (42.3)	44.5 (39.6)
1) 教員向け各種研修(FD等) (429)	469 (315)	102 (92)	25 (22)	42.0 (39.0)	40.2 (36.5)
2) 職員向け各種研修(SD等) (358)	423 (265)	99 (84)	14 (9)	37.9 (32.5)	36.2 (30.5)
障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣 (448)	497 (320)	99 (91)	41 (37)	44.5 (40.7)	42.6 (38.2)
障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等) (186)	184 (160)	22 (24)	2 (2)	16.5 (16.9)	15.8 (15.8)
支援マニュアル、パンフレット等の配布 (295)	328 (241)	57 (47)	6 (7)	29.4 (26.8)	28.1 (25.1)
オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供 (356)	410 (275)	81 (64)	20 (17)	36.7 (32.4)	35.1 (30.3)
入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知 (327)	378 (247)	80 (64)	16 (16)	33.8 (29.7)	32.4 (27.9)
障害学生支援に関する講座講演等イベント (133)	163 (110)	31 (21)	3 (2)	14.6 (12.1)	14.0 (11.3)
障害学生支援又は障害者支援に関する講義(ボランティア論等) (457)	462 (355)	109 (101)	1 (1)	41.4 (41.5)	39.6 (38.9)

(注) 複数回答あり

()内は前年度数値

図8-1 活動・取組実施状況(内容別)

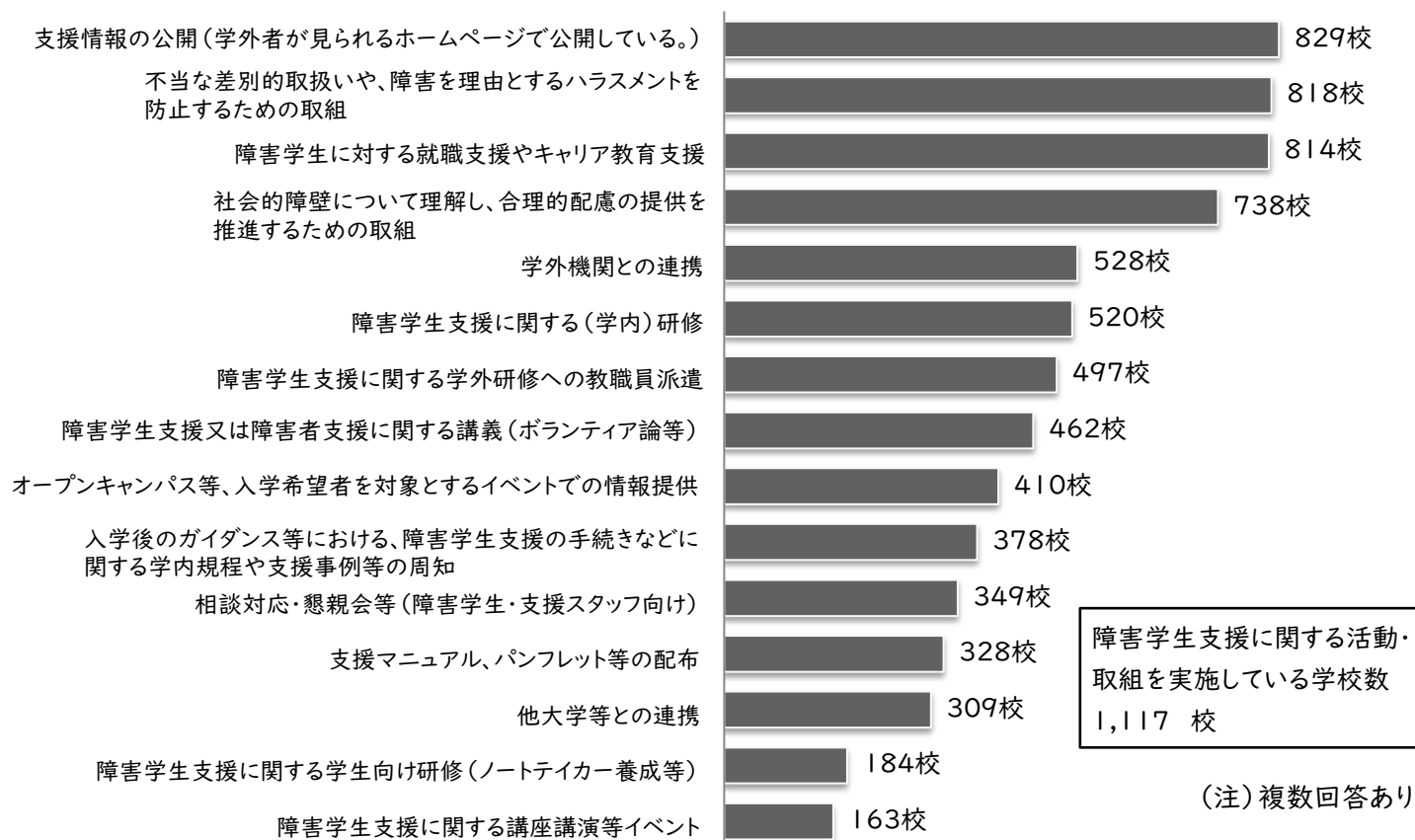


図8-2 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

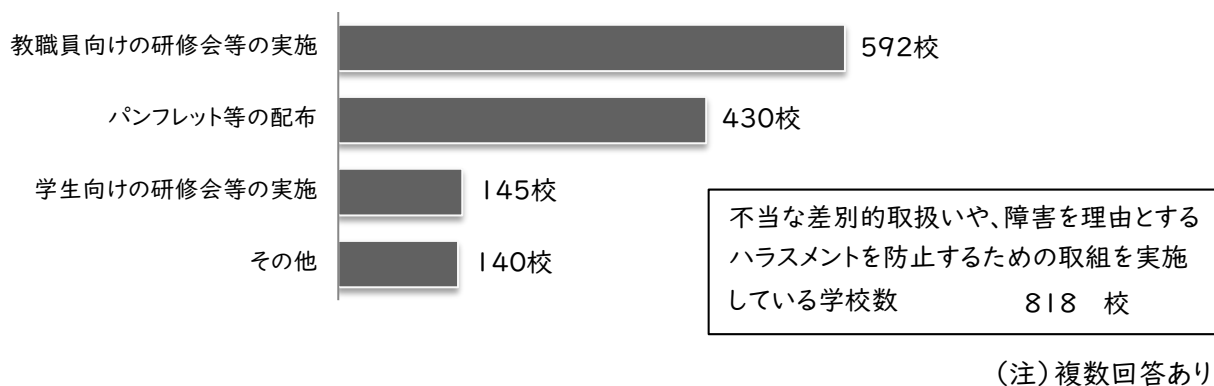


図8-3 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

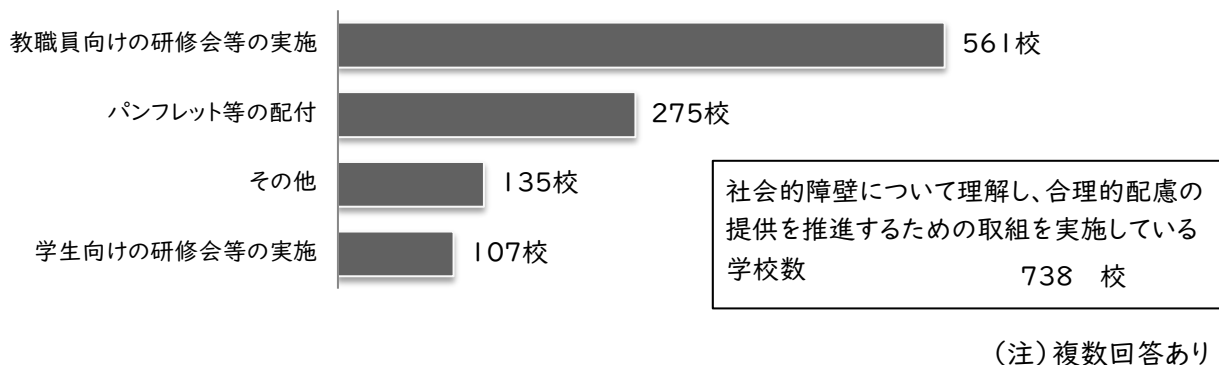
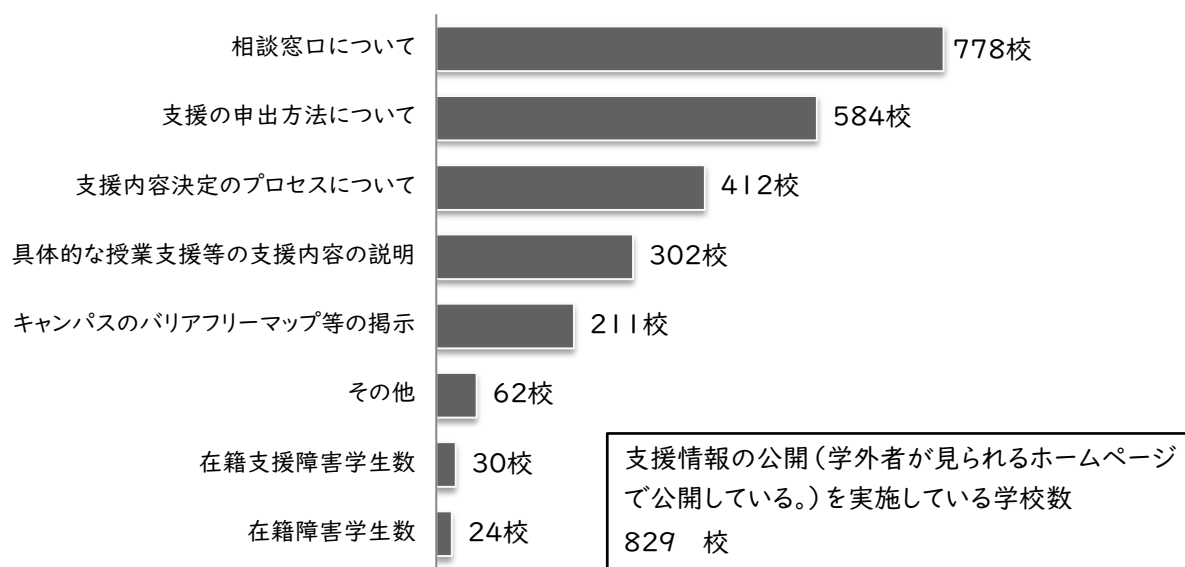
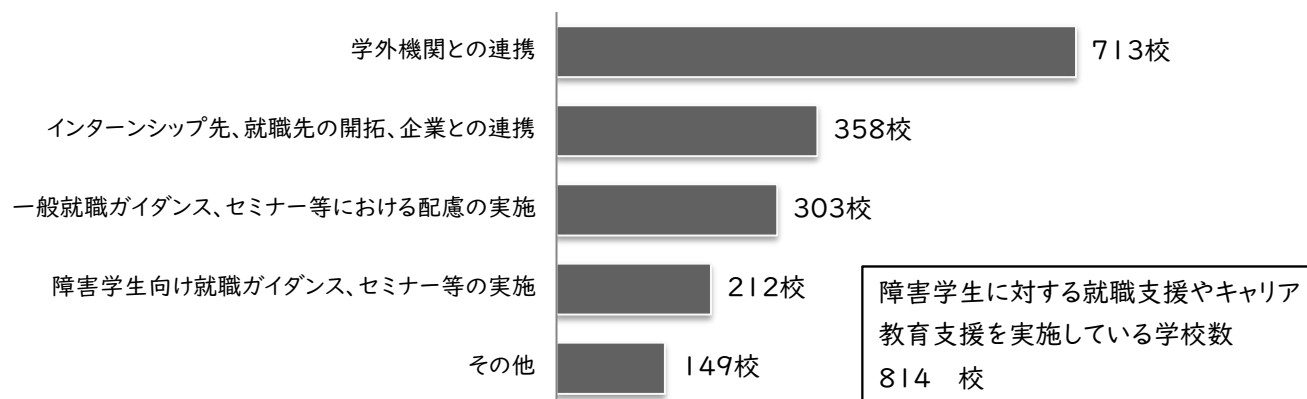


図8-4 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している。）



（注）複数回答あり

図8-5 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援



（注）複数回答あり

9.障害のある生徒の受入れに関する配慮及び入学者数等

(1) 入学者選抜における配慮に関する体制

○令和5年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況について、「入試要項(紙)及びホームページに記載」している学校数は933校である。

○入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法について、「全学共通のルールで期間を設けている」学校数は628校である。

表9-1 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
入試要項(紙)及びホームページに記載	933	683	199	51
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載	913	669	193	51
個々の困難に応じた配慮内容を記載	26	21	5	0
その他	26	22	4	0
入試要項(紙)のみに記載	115	69	41	5
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載	107	65	37	5
個々の困難に応じた配慮内容を記載	3	2	1	0
その他	6	3	3	0
入試要項(紙)にもホームページにも記載していない	102	50	50	2

(注) 複数回答あり

表9-2 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
随時受け付けている	384	239	128	17
全学共通のルールで期間を設けている	628	473	118	37
出願受付締め切りまで	86	56	21	9
試験前日まで	2	1	0	1
その他	540	416	97	27
学部、学科等や入試形態によって違う	47	42	3	2
特に告知はしていないが、相談があれば対応する	109	58	49	2

(2) 入学者選抜において実施可能な配慮

○令和5年度入学者選抜における実施可能な配慮について、多い順に「別室を設定」が977校、「松葉杖の持参使用」が970校、「車椅子等の持参使用」が969校。

表9-3 入学者選抜において実施可能な配慮

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
点字問題を点字で解答	144	129	12	3
拡大文字問題の準備	676	504	137	35
拡大解答用紙の準備	639	479	131	29
音声で出題し音声で解答	74	57	15	2
マークシートに替えて文字で解答	194	155	25	14
チェック解答	242	197	31	14
試験時間の延長	726	547	144	35
照明器具の準備	442	321	96	25
特製機の使用	457	373	65	19
拡大鏡等の持参使用	771	572	162	37
補聴器の持参使用	900	656	200	44
車椅子等の持参使用	969	695	223	51
松葉杖の持参使用	970	693	225	52
パソコン等の持参使用	225	170	47	8
手話通訳者の付与	136	113	21	2
文書による伝達	716	537	149	30
窓側の明るい席の指定	903	646	209	48
トイレに近接する試験室に指定	930	676	209	45
別室を設定	977	699	226	52
試験室を一階に設定	693	491	161	41
介助者の付与	391	300	81	10
試験場への車での入構許可	916	656	213	47
その他	265	221	28	16

(注1) 複数回答あり

(注2) 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3) 障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)

○令和5年度入学者選抜における障害のある入学者数について見ると、大学及び短期大学においては「病弱・虚弱」が、高等専門学校では「発達障害」がそれぞれ最も多い。

表9-4 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (総表)

	(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	※の内で受験上の配慮を実施した数	
							受験者	合格者
計		6,860	10,655	10,319	6,667	5,351	5,883	2,661
視覚障害		194	236	225	165	141	141	84
盲		48	52	51	38	36	36	24
弱視		146	184	174	127	105	105	60
聴覚・言語障害		1,162	1,270	1,216	628	471	1,060	511
聾		95	163	160	108	99	146	96
難聴		1,049	1,087	1,038	507	359	904	409
言語障害のみ		18	20	18	13	13	10	6
肢体不自由		433	503	488	308	232	357	193
上肢機能障害		53	66	64	45	33	34	16
下肢機能障害		158	178	173	108	83	131	71
上下肢機能障害		112	126	124	81	62	96	53
他の機能障害		110	133	127	74	54	96	53
病弱・虚弱		960	2,178	2,136	1,573	1,339	855	363
内部障害等		716	1,312	1,287	853	679	668	285
他の慢性疾患		244	866	849	720	660	187	78
重複		94	109	105	66	58	85	48
発達障害		982	1,773	1,736	1,212	1,022	807	349
SLD		69	96	93	52	42	61	25
ADHD		264	523	516	357	289	224	88
ASD		382	705	683	521	456	278	143
発達障害の重複		267	449	444	282	235	244	93
精神障害		1,465	2,368	2,274	1,469	1,206	1,226	508
統合失調症等		48	90	85	56	50	38	13
気分障害		87	323	315	284	265	52	29
神経症性障害等		719	1,086	1,033	635	485	633	264
摂食障害・睡眠障害等		21	76	75	66	65	17	9
他の精神障害		590	793	766	428	341	486	193
その他の障害		1,570	2,218	2,139	1,246	882	1,352	605

表9-5 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (大学)

	(人)	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	※の内で受験上の配慮を実施した数	
							受験者	合格者
計		6,662	9,621	9,289	5,695	4,423	5,747	2,559
視覚障害		186	222	211	153	130	135	80
盲		46	50	49	36	34	34	22
弱視		140	172	162	117	96	101	58
聴覚・言語障害		1,133	1,222	1,168	584	432	1,028	482
聾		92	160	157	105	96	143	93
難聴		1,024	1,044	995	468	325	876	384
言語障害のみ		17	18	16	11	11	9	5
肢体不自由		418	480	466	289	214	345	183
上肢機能障害		51	62	60	42	30	34	16
下肢機能障害		151	167	163	100	76	124	66
上下肢機能障害		111	123	121	78	59	95	52
他の機能障害		105	128	122	69	49	92	49
病弱・虚弱		938	1,880	1,838	1,282	1,074	841	352
内部障害等		702	1,172	1,147	716	551	659	278
他の慢性疾患		236	708	691	566	523	182	74
重複		93	105	101	62	54	84	47
発達障害		924	1,501	1,464	961	771	777	330
SLD		62	86	83	44	34	57	23
ADHD		248	423	416	265	197	217	85
ASD		363	606	584	428	363	266	134
発達障害の重複		251	386	381	224	177	237	88
精神障害		1,427	2,200	2,109	1,310	1,051	1,206	494
統合失調症等		47	87	82	54	48	37	13
気分障害		83	292	284	253	235	51	28
神経症性障害等		702	1,015	965	570	423	623	257
摂食障害・睡眠障害等		19	63	62	53	52	16	8
他の精神障害		576	743	716	380	293	479	188
その他の障害		1,543	2,011	1,932	1,054	697	1,331	591

(注) 相談者、志願者、受験者、合格者は延べ数、入学者は実数である。

表9-6 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数					
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者
計	118	570	567	553	511	72	63
視覚障害	4	8	8	8	7	3	3
盲	2	2	2	2	2	2	2
弱視	2	6	6	6	5	1	1
聴覚・言語障害	20	29	29	27	23	20	19
聾	3	3	3	3	3	3	3
難聴	17	25	25	23	19	17	16
言語障害のみ	0	1	1	1	1	0	0
肢体不自由	12	17	16	16	15	10	10
上肢機能障害	1	1	1	1	1	0	0
下肢機能障害	5	9	8	8	7	5	5
上下肢機能障害	1	2	2	2	2	1	1
他の機能障害	5	5	5	5	5	4	4
病弱・虚弱	12	185	185	184	159	6	6
内部障害等	10	92	92	92	84	5	5
他の慢性疾患	2	93	93	92	75	1	1
重複	1	1	1	1	1	1	1
発達障害	23	80	80	75	75	10	6
SLD	4	5	5	5	5	0	0
ADHD	2	20	20	19	19	1	0
ASD	6	36	36	34	34	5	3
発達障害の重複	11	19	19	17	17	4	3
精神障害	29	136	134	133	129	12	11
統合失調症等	1	3	3	2	2	1	0
気分障害	4	26	26	26	25	1	1
神経症性障害等	11	59	57	57	54	6	6
摂食障害・睡眠障害等	2	11	11	11	11	1	1
他の精神障害	11	37	37	37	37	3	3
その他の障害	17	114	114	109	102	10	7

表9-7 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数					
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者
計	80	464	463	419	417	64	39
視覚障害	4	6	6	4	4	3	1
盲	0	0	0	0	0	0	0
弱視	4	6	6	4	4	3	1
聴覚・言語障害	9	19	19	17	16	12	10
聾	0	0	0	0	0	0	0
難聴	8	18	18	16	15	11	9
言語障害のみ	1	1	1	1	1	1	1
肢体不自由	3	6	6	3	3	2	0
上肢機能障害	1	3	3	2	2	0	0
下肢機能障害	2	2	2	0	0	2	0
上下肢機能障害	0	1	1	1	1	0	0
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	10	113	113	107	106	8	5
内部障害等	4	48	48	45	44	4	2
他の慢性疾患	6	65	65	62	62	4	3
重複	0	3	3	3	3	0	0
発達障害	35	192	192	176	176	20	13
SLD	3	5	5	3	3	4	2
ADHD	14	80	80	73	73	6	3
ASD	13	63	63	59	59	7	6
発達障害の重複	5	44	44	41	41	3	2
精神障害	9	32	31	26	26	8	3
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	0	5	5	5	5	0	0
神経症性障害等	6	12	11	8	8	4	1
摂食障害・睡眠障害等	0	2	2	2	2	0	0
他の精神障害	3	13	13	11	11	4	2
その他の障害	10	93	93	83	83	11	7

(注) 相談者、志願者、受験者、合格者は延べ数、入学者は実数である。

(4) 受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別・課程別)

○令和5年度入学選抜において受験上の配慮を行なった受験者数について見ると、大学においては「精神障害」が、短期大学では「聴覚・言語障害」が、高等専門学校では「発達障害」がそれぞれ最も多い。

表9-8 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別・課程別] (総表)

障害種別計 (人)	課程別計	学部・学科(通学)					特別選抜以外	学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
		特別選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	障害者特別選抜	特別選抜以外					
障害種別計	5,883	5,768	1,159	544	608	7	4,609	13	93	0	9
視覚障害	141	133	66	37	29	0	67	1	6	0	1
盲	36	33	26	17	9	0	7	0	2	0	1
弱視	105	100	40	20	20	0	60	1	4	0	0
聴覚・言語障害	1,060	1,026	326	131	191	4	700	0	28	0	6
聾	146	142	91	42	49	0	51	0	4	0	0
難聴	904	874	227	84	139	4	647	0	24	0	6
言語障害のみ	10	10	8	5	3	0	2	0	0	0	0
肢体不自由	357	338	125	54	70	1	213	1	18	0	0
上肢機能障害	34	33	8	5	3	0	25	0	1	0	0
下肢機能障害	131	129	46	16	29	1	83	0	2	0	0
上下肢機能障害	96	89	42	19	23	0	47	0	7	0	0
他の機能障害	96	87	29	14	15	0	58	1	8	0	0
病弱・虚弱	855	841	104	40	64	0	737	4	10	0	0
内部障害等	668	658	74	28	46	0	584	2	8	0	0
他の慢性疾患	187	183	30	12	18	0	153	2	2	0	0
重複	85	81	38	14	24	0	43	0	4	0	0
発達障害	807	792	157	94	61	2	635	3	11	0	1
SLD	61	57	19	12	7	0	38	2	2	0	0
ADHD	224	222	29	19	10	0	193	1	1	0	0
ASD	278	275	64	37	26	1	211	0	2	0	1
発達障害の重複	244	238	45	26	18	1	193	0	6	0	0
精神障害	1,226	1,210	205	110	95	0	1,005	2	13	0	1
統合失調症等	38	36	6	5	1	0	30	1	1	0	0
気分障害	52	50	17	7	10	0	33	0	2	0	0
神経症性障害等	633	627	78	40	38	0	549	1	4	0	1
摂食障害・睡眠障害等	17	17	5	2	3	0	12	0	0	0	0
他の精神障害	486	480	99	56	43	0	381	0	6	0	0
その他の障害	1,352	1,347	138	64	74	0	1,209	2	3	0	0

表9-9 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別・課程別] (大学)

障害種別計 (人)	課程別計	学部・学科(通学)					特別選抜以外	学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
		特別選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	障害者特別選抜	特別選抜以外					
障害種別計	5,747	5,636	1,098	523	568	7	4,538	12	93	0	6
視覚障害	135	127	63	35	28	0	64	1	6	0	1
盲	34	31	24	16	8	0	7	0	2	0	1
弱視	101	96	39	19	20	0	57	1	4	0	0
聴覚・言語障害	1,028	995	308	126	178	4	687	0	28	0	5
聾	143	139	88	39	49	0	51	0	4	0	0
難聴	876	847	213	82	127	4	634	0	24	0	5
言語障害のみ	9	9	7	5	2	0	2	0	0	0	0
肢体不自由	345	326	117	51	65	1	209	1	18	0	0
上肢機能障害	34	33	8	5	3	0	25	0	1	0	0
下肢機能障害	124	122	42	14	27	1	80	0	2	0	0
上下肢機能障害	95	88	41	19	22	0	47	0	7	0	0
他の機能障害	92	83	26	13	13	0	57	1	8	0	0
病弱・虚弱	841	827	97	40	57	0	730	4	10	0	0
内部障害等	659	649	70	28	42	0	579	2	8	0	0
他の慢性疾患	182	178	27	12	15	0	151	2	2	0	0
重複	84	80	37	13	24	0	43	0	4	0	0
発達障害	777	763	147	89	56	2	616	3	11	0	0
SLD	57	53	18	12	6	0	35	2	2	0	0
ADHD	217	215	27	18	9	0	188	1	1	0	0
ASD	266	264	61	35	25	1	203	0	2	0	0
発達障害の重複	237	231	41	24	16	1	190	0	6	0	0
精神障害	1,206	1,192	197	107	90	0	995	1	13	0	0
統合失調症等	37	35	6	5	1	0	29	1	1	0	0
気分障害	51	49	16	6	10	0	33	0	2	0	0
神経症性障害等	623	619	76	39	37	0	543	0	4	0	0
摂食障害・睡眠障害等	16	16	5	2	3	0	11	0	0	0	0
他の精神障害	479	473	94	55	39	0	379	0	6	0	0
その他の障害	1,331	1,326	132	62	70	0	1,194	2	3	0	0

表9-10 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別・課程別] (短期大学)

障害種別	課程別計 (人)	学部・学科(通学)						学部・学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
		特別選抜	特別選抜			特別選抜 以外					
			総合型選抜	学校推薦型 選抜	障害者特別 選抜						
障害種別計	72	68	44	20	24	0	24	1	-	-	3
視覚障害	3	3	2	1	1	0	1	0	-	-	0
盲	2	2	2	1	1	0	0	0	-	-	0
弱視	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
聴覚・言語障害	20	19	13	5	8	0	6	0	-	-	1
聾	3	3	3	3	0	0	0	0	-	-	0
難聴	17	16	10	2	8	0	6	0	-	-	1
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
肢体不自由	10	10	7	3	4	0	3	0	-	-	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
下肢機能障害	5	5	3	2	1	0	2	0	-	-	0
上下肢機能障害	1	1	1	0	1	0	0	0	-	-	0
他の機能障害	4	4	3	1	2	0	1	0	-	-	0
病弱・虚弱	6	6	4	0	4	0	2	0	-	-	0
内部障害等	5	5	3	0	3	0	2	0	-	-	0
他の慢性疾患	1	1	1	0	1	0	0	0	-	-	0
重複	1	1	1	1	0	0	0	0	-	-	0
発達障害	10	9	7	5	2	0	2	0	-	-	1
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
ADHD	1	1	1	1	0	0	0	0	-	-	0
ASD	5	4	2	2	0	0	2	0	-	-	1
発達障害の重複	4	4	4	2	2	0	0	0	-	-	0
精神障害	12	10	6	3	3	0	4	1	-	-	1
統合失調症等	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
気分障害	1	1	1	1	0	0	0	0	-	-	0
神経症性障害等	6	4	2	1	1	0	2	1	-	-	1
摂食障害・睡眠障害等	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
他の精神障害	3	3	3	1	2	0	0	0	-	-	0
その他の障害	10	10	4	2	2	0	6	0	-	-	0

表9-11 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別・課程別] (高等専門学校)

障害種別	課程別計 (人)	学部・学科(通学)						学部・学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
		特別選抜	特別選抜			特別選抜 以外					
			総合型選抜	学校推薦型 選抜	障害者特別 選抜						
障害種別計	64	64	17	1	16	0	47	-	-	-	0
視覚障害	3	3	1	1	0	0	2	-	-	-	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
弱視	3	3	1	1	0	0	2	-	-	-	0
聴覚・言語障害	12	12	5	0	5	0	7	-	-	-	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
難聴	11	11	4	0	4	0	7	-	-	-	0
言語障害のみ	1	1	1	0	1	0	0	-	-	-	0
肢体不自由	2	2	1	0	1	0	1	-	-	-	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
下肢機能障害	2	2	1	0	1	0	1	-	-	-	0
上下肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
病弱・虚弱	8	8	3	0	3	0	5	-	-	-	0
内部障害等	4	4	1	0	1	0	3	-	-	-	0
他の慢性疾患	4	4	2	0	2	0	2	-	-	-	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
発達障害	20	20	3	0	3	0	17	-	-	-	0
SLD	4	4	1	0	1	0	3	-	-	-	0
ADHD	6	6	1	0	1	0	5	-	-	-	0
ASD	7	7	1	0	1	0	6	-	-	-	0
発達障害の重複	3	3	0	0	0	0	3	-	-	-	0
精神障害	8	8	2	0	2	0	6	-	-	-	0
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
気分障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
神経症性障害等	4	4	0	0	0	0	4	-	-	-	0
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
他の精神障害	4	4	2	0	2	0	2	-	-	-	0
その他の障害	11	11	2	0	2	0	9	-	-	-	0

(5) 入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別・配慮内容別)

○入学者選抜において何らかの配慮を実施した学校数(以下「実施校数」という。)は539校。

○令和5年度入学者選抜において実施した主な配慮の内容は、「別室を設定」309校、「補聴器の持参使用」238校、「トイレに近接する試験室に指定」214校。

表9-12 入学者選抜において実施した配慮の内容 [障害種別・配慮内容別]

配慮内容別	点字問題を点字で解答	拡大文字問題の準備	拡大解答用紙の準備	音声で出題し音声で解答	マークシートに替えて文字で解答	チェック解答	試験時間の延長	照明器具の準備	特製机の使用	拡大鏡等の持参使用	補聴器の持参使用	車椅子等の持参使用	松葉杖の持参使用	パソコン等の持参使用	手話通訳者の付与	文書による伝達	窓側の明るい席の指定	トイレに近接する試験室に指定	別室を設定	試験室を一階に設定	介助者の付与	試験場への車での入構許可	その他	
(校)																								
障害種別 実施校数	539	15	103	65	2	13	54	180	5	90	55	238	144	61	24	19	189	17	214	309	73	71	171	398
視覚障害	82	14	37	19	1	8	7	39	4	13	27	1	0	0	8	0	3	6	1	40	4	13	7	49
盲	26	14	0	0	1	0	0	16	0	5	0	0	0	0	7	0	1	0	0	15	3	13	3	16
弱視	63	0	37	19	0	8	7	27	4	9	27	1	0	0	1	0	2	6	1	28	2	0	4	36
聴覚・言語障害	291	0	0	0	1	0	0	8	0	1	2	229	2	1	2	19	149	1	0	35	4	3	4	203
聾	44	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	28	1	0	1	9	29	0	0	6	0	2	1	32
難聴	263	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	215	2	1	1	11	129	1	0	32	4	1	3	180
言語障害のみ	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
肢体不自由	170	0	18	13	0	0	24	53	0	53	0	1	98	37	7	0	5	0	63	72	37	33	97	90
上肢機能障害	22	0	1	3	0	0	7	10	0	2	0	1	2	1	0	0	0	0	1	13	0	0	3	13
下肢機能障害	80	0	1	0	0	0	2	3	0	17	0	0	45	27	0	0	1	0	27	21	18	6	38	43
上下肢機能障害	53	0	4	5	0	0	9	24	0	20	0	0	34	3	6	0	0	0	16	31	11	22	33	27
他の機能障害	60	0	12	5	0	0	8	19	0	19	0	0	31	7	1	0	4	0	25	21	11	7	28	32
病弱・虚弱	209	0	11	10	0	2	13	29	1	33	10	10	45	15	0	0	5	5	84	112	28	19	63	161
内部障害等	173	0	11	10	0	2	12	25	1	30	10	9	39	13	0	0	4	2	71	94	25	18	54	135
他の慢性疾患	89	0	0	0	0	0	2	5	0	3	0	1	8	3	0	0	1	3	23	44	5	2	15	65
重複	40	1	9	5	0	0	2	19	0	5	6	14	16	1	0	1	9	1	12	25	7	5	15	26
発達障害	211	0	37	21	0	1	22	75	0	2	4	1	1	0	4	0	61	4	18	135	2	4	11	133
SLD	33	0	9	7	0	0	3	14	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	2	18	0	0	0	15
ADHD	80	0	2	0	0	0	11	21	0	1	1	0	0	0	0	16	0	3	50	1	0	3	46	
ASD	127	0	8	3	0	1	5	26	0	0	1	1	0	0	1	0	33	1	10	73	2	3	7	76
発達障害の重複	83	0	20	11	0	0	9	36	0	1	1	0	1	0	3	0	27	2	3	60	0	1	2	46
精神障害	280	0	6	5	0	1	7	29	0	2	2	1	9	0	4	0	33	1	78	167	8	8	24	217
統合失調症等	25	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2	13	0	0	3	17	
気分障害	38	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	26	1	1	1	21	
神経症性障害等	164	0	0	2	0	1	3	6	0	0	0	1	9	0	0	11	0	51	114	6	6	17	123	
摂食障害・睡眠障害等	12	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	7	1	0	2	7	
他の精神障害	170	0	5	2	0	0	3	22	0	1	2	0	0	0	4	0	20	0	38	79	0	1	1	128
その他の障害	226	1	14	7	0	1	10	32	0	11	10	10	13	15	3	0	10	1	13	120	12	4	35	187

(注) 複数回答あり

10.障害学生の卒業後の進路

(1)進路状況(学校種別・障害種別)

○通学の最高年次(※)に在籍していた障害学生数は(令和4年5月1日現在)10,678人で、令和4年度の卒業生数は8,007人。
 ○卒業生の進路状況は、「進学者」が868人で「就職者」が4,702人。また、「進学者」のうち就職している者12人を加えた全就職者数は4,714人。
 (※)最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表10-1 進路状況 [学校種別・障害種別] (総表)

	(令和4年5月1日現在)	(令和4年度卒業の障害学生数)	令和4年度に卒業した障害学生の進路状況(令和5年5月1日まで)													
			進学者	進学者の内訳					いる(進学者でかつ就職もしている者)	就職者(左記を除く。)	臨床研修医(予定者を含む。)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
				大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科								
計	10,678	8,007	868	584	202	12	64	6	12	4,702	57	132	109	289	1,121	729
視覚障害	146	125	15	12	1	0	1	1	0	83	0	4	0	6	10	7
盲	21	20	3	2	0	0	1	0	0	8	0	0	0	1	6	2
弱視	125	105	12	10	1	0	0	1	0	75	0	4	0	5	4	5
聴覚・言語障害	389	342	50	34	9	2	4	1	2	230	3	1	4	14	27	13
聾	110	89	7	5	1	1	0	0	2	68	0	0	0	2	10	2
難聴	270	245	39	25	8	1	4	1	0	160	3	1	4	11	17	10
言語障害のみ	9	8	4	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1
肢体不自由	361	317	28	20	7	0	1	0	0	201	1	4	5	12	50	16
上肢機能障害	53	45	5	3	2	0	0	0	0	28	0	0	0	0	7	5
下肢機能障害	135	115	10	6	3	0	1	0	0	76	1	0	2	4	16	6
上下肢機能障害	116	107	9	8	1	0	0	0	0	66	0	3	3	5	17	4
他の機能障害	57	50	4	3	1	0	0	0	0	31	0	1	0	3	10	1
病弱・虚弱	2,413	2,104	207	123	55	4	23	2	6	1,485	19	19	9	57	158	150
内部障害等	1,550	1,361	131	85	33	2	10	1	3	962	12	10	8	34	105	99
他の慢性疾患	863	743	76	38	22	2	13	1	3	523	7	9	1	23	53	51
重複	94	68	6	3	3	0	0	0	0	42	0	2	0	4	9	5
発達障害	2,458	1,759	225	149	56	2	17	1	3	857	5	55	52	65	342	158
SLD	67	59	12	6	4	1	1	0	1	29	0	1	2	7	7	1
ADHD	883	591	68	44	20	1	3	0	0	322	2	14	9	24	86	66
ASD	1,073	801	108	72	22	0	13	1	1	360	3	32	26	26	184	62
発達障害の重複	435	308	37	27	10	0	0	0	1	146	0	8	15	8	65	29
精神障害	3,989	2,597	256	198	47	1	10	0	1	1,357	25	35	28	118	461	317
統合失調症等	214	136	16	14	2	0	0	0	0	50	0	2	2	13	43	10
気分障害	1,315	788	80	59	16	1	4	0	0	378	7	9	11	38	148	117
神経症性障害等	1,390	949	93	73	15	0	5	0	1	513	12	13	8	35	167	108
摂食障害・睡眠障害等	233	161	13	10	3	0	0	0	0	104	4	2	2	8	11	17
他の精神障害	837	563	54	42	11	0	1	0	0	312	2	9	5	24	92	65
その他の障害	828	695	81	45	24	3	8	1	0	447	4	12	11	13	64	63

(注) (進学者でかつ就職もしている者)の数は、進学者の内訳と重複して計上している。

表10-2 進路状況 [学校種別・障害種別](大学)

	(最高 令和4年 5月1日 現在)	(令和4 年度卒 業の障 害学生 数)	令和4年度に卒業した障害学生の進路状況(令和5年5月1日まで)													
			進 学 者	進学者の内訳					い る 者 (進 学 者 で か つ 就 職 も し て い る 者)	就 職 者 (左 記 を 除 く。)	臨 床 研 修 医 (予 定 者 を 含 む。)	専 修 学 校 ・ 外 国 の 学 校 ・ 教 育 訓 練 機 関 等	社 会 福 祉 施 設 ・ 医 療 機 関 入 所 者	一 時 的 な 職 に 就 い た 者	左 記 以 外 の 者	死 亡 ・ 不 詳 の 者
				大 学 院 研 究 科	大 学 学 部	短 期 大 学 本 科	専 攻 科	別 科								
計	9,382	6,888	654	581	54	5	8	6	10	4,015	57	123	103	247	995	694
視覚障害	135	115	14	12	0	0	1	1	0	76	0	4	0	5	10	6
盲	20	19	3	2	0	0	1	0	0	7	0	0	0	1	6	2
弱視	115	96	11	10	0	0	0	1	0	69	0	4	0	4	4	4
聴覚・言語障害	354	308	39	33	5	0	0	1	1	215	3	1	4	9	26	11
聾	108	87	6	5	1	0	0	0	1	67	0	0	0	2	10	2
難聴	238	214	29	24	4	0	0	1	0	146	3	1	4	6	16	9
言語障害のみ	8	7	4	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
肢体不自由	329	287	23	20	3	0	0	0	0	187	1	3	4	10	45	14
上肢機能障害	47	40	4	3	1	0	0	0	0	27	0	0	0	0	6	3
下肢機能障害	119	100	8	6	2	0	0	0	0	67	1	0	1	3	14	6
上下肢機能障害	111	102	8	8	0	0	0	0	0	64	0	2	3	5	16	4
他の機能障害	52	45	3	3	0	0	0	0	0	29	0	1	0	2	9	1
病弱・虚弱	1,974	1,712	143	123	12	3	3	2	6	1,200	19	17	8	47	138	140
内部障害等	1,288	1,126	101	85	10	2	3	1	3	783	12	9	7	26	91	97
他の慢性疾患	686	586	42	38	2	1	0	1	3	417	7	8	1	21	47	43
重複	91	65	4	3	1	0	0	0	0	41	0	2	0	4	9	5
発達障害	2,164	1,500	162	149	11	0	1	1	2	715	5	52	49	58	307	152
SLD	52	45	7	6	0	0	1	0	0	21	0	1	2	6	7	1
ADHD	786	510	48	44	4	0	0	0	0	272	2	12	9	22	82	63
ASD	941	682	77	72	4	0	0	1	1	300	3	31	24	22	164	61
発達障害の重複	385	263	30	27	3	0	0	0	1	122	0	8	14	8	54	27
精神障害	3,697	2,365	219	197	20	1	1	0	1	1,235	25	35	27	104	410	310
統合失調症等	204	130	15	14	1	0	0	0	0	46	0	2	2	13	42	10
気分障害	1,241	726	70	59	9	1	1	0	0	352	7	9	11	35	126	116
神経症性障害等	1,293	869	78	72	6	0	0	0	1	472	12	13	8	29	151	106
摂食障害・睡眠障害等	205	140	12	10	2	0	0	0	0	91	4	2	1	8	8	14
他の精神障害	754	500	44	42	2	0	0	0	0	274	2	9	5	19	83	64
その他の障害	638	536	50	44	2	1	2	1	0	346	4	9	11	10	50	56

(注) (進学者でかつ就職もしている者)の数は、進学者の内訳と重複して計上している。

表10-3 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

	(令和4年5月1日現在)	(令和5年3月31日まで)	令和4年度に卒業した障害学生の進路状況(令和5年5月1日まで)														
			進学者	進学者の内訳							就職者(左記を除く。)	臨床研修医(予定者を含む。)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
				大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	いる者(進学者でかつ就職もしている者)								
計	897	766	92	0	78	6	8	0	2	475	0	8	4	40	117	30	
視覚障害	7	6	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	1	
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弱視	7	6	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	1	
聴覚・言語障害	19	19	3	0	1	2	0	0	1	10	0	0	0	3	1	2	
聾	2	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
難聴	16	16	2	0	1	1	0	0	0	9	0	0	0	3	1	1	
言語障害のみ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
肢体不自由	23	21	4	0	3	0	1	0	0	9	0	1	0	2	3	2	
上肢機能障害	5	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
下肢機能障害	9	8	1	0	0	0	1	0	0	5	0	0	0	1	1	0	
上下肢機能障害	4	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	
他の機能障害	5	5	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	
病弱・虚弱	318	287	23	0	20	1	2	0	0	223	0	2	1	10	20	8	
内部障害等	205	188	15	0	13	0	2	0	0	147	0	1	1	8	14	2	
他の慢性疾患	113	99	8	0	7	1	0	0	0	76	0	1	0	2	6	6	
重複	3	3	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
発達障害	149	124	22	0	19	1	2	0	1	55	0	2	2	7	31	5	
SLD	12	11	5	0	4	1	0	0	1	5	0	0	0	1	0	0	
ADHD	49	37	9	0	8	0	1	0	0	19	0	2	0	2	3	2	
ASD	62	54	6	0	5	0	1	0	0	25	0	0	1	4	17	1	
発達障害の重複	26	22	2	0	2	0	0	0	0	6	0	0	1	0	11	2	
精神障害	246	195	27	0	24	0	3	0	0	96	0	0	1	14	51	6	
統合失調症等	9	6	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	
気分障害	59	51	6	0	6	0	0	0	0	19	0	0	0	3	22	1	
神経症性障害等	83	67	12	0	9	0	3	0	0	31	0	0	0	6	16	2	
摂食障害・睡眠障害等	28	21	1	0	1	0	0	0	0	13	0	0	1	0	3	3	
他の精神障害	67	50	7	0	7	0	0	0	0	29	0	0	0	5	9	0	
その他の障害	132	111	11	0	9	2	0	0	0	77	0	3	0	3	11	6	

(注) (進学者でかつ就職もしている者)の数は、進学者の内訳と重複して計上している。

表10-4 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

	(令和4年5月1日現在)	(令和5年3月31日まで)	令和4年度に卒業した障害学生の進路状況(令和5年5月1日まで)														
			進学者	進学者の内訳					別科	(進学者でかつ就職もしている者)	就職者(左記を除く。)	臨床研修医(予定者を含む。)	専修学校・外国の学校・教育訓練機関等	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
				大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科										
計	399	353	122	3	70	1	48	0	0	212	0	1	2	2	9	5	
視覚障害	4	4	1	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
盲	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
弱視	3	3	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
聴覚・言語障害	16	15	8	1	3	0	4	0	0	5	0	0	0	2	0	0	
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
難聴	16	15	8	1	3	0	4	0	0	5	0	0	0	2	0	0	
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	9	9	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	1	0	2	0	
上肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
下肢機能障害	7	7	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	1	0	1	0	
上下肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
他の機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
病弱・虚弱	121	105	41	0	23	0	18	0	0	62	0	0	0	0	0	2	
内部障害等	57	47	15	0	10	0	5	0	0	32	0	0	0	0	0	0	
他の慢性疾患	64	58	26	0	13	0	13	0	0	30	0	0	0	0	0	2	
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
発達障害	145	135	41	0	26	1	14	0	0	87	0	1	1	0	4	1	
SLD	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	
ADHD	48	44	11	0	8	1	2	0	0	31	0	0	0	0	1	1	
ASD	70	65	25	0	13	0	12	0	0	35	0	1	1	0	3	0	
発達障害の重複	24	23	5	0	5	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	
精神障害	46	37	10	1	3	0	6	0	0	26	0	0	0	0	0	1	
統合失調症等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
気分障害	15	11	4	0	1	0	3	0	0	7	0	0	0	0	0	0	
神経症性障害等	14	13	3	1	0	0	2	0	0	10	0	0	0	0	0	0	
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他の精神障害	16	13	3	0	2	0	1	0	0	9	0	0	0	0	0	1	
その他の障害	58	48	20	1	13	0	6	0	0	24	0	0	0	0	3	1	

(注) (進学者でかつ就職もしている者)の数は、進学者の内訳と重複して計上している。

表10-5 障害学生の卒業率と就職率 [障害種別]

(人)	最高年次学生数	卒業学生数	就職希望者数	就職者数	卒業率(%)	就職希望率(%)	就職率(%)
計	10,678	8,007	5,643	4,702	75.0	70.5	83.3
視覚障害	146	125	93	83	85.6	74.4	89.2
盲	21	20	11	8	95.2	55.0	72.7
弱視	125	105	82	75	84.0	78.1	91.5
聴覚・言語障害	389	342	264	230	87.9	77.2	87.1
聾	110	89	79	68	80.9	88.8	86.1
難聴	270	245	183	160	90.7	74.7	87.4
言語障害のみ	9	8	2	2	88.9	25.0	100.0
肢体不自由	361	317	239	201	87.8	75.4	84.1
上肢機能障害	53	45	34	28	84.9	75.6	82.4
下肢機能障害	135	115	86	76	85.2	74.8	88.4
上下肢機能障害	116	107	82	66	92.2	76.6	80.5
他の機能障害	57	50	37	31	87.7	74.0	83.8
病弱・虚弱	2,413	2,104	1,631	1,485	87.2	77.5	91.0
内部障害等	1,550	1,361	1,059	962	87.8	77.8	90.8
他の慢性疾患	863	743	572	523	86.1	77.0	91.4
重複	94	68	51	42	72.3	75.0	82.4
発達障害	2,458	1,759	1,145	857	71.6	65.1	74.8
SLD	67	59	36	29	88.1	61.0	80.6
ADHD	883	591	400	322	66.9	67.7	80.5
ASD	1,073	801	505	360	74.7	63.0	71.3
発達障害の重複	435	308	204	146	70.8	66.2	71.6
精神障害	3,989	2,597	1,713	1,357	65.1	66.0	79.2
統合失調症等	214	136	86	50	63.6	63.2	58.1
気分障害	1,315	788	494	378	59.9	62.7	76.5
神経症性障害等	1,390	949	640	513	68.3	67.4	80.2
摂食障害・睡眠障害等	233	161	118	104	69.1	73.3	88.1
他の精神障害	837	563	375	312	67.3	66.6	83.2
その他の障害	828	695	507	447	83.9	72.9	88.2

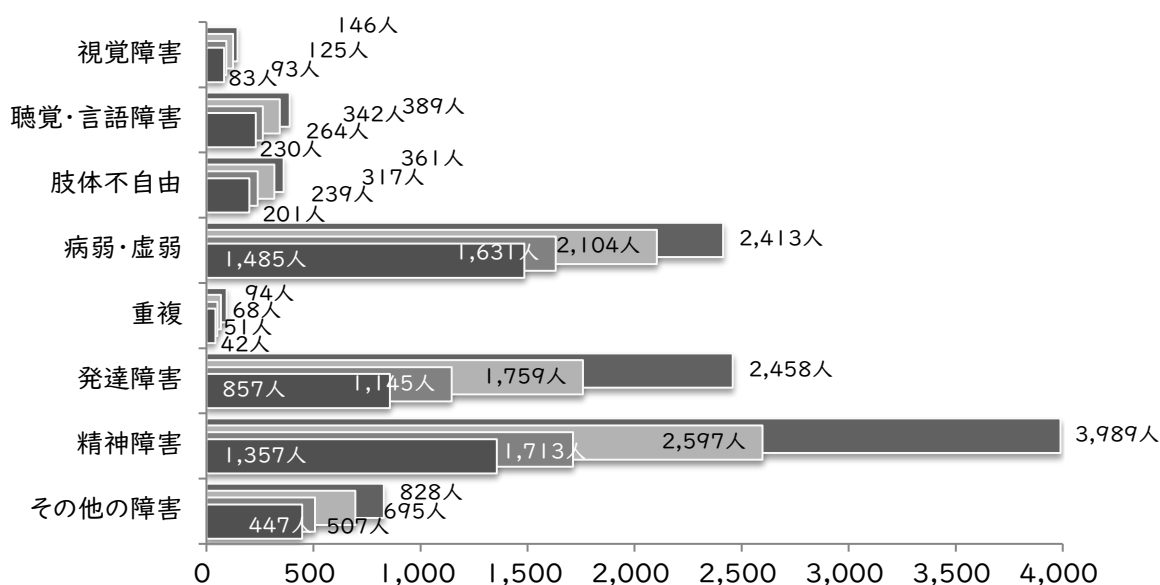
(注1) 卒業率:卒業学生数÷最高年次学生数×100(%)

(注2) 就職希望率:就職希望者数÷卒業学生数×100(%)

(注3) 就職率:就職者数÷就職希望者数×100(%)

図10-1 障害学生の卒業及び就職の状況

■ 最高年次学生数 ■ 卒業学生数 ■ 就職希望者数 ■ 就職者数



11. 発達障害学生支援状況（一部再掲）

発達障害のある障害学生（以下「発達障害学生」という。）及び発達障害のある支援障害学生（以下「支援発達障害学生」という。）に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者（特別な支援を行なっていない者は除く。）についても調査した。

（1）発達障害学生数及び支援発達障害学生数（学校種別）

○発達障害学生数（診断書あり）は11,706人で、このうち支援障害学生数は8,227人。

○支援発達障害学生数（診断書なし・配慮あり）は2,394人。支援発達障害学生数（診断書あり）と合わせると10,621人。

表11-1 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学校種別]

(人)	発達障害学生数				支援発達障害学生数			
	大学	短期大学	高等 専門学校		大学	短期大学	高等 専門学校	
計	11,706	10,046	351	1,309	10,621	9,472	372	777
診断書あり(再掲)	11,706	10,046	351	1,309	8,227	7,405	247	575
SLD	309	259	20	30	228	198	13	17
ADHD	4,090	3,523	112	455	2,785	2,530	76	179
ASD	4,929	4,168	159	602	3,388	3,027	111	250
発達障害の重複	2,378	2,096	60	222	1,826	1,650	47	129
診断書なし・配慮あり	—	—	—	—	2,394	2,067	125	202
SLD	—	—	—	—	56	44	11	1
ADHD	—	—	—	—	675	592	30	53
ASD	—	—	—	—	1,025	930	25	70
区分不明	—	—	—	—	638	501	59	78

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)

○支援発達障害学生数(①+②)を学科(専攻)別に見ると、大学では、多い順に「人文科学」2,464人、「社会科学」2,046人。短期大学では、多い順に「教育」99人、「家政」54人。高等専門学校では、ほとんどの支援発達障害学生(772人)が「工業」に在籍している。

表11-2 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学科(専攻)別]

(人)	発達障害学生数					支援発達障害学生数										
	診断書あり (再掲)	S L D	A D H D	A S D	発達障害の 重複	① +	②	① 診断書あり (再掲)	S L D	A D H D	A S D	発達障害の 重複	② 診断書なし・ 配慮あり	S L D	A D H D	A S D
計	11,706	309	4,090	4,929	2,378	10,621	8,227	228	2,785	3,388	1,826	2,394	56	675	1,025	638
大学	10,046	259	3,523	4,168	2,096	9,472	7,405	198	2,530	3,027	1,650	2,067	44	592	930	501
人文科学	2,381	53	835	1,003	490	2,464	1,902	43	658	794	407	562	7	174	250	131
社会科学	2,182	55	783	904	440	2,046	1,561	44	546	625	346	485	8	150	225	102
理学	631	12	186	287	146	650	520	9	144	243	124	130	3	26	61	40
工学	1,934	42	624	825	443	1,749	1,363	26	437	576	324	386	17	91	184	94
農学	478	14	150	202	112	439	373	10	111	153	99	66	0	22	29	15
保健(医・歯学)	86	2	39	34	11	92	61	2	27	22	10	31	2	10	15	4
保健(医・歯学を除く。)	401	10	174	151	66	350	275	8	115	106	46	75	2	27	24	22
商船	18	0	9	6	3	15	15	0	7	5	3	0	0	0	0	0
家政	115	2	46	54	13	127	94	1	38	46	9	33	2	6	15	10
教育	426	15	195	151	65	405	307	12	139	107	49	98	0	31	42	25
芸術	691	20	248	285	138	454	401	15	141	158	87	53	0	15	24	14
その他	703	34	234	266	169	681	533	28	167	192	146	148	3	40	61	44
短期大学	351	20	112	159	60	372	247	13	76	111	47	125	11	30	25	59
人文	53	1	16	25	11	49	40	1	13	18	8	9	0	3	5	1
社会	46	3	16	23	4	48	34	2	12	16	4	14	1	6	4	3
教養	15	1	5	7	2	16	8	0	2	4	2	8	1	4	1	2
工業	14	0	4	4	6	20	14	0	4	4	6	6	0	0	0	6
農業	9	2	4	1	2	6	5	1	3	0	1	1	1	0	0	0
保健	8	0	7	1	0	14	5	0	5	0	0	9	0	1	2	6
家政	56	2	11	25	18	54	38	0	5	19	14	16	2	4	4	6
教育	74	8	33	25	8	99	47	7	23	12	5	52	4	11	7	30
芸術	42	1	9	29	3	40	36	1	7	25	3	4	1	1	1	1
その他	34	2	7	19	6	26	20	1	2	13	4	6	1	0	1	4
高等専門学校	1,309	30	455	602	222	777	575	17	179	250	129	202	1	53	70	78
社会	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
工業	1,295	30	448	598	219	772	572	17	179	248	128	200	1	52	70	77
商船	9	0	6	0	3	3	1	0	0	0	1	2	0	1	0	1
芸術	4	0	1	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0

(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)

- 「発達障害学生(診断書あり)又は発達障害学生(診断書なし・配慮あり)が1人以上在籍する学校」は846校で、全学校(1,168校)の72.4%。
 ○「支援発達障害学生(診断書あり)又は発達障害学生(診断書なし・配慮あり)が1人以上在籍する学校」は780校で、全学校(1,168校)の66.8%。

表11-3 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
発達障害学生(診断書あり)又は発達障害学生(診断書なし・配慮あり)が1人以上在籍する学校数	846	632	157	57
発達障害学生(診断書あり)が1人以上在籍する学校数	816	618	142	56
SLD	200	169	17	14
ADHD	654	523	77	54
ASD	672	531	90	51
発達障害の重複	468	386	37	45
支援発達障害学生(診断書あり)又は発達障害学生(診断書なし・配慮あり)が1人以上在籍する学校数	780	595	130	55
支援発達障害学生(診断書あり)が1人以上在籍する学校数	726	570	102	54
SLD	154	133	12	9
ADHD	546	451	52	43
ASD	593	480	65	48
発達障害の重複	407	341	29	37
発達障害学生(診断書なし・配慮あり)が1人以上在籍する学校数	364	282	56	26
SLD	41	31	9	1
ADHD	197	164	18	15
ASD	220	185	18	17
区分不明	187	141	26	20
全体の学校数	1,168	812	298	58

(注1) SLD等の区分ごとの学校数は、各区分に該当する学生が1人以上在籍する学校数である。

(注2) 複数回答あり

(4) 発達障害学生への支援（支援内容別・学校種別）

○「支援発達障害学生（診断書あり）又は発達障害学生（診断書なし・配慮あり）が在籍する学校」780校のうち、何らかの授業支援を行なっている学校数（以下「実施校数」という。）は737校。また、何らかの授業以外の支援を行なっている学校数は581校。

○発達障害学生に対して行なわれている支援内容について、授業支援では、多い順に「配慮依頼文書の配付」556校、「授業内容の代替、提出期限延長等」414校、「出席に関する配慮」402校。授業以外の支援では、多い順に「専門家によるカウンセリング」426校、「自己管理指導」317校、「対人関係配慮」253校。

表11-4 支援発達障害学生への主な支援内容〔授業支援及び授業以外の支援・学校種別〕

	(校)	学校種別	計	大学	短期大学	高等専門学校
授業支援 実施校数			737	569	115	53
配慮依頼文書の配付			556	448	75	33
授業内容の代替、提出期限延長等			414	358	35	21
出席に関する配慮			402	348	37	17
講義に関する配慮			375	319	38	18
教室内座席配慮			329	274	33	22
学習指導			311	247	33	31
注意事項等文書伝達			292	250	25	17
履修支援			262	229	31	2
試験時間延長・別室受験			228	200	12	16
実技・実習配慮			188	144	22	22
授業以外の支援 実施校数			581	450	83	48
専門家によるカウンセリング			426	341	44	41
自己管理指導			317	252	35	30
対人関係配慮			253	189	33	31
就職支援情報の提供、支援機関の紹介			229	197	23	9
医療機関との連携			184	154	6	24
キャリア教育			181	154	20	7
就職先の開拓、就職活動支援			181	150	22	9
居場所の確保			177	137	17	23
障害学生向け求人情報の提供			164	138	21	5
休憩室・治療室の確保等			143	113	15	15

(注) 複数回答あり

(5) 発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別・課程別)

○令和5年度入学者選抜における発達障害を理由とする受験上の配慮について、「診断書あり」の受験者数は807人で、多い順に学部・学科(通学)の「特別選抜以外」の受験者数635人、「特別選抜」の受験者数157人、「特別選抜」の中では、「総合型選抜」の受験者数94人、「学校推薦型選抜」の受験者数61人。「診断書なし・配慮あり」の受験者数は25人で、学部・学科(通学)の「特別選抜以外」の受験者数14人、「特別選抜」の受験者数9人、「特別選抜」の中では、多い順に「学校推薦型選抜」の受験者数6人、「総合型選抜」の受験者数3人となっている。

表11-5 発達障害を理由とする受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別・課程別]

(人)	課程別計	学部・学科(通学)						学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
		特別選抜	特別選抜以外			特別選抜以外					
			総合型選抜	学校推薦型選抜	障害者特別選抜						
診断書あり(再掲)	807	792	157	94	61	2	635	3	11	0	1
大学	777	763	147	89	56	2	616	3	11	0	0
SLD	57	53	18	12	6	0	35	2	2	0	0
ADHD	217	215	27	18	9	0	188	1	1	0	0
ASD	266	264	61	35	25	1	203	0	2	0	0
発達障害の重複	237	231	41	24	16	1	190	0	6	0	0
短期大学	10	9	7	5	2	0	2	0	-	-	1
SLD	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
ADHD	1	1	1	1	0	0	0	0	-	-	0
ASD	5	4	2	2	0	0	2	0	-	-	1
発達障害の重複	4	4	4	2	2	0	0	0	-	-	0
高等専門学校	20	20	3	0	3	0	17	-	-	-	0
SLD	4	4	1	0	1	0	3	-	-	-	0
ADHD	6	6	1	0	1	0	5	-	-	-	0
ASD	7	7	1	0	1	0	6	-	-	-	0
発達障害の重複	3	3	0	0	0	0	3	-	-	-	0
診断書なし・配慮あり	25	23	9	3	6	0	14	0	1	0	1
大学	22	20	9	3	6	0	11	0	1	0	1
SLD	5	3	3	2	1	0	0	0	1	0	1
ADHD	3	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0
ASD	11	11	3	1	2	0	8	0	0	0	0
区分不明	3	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
短期大学	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
SLD	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
ADHD	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
高等専門学校	2	2	0	0	0	0	2	-	-	-	0
SLD	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
ADHD	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
ASD	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0

(6) 発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)

○「診断書あり」の学生について、通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書あり」の学生数は、(令和4年5月1日現在)3,251人。令和4年度の卒業生数は2,337人。卒業後の進路状況は、「進学者」が273人で「就職者」が1,163人。

○「診断書なし・配慮あり」の学生について、通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書なし・配慮あり」の学生数は、(令和4年5月1日現在)793人。令和4年度の卒業生数は578人。卒業後の進路状況は、「進学者」が48人で「就職者」が306人。

(※)最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表11-6 発達障害学生の卒業後の進路状況 [学校種別]

	(令和4年5月1日現在) (人)	(令和5年度3月31日まで) の障害学生数	令和4年度に卒業した障害学生の進路状況(令和5年5月1日まで)													
			進学者	進学者の内訳					いる者 (進学者でかつ就職もしている者)	就職者 (左記を除く。)	臨床研修医 (予定者を含む。)	専修学校・外国の学校・ 教育訓練機関等	社会福祉施設・医療機関 入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
				大学院 研究科	大学 学部	短期 大学 本科	専 攻 科	別 科								
計	3,251	2,337	273	176	70	4	21	2	6	1,163	10	67	60	95	456	213
診断書あり(再掲)	2,458	1,759	225	149	56	2	17	1	3	857	5	55	52	65	342	158
大学	2,164	1,500	162	149	11	0	1	1	2	715	5	52	49	58	307	152
SLD	52	45	7	6	0	0	1	0	0	21	0	1	2	6	7	1
ADHD	786	510	48	44	4	0	0	0	0	272	2	12	9	22	82	63
ASD	941	682	77	72	4	0	0	1	1	300	3	31	24	22	164	61
発達障害の重複	385	263	30	27	3	0	0	0	1	122	0	8	14	8	54	27
短期大学	149	124	22	0	19	1	2	0	1	55	0	2	2	7	31	5
SLD	12	11	5	0	4	1	0	0	1	5	0	0	0	1	0	0
ADHD	49	37	9	0	8	0	1	0	0	19	0	2	0	2	3	2
ASD	62	54	6	0	5	0	1	0	0	25	0	0	1	4	17	1
発達障害の重複	26	22	2	0	2	0	0	0	0	6	0	0	1	0	11	2
高等専門学校	145	135	41	0	26	1	14	0	0	87	0	1	1	0	4	1
SLD	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
ADHD	48	44	11	0	8	1	2	0	0	31	0	0	0	0	1	1
ASD	70	65	25	0	13	0	12	0	0	35	0	1	1	0	3	0
発達障害の重複	24	23	5	0	5	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0
診断書なし・配慮あり	793	578	48	27	14	2	4	1	3	306	5	12	8	30	114	55
大学	679	487	34	27	5	1	1	0	2	257	5	12	5	27	93	54
SLD	7	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1
ADHD	191	144	8	7	0	0	1	0	0	93	1	6	0	6	17	13
ASD	304	211	17	17	0	0	0	0	1	109	0	4	2	12	44	23
区分不明	177	128	9	3	5	1	0	0	1	53	4	2	3	9	31	17
短期大学	83	63	7	0	6	1	0	0	1	32	0	0	3	2	19	0
SLD	10	8	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0
ADHD	21	17	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	3	0
ASD	18	12	1	0	1	0	0	0	0	6	0	0	1	0	4	0
区分不明	34	26	4	0	3	1	0	0	1	10	0	0	0	2	10	0
高等専門学校	31	28	7	0	3	0	3	1	0	17	0	0	0	1	2	1
SLD	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	7	6	3	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0
ASD	8	7	2	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	1
区分不明	15	14	2	0	1	0	0	1	0	10	0	0	0	0	2	0

(注) (進学者でかつ就職もしている者)の数は、進学者の内訳と重複して計上している。

< IV. 参考資料 >

調査の手引

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2023.html

令和 5 年度 (2023年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

目次

I. 調査の概要	1
II. 本調査における用語の定義	3
III. 各シートについて	11
IV. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点	17
FAQ よくある質問集	21

調査の手引

I. 調査の概要

本調査は、全国全ての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況及び修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした、悉皆統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構(以下「JASSO」という。)が毎年実施しています。調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。学校単位の個別情報や個人情報保護の観点から、管理については十分な配慮を行います。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定される分析は行ないません。

[1] 調査の期日 令和5年5月1日現在

支援体制、活動や取組、支援の実施については、令和5年度中を対象とする。

[2] 調査の内容

1. 学校基本情報(障害のある学生の在籍の有無にかかわらず回答してください。)

- (1) 学校名と主たる所在地
- (2) 学校全体の学生数
- (3) 本調査の担当部署(者)
- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

2. 支援体制(障害のある学生の在籍の有無にかかわらず回答してください。)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
- (2) 障害学生支援に関する委員会等
- (3) 紛争解決のための第三者組織
- (4) 障害学生支援担当部署(者)
- (5) 障害学生の相談受付窓口
- (6) 支援の申出等に関する対応手順
- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
- (8) 支援学生(ノートテイク等)

3. 活動や取組(障害のある学生の在籍の有無にかかわらず回答してください。)

4. 受入れに関する配慮(障害のある学生の在籍の有無にかかわらず回答してください。)

- (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
- (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
- (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮

5. 入学者数等(障害のある学生の在籍の有無にかかわらず回答してください。)

- (1) 障害のある入学者数等
- (2) 受験上の配慮の内容

6. 令和4年度卒業生(令和4年度の学部(通学課程)最髙年次に障害学生が在籍していた場合に回答してください。)

- (1) 学部(通学課程)最髙年次及び卒業障害学生数

(2) 状況別卒業障害学生数(令和5年5月1日現在)

7. 障害学生数(令和5年度に障害のある学生が在籍する場合は回答してください。)
学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

■大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科

■短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科

■高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

10. その他の障害の内訳

11. 授業支援と授業以外の支援(「7. 障害学生数」で支援障害学生数を計上した場合に回答してください。)

学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援(診断書はないが発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合は回答してください。)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

(2) 発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生数

支援している学生の数、実施している支援内容(授業支援及び授業以外の支援を記入してください。)

13. 意見・要望(障害学生の在籍の有無にかかわらず回答してください。)

[3] 調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の3種類を用意しています。JASSOウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

なお、この「調査の手引」(PDF)は同ウェブサイトにも掲載しています。

令和5年度(2023年度)障害のある学生の修学支援に関する実態調査

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2023.html

○キャンパスが複数ある場合も1校1回答にまとめてください。

○大学内に短期大学部を有している場合は、大学(大学院を含む。)と短期大学の各1回答をお願いします。

○統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

[4] 提出の期限 令和5年12月20日(水)

II. 本調査における用語の定義

対象となる学生について

【学生数】研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。

【入学者数】1年次の入学者の数(2年次以上の編入者は含みません。)

【障害学生】

「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)

※令和5年5月1日現在、在籍していた全ての障害学生(障害があることについての申請

が令和5年5月2日以降の場合を含む)を計上してください。

※各障害種の定義(3~5ページ)も参照してください。

【支援障害学生】

学校に支援の申出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生(今年度中の支援予定を含む。)

支援については8~10ページの各支援内容の定義を参照してください。

障害について

本調査では、身体障害と身体以外の障害(発達障害、精神障害)が重複している場合、身体障害の方を優先して計上します。また、「その他の障害」は、以下に示す視覚障害、聴覚障害、言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱に該当する以外の身体障害を計上するものであるため、身体障害と「その他の障害」が重複している場合も、身体障害の方を優先します。

○障害種の定義

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用した教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度(視野障害や、明るいと暗いところがまぶしく感じる差明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む)

※色覚異常、片目の失明や弱視については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(色覚異常、片目の失明等)を記入する。

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失60デシベル以上、又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能、又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失60デシベル未満、又は補聴器を使用すれば通常の話を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、口蓋裂)

※片耳の聾や難聴については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(片耳の難聴等)を記入する。

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指及び各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指及び各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹(胴体)に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害及び運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者

内部障害等(※1)……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、じん臓機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの、医師の診断書がある者

※1:「身体障害者障害程度等級表」又は「小児慢性特定疾病」に該当する者

他の慢性疾患(※2)……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者(てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者)はここに計上する

※2:これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】以下の通り、身体障害が重複している者

○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

【発達障害(診断書あり)】発達障害に関する医師の診断書がある者

SLD………限局性学習症/限局性学習障害(旧LD:学習障害)

ADHD………注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥/多動性障害)

ASD………自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等・高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

以下の疾患が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者、又は健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者

- 統合失調症等……………統合失調型障害及び妄想性障害 (ICD-10 F20-F29 に該当する疾患)
- 気分障害……………躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分(感情)障害等 (ICD-10 F30-F39 に該当する疾患)
- 神経症性障害等……………不安障害、強迫性障害(強迫神経症)、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性(転換性)障害、身体表現性障害、神経衰弱等 (ICD-10 F40-F48 に該当する疾患)
- 摂食障害、睡眠障害等……………摂食障害、依存を生じない物質の乱用等 (ICD-10 F50-F59 に該当する疾患)

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……………上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トウレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者のうち、生活規制を必要とする程度のもの。

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、痙攣等はここに計上する。

【発達障害(診断書なし、配慮あり)】

発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援(教育上の配慮等)を行っている者

※何らかの支援(教育上の配慮等)とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

- SLD……………限局性学習症/限局性学習障害 (ILD:学習障害)
- ADHD……………注意欠如・多動症/不注意欠如・多動性障害 (旧注意欠陥/多動性障害)
- ASD……………自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害 (旧高機能自閉症等:高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

区分不明……………上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICDは世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。本調査においてはICD-10を用いています。

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】

カリキュラムに含まれる講義(資格取得等に要するものを除く。)・単位付との有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】

支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。

【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】

支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】

入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮(別室受験、時間延長等)

※急性の疾病(インフルエンザ等)やけが(骨折、捻挫等)等、一過性のもので、その後に回復の見込みのある者に対して行なった配慮は含まない。

【特別選抜】以下の3つに分類される入学者選抜の方式

総合型……………学校独自の選抜基準(アドミッション・ポリシー)による選抜(AO 入試を含む。)

学校推薦型……………出身中学校長の推薦に基づく、公募制、指定校対象、附属高等学校対象等の推薦型選抜

障害者特別選抜……………障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による選抜(選抜形態が総合型、学校推薦型であった場合を含む。)

【特別選抜以外の選抜】

上記に当てはまらない選抜

一般選抜、社会人選抜、海外からの帰国生徒を対象とする選抜、外国人を対象とする選抜等

卒業生及び卒業後の進路について

【最髙年次】

大学……………4年次又は6年次(4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)

短期大学……………2年次又は3年次(2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計)

高等専門学校……………5年次

【就職希望者】

令和5年3月31日現在卒業した障害学生のうち就職を希望していた者

【ア.進学者】

卒業後に大学院や他の学部等に進学した者

【イ.就職者】

給料、賞金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者

正社員又は雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ.就職者」、それ以外又は雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ.一時的な仕事に従事」に計上してください。自家・自営業に就いた者（継続的に本業として家業として従事する場合）も、「イ.就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア～カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ.就職者」の欄に計上してください。「ア.進学者」のうちで職に就いている者については、「イ.就職者」に含めず、「②就職数」の欄に計上してください。

【ウ.臨床研修医】

医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者（5月1日

現在、臨床研修医となることが予定される者も含む。）

【エ.専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】

「ア.進学者」以外で、学校等に入学（在籍）している者
専修学校、各種学校、外国の学校、職業能力開発校等への入学者、研究生として入学した者等

【オ.社会福祉施設、医療機関入所者】

社会福祉施設に入所又は医療機関に入院した者

社会福祉施設に就職した者は「イ.就職者」に計上してください。

【カ.一時的な仕事に従事】

臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者

例えばアルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を計上してください。

【キ.（ア～カ以外）】

進学でも就職でもないことが明らかかな者

家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかかな者であれば計上してください。

【ク.不詳・死亡の者】

不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者

死亡は、令和5年5月1日までに死亡した者

支援について

○授業支援

【1.点訳・墨訳】

点訳……………教材、配布資料などを点字に訳すこと。

墨訳（すみやく）…試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。

【2.教材のテキストデータ化】

教材、配布資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行う。

【3.教材の拡大】

教材、配布資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。

【4.ガイドヘルプ】

移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいう。

【5.リーディングサービス】

教材や配布資料などを音声で読み上げる（文字を音声に訳す）こと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」がある。

【6.手話通訳（触手話を含む。）】

講義内容や周りの様子等を手話で伝えること。盲聾者のための触手話を含む。

【7.ノートテイク】講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。

【8.パソコンテイク】講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。

【9.ビデオ教材字幕付け・文字起こし】

教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入すること又は紙面に記すこと。

【10.チューター又はティーチング・アシスタントの活用】

大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。

【11.試験時間延長・別室受験】

定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施したりすること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合等に実施する。

【12.解答方法配慮】障書の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。

【13.パソコンの持込使用許可】受講に利用するため、パソコンの持込みを許可すること。

【14.注意事項等文書伝達】

定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付又は板書すること。

- 【15.使用教室配慮】
授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に通じた広さ・設備のある教室にすること。
- 【16.実技・実習配慮】
いわゆる座学中心の講義以外の授業(体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等)において、障害の状況に応じて配慮すること。
- 【17.教室内座席配慮】
教室内での座席を障害学生が受講しやすい位置にするなどの配慮をすること。
- 【18.FM補聴器／マイク使用】
講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用又はその器材の貸出し等を行なうこと。
- 【19.専用机・イス・スペース確保】
車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活を円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備又はそれに関連する配慮を行なうこと。
- 【20.読み上げソフト・音声認識ソフト使用】
電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換したりするソフトの活用又はその貸出し等を行なうこと。
- 【21.講義に関する配慮】講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。
- 【22.配慮依頼文書の配付】
本人との面談、話し合い等を経て配慮依頼文書を作成し、授業担当教員等に配付すること。
- 【23.授業内容の代替、提出期限延長等】
実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし、評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要である。
- 【24.履修支援】履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。
- 【27.学外実習・フィールドワーク配慮】
実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行なうこと。
- 授業以外の支援
- 【1.居場所の確保】
学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行なったりすること。
- 【2.通学支援】スクールのバス、乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行なうこと。
- 【3.個別支援情報の収集】
出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。
- 【4.情報取得支援】
学内行事の案内や休講情報など、学生生活に必要な情報を取得することができるよう支援すること。
- 【5.自己管理指導】スケジュール管理に関する指導や自主学習への支援を行なうこと。
- 【6.対人関係支援】対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行なうこと。
- 【7.日常生活支援】食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行なうこと。
- 【8.専門家によるカウンセリング】臨床心理士等の専門家によるカウンセリング
- 【9.医療機関との連携】主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。
- 【10.医療機器、薬剤の保管等】
透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。
- 【11.休憩室・治療室の確保】
休み時間、空き時間に利用することができる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。
- 【12.生活介助】体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。
- 【13.介助者の入構、入室許可】
生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることの許可すること。
- 【14.キャリア教育】
学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できるように指導すること。
- 【15.障害学生向け求人情報の提供】
障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供すること。
- 【16.就職支援情報の提供、支援機関の紹介】
障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。
- 【17.インターンシップ等先の開拓】
受入先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ等の体験を支援すること。
インターンシップ等とは、「インターンシップを始めたとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たった際の基本的考え方(令和4年6月13日一部改正)」に示す「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組の四つの類型」のうちタイプ1からタイプ3までを指す。
(参考)大学等におけるインターンシップの推進
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/1346604.htm
- 【18.就職先の開拓、就職活動支援】
障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエントリーシートの作成や面接を指導すること。

Ⅲ. 各シートについて

1. 学校基本情報
(障害学生在籍の有無にかかわらず回答してください。)

- (1) 学校名と主たる所在地
学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。学校名を記入すると、13桁の学校コード、主たる所在地の欄に都道府県名、その右のNo.欄に都道府県番号が表示されます。
- (2) 学校全体の学生数
令和5年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び令和4年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、3ページを参照してください。

- ・全学生数
- ・学部……通学課程、通信教育課程／大学院…通学課程、通信教育課程／専攻科
- ・全入学者数(1年次のみ)
- ・学部……通学課程、通信教育課程／大学院…通学課程、通信教育課程／専攻科
- ・令和4年度卒業生数
- ・学部……通学課程

- (3) 本調査の担当部署(者)
本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス)を記入してください。回答内容に関する確認等で、連絡する場合がありますので、E-Mailアドレスはできるだけ組織アドレスを記入してください。

- (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)
障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。本機構の障害学生支援事業に関する案内等を送付する場合がありますので、E-Mailアドレスはできるだけ組織アドレスを記入してください。

2. 支援体制
(障害学生在籍の有無にかかわらず回答してください。)

- (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じた対応を行なうこととされました。対応要領又はこれに準じる規程等があるかどうかについて回答してください。
- (2) 障害学生支援に関する委員会等
障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。代表者の役職等(副学長、学部長等)については、個人名ではなく学内の役職名を記入してください。

- (3) 紛争解決のための第三者組織

障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止・解決等に関する調整機関の有無について回答してください。

- (4) 障害学生支援担当部署(者)

- 1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。
 - 2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者がなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。
- (5) 障害学生の相談受付窓口
支援の申出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。

- (6) 支援の申出等に関する対応手順

支援の申出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申出を受けた際に、どのような手順で対応するかの業務の流れを指します。

対応手順の例：手順1. 関係部署・機関が対応を協議

手順2. 障害学生との面談実施

手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等

- (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況

障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備(屋外・屋内・支援機器)について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。

- (8) 支援学生(ノートテイカー等)

障害のある学生を支援する学生(支援学生)について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇(有償、無償等)、組織に所属する学生数等を回答してください。

3. 活動や取組
(障害学生在籍の有無にかかわらず回答してください。)

令和5年度に実施する(予定を含む)障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。各項目の定義については、6ページを参照してください。

- ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

- ② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

- ③ 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)

- ④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

- ⑤ 他大学等との連携

- ⑥ 学外機関との連携

- ⑦ 相談対応・懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)

- ⑧ 障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)

- ⑨障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)
- ⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣
- ⑪障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)
- ⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布
- ⑬オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供
- ⑭入学後のガイダンス等における、障害学生支援の継続などに関する学内規程や支援事例等の周知

- ⑮障害学生支援に関する講座・講演等イベント
- ⑯障害学生支援又は障害者支援に関する講義(ポランティア論等)
- ⑰発達障害、精神障害の傾向がある学生を把握するための取組
- ⑱前項⑰の取組で実態を把握した後のフォローアップ

4. 受入れに関する配慮
(障害学生在籍の有無にかかわらず回答してください。)

- (1) 入学選抜における受験上の配慮の周知
入学選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。
- (2) 入学選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
令和5年度入学選抜において、実際に事前相談があったかどうかにかかわらず、どのような受付方法を取っていたかを回答してください。
- (3) 入学選抜において実施可能な受験上の配慮
令和5年度入学選抜において準備していた、又は受験者から申請があった場合に対処が可能であった配慮について回答してください(申請の有無は問いません。)

5. 入学者数等
(令和5年度入学選抜において障害のある受験者がいた場合に回答してください。)

- (1) 障害のある入学者数等
令和5年度入学選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について回答してください。相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数を、入学者数は実数を記入してください。入学後に障害のあることが分かった学生は含みません。また、障害のある入学希望者のうち、受験者数、合格者数、入学者数について、受験上の配慮を行った数を、課程ごと(学部(通学課程)の場合は、入学選抜方式ごと)に回答してください。入学選抜の方式については6ページを参照してください。
- (2) 受験上の配慮の内容
(1)で計上した受験上の配慮の内容について回答してください。配慮の内容AからVまでに該当しない場合は、「W,その他」に「」を記入し、下にある表に該当する障害種別と具体的な内容を記入してください。

6. 令和4年度卒業生
(令和4年度、学部(通学課程)最高年次に障害学生が在籍していた場合に回答してください。)

大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の令和4年度の最高年次に障害学生が在籍していた場合に回答してください。最高年次及び進路の定義については、6・7ページを参照してください。

なお、令和4年度最高年次に在籍していて留年、休学等で卒業しなかった学生は、「7. 障害学生数」にも計上してください。

- (1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数
 - ①昨年度調査時(令和4年5月1日現在)に最高年次に在籍していた障害学生数を記入してください。
 - ②令和4年5月2日から令和5年3月31日までに卒業した障害学生数を記入してください。
 - ③上記②のうち就職希望者数を記入してください。
- (2) 状況別卒業障害学生数(令和5年5月1日現在)
 - (1)の②で回答した卒業生の、令和5年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の進路についても、別表で回答してください。

7. 障害学生数
(令和5年度に障害のある学生が在籍している場合に回答してください。)

学校種別に、それぞれ次のように表が分かれていきます。障害のある学生が在籍する全ての課程の表に記入してください。

- 大学・大学院
 - (1) 学部(通学課程)、(2) 学部(通信教育課程)、(3) 大学院(通学課程)、(4) 大学院(通信教育課程)、(5) 専攻科
- 短期大学
 - (1) 学部(通学課程)、(2) 学部(通信教育課程)、(3) 専攻科
- 高等専門学校
 - (1) 学部(通学課程)、(2) 専攻科

- 障害学生数について
学科(専攻)別の該当する障害種の欄に、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。障害学生、支援障害学生及び各障害種の定義については3~5ページを参照してください。
- ※ 学科(専攻)の分類は学校ごとに異なります。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」を確認してください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

令和4年度から、障害のある入学者数、休学者数(令和5年5月1日現在)、最低在学年限超過数については、回答欄を削除したのて回答は不要です。

身体障害がある学生で、発達障害又は精神障害が重複している場合は、身体障害の該当欄に数を記入し、最下段にある「発達障害との重複」「精神障害との重複」の該当欄にも記入してください。

発達障害と精神障害が重複している場合は、学校で把握している主たる障害の欄に学生数を記入し、副となる障害については、「発達障害との重複」又は「精神障害との重複」の該当欄に記入してください。いずれが主たる障害かが明らかでない場合は「発達障害」にも「精神障害」にも記入せず、「その他の障害」に計上してください。

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

(「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱 他の慢性疾患」に計上した場合に回答してください。)

「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に計上した学生の課程、学科(専攻)、診断名と、障害学生数、支援障害学生数、現況を記入してください。

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

(「7. 障害学生数」で「精神障害 他の精神障害」に計上した場合に回答してください。)

「精神障害」の「他の精神障害」に計上した学生の課程、学科(専攻)、診断名と、障害学生数、支援障害学生数、現況を記入してください。

10. その他の障害の内訳

(「7. 障害学生数」で「その他の障害」に計上した場合に回答してください。)

「その他の障害」に計上した学生の課程、学科(専攻)、診断名と、障害学生数、支援障害学生数、現況を記入してください。

11. 授業支援と授業以外の支援

(「7. 障害学生数」で「支援障害学生数」を計上した場合に回答してください。)

課程別に授業支援の表と授業以外の支援の表があります。「7. 障害学生数」に計上した支援障害学生への支援について、該当する支援内容を回答してください。

障害種別に、実施している支援の欄に「J」を記入してください。発達障害については、診断書のある学生に対する支援について回答してください。診断書のない学生への支援については「12. 発達障害が疑われる学生への支援」に回答欄があります。

実施している支援が各項目に当てはまらない場合には、「その他の授業支援」又は「その他の授業以外の支援」に「J」を記入し、下にある表に障害種と具体的な内容を記入してください。支援内容の定義については、8～10ページを参照してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合に回答してください。)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題
発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「J」を記入してください。

(2) 発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生数

課程ごとに、学生数と授業支援の表、授業以外の支援の表があります。なお、ページの都合上、学科(専攻)別の「人文科学」～「保健(医・歯学)」までと、「保健(医・歯学を除く。)」～「その他」までの表に分かれています。

発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。「発達障害(診断書なし、配慮あり)」の定義については5ページを参照してください。

なお、このシートで計上した学生数は、「7. 障害学生数」の障害学生数、支援障害学生数には含みません。

○支援内容

実施している支援内容について、該当する区分の欄に「J」を記入してください。「その他の授業支援」「その他の授業以外の支援」を選択した場合は、学科(専攻)、障害種別(下位区分)、具体的な内容を下にある別表に記入してください。支援内容の定義については8～10ページを参照してください。

13. 意見・要望

(障害のある学生の在籍の有無にかかわらず回答してください。)

(1) 障害学生支援の課題について

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について

(3) JASSOの障害学生支援の取組について

IV. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

[1] 調査票(回答)の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票(回答)ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOから送った調査依頼文書(令和5年9月1日付け)に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、同パスワードでロックの解除ができることを確認の上、メールに添付して送信してください。

[2] 調査票(回答)の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの保護

本調査票では、記入欄以外には記入することができないものとしています。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集も不可としています。回答精査時のエラーを防ぐためブックに保護をかけているので、保護を外さないでください。ただし、行の高さを編集できるため、入力内容が多いなどの場合は、行の高さを広げてご対応ください。

なお、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集が可能な箇所もあります。編集せずにご記入ください。

また、セル内容をコピーして他のセルに貼り付ける場合には、ショートカットキーの「Ctrl +「V」」等は使わず、必ず貼り付けオプションの「値」を選択して貼り付けてください。セル内容を「Ctrl」+「V」等にて貼り付けると、エラーチェック機能に誤動作が発生することがあります。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票(回答)とともにメールに添付してください。

②黄色のセル

回答が必須である設問では、セルが黄色で表示されています。回答の記入があれば白地に戻ります。また、同じ表の中で不整合が起きていると、セルが黄色に表示されます。(例:委員会があると回答しているのに、名称等の記載がない)不整合を修正すると、白地に戻ります。

回答が完了した後、各設問の右側にある【記入上の注意】を参考に、黄色のセルが残っていないか確認してください。

③記入内容の反映

黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっているので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入(例:国立大学法人〇〇大学)すると「学校コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「学校コード」が表示され、「主たる所在地の都道府県名」と都道府県番号「No.」が表示されます。「学校コード」は回答ファイルのファイル名に使用します。

⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっています。

[3] 入力支援ツールの活用について

令和2年度から、回答内容を作成するための「入力支援ツール」を配布しています。「入力支援ツール」は、学生個々の情報を、調査票の各回答シートに入力する情報に変換することのできるツールです。以下のシートの回答については、調査票に直接入力することに加え、「入力支援ツール」で作成した値を調査票に貼り付けることも可能です。「入力支援ツール」は、JASSOウェブサイトの調査票と同じページからダウンロードしてください。

【入力支援ツール対応シート】

- 5.入学者数等
- 6.令和4年度卒業生
- 7.障害学生数
- 8.病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
- 9.精神障害(他の精神障害)の内訳
- 10.その他の障害の内訳
- 11.授業支援と授業以外の支援
- 12.発達障害が疑われる学生への支援

【入力支援ツールの構成】

- 診断名検索
- 障害学生情報入力シート
- 卒業生情報入力シート
- 発達障害(診断書なし、配慮あり)情報入力シート
- 発達障害(診断書なし、配慮あり)卒業生情報入力シート
- 5.入学者数等
- 6.令和4年度卒業生
- 7.障害学生数
- 8.病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
- 9.精神障害(他の精神障害)の内訳
- 10.その他の障害の内訳
- 11.授業支援と授業以外の支援
- 12.発達障害が疑われる学生への支援

各情報入力シートに障害学生別の情報を記入すると、当該情報を集計した値が「入力支援ツール」内のシート5~12の回答欄に表示されます。

入力した情報の反映結果を確認の上、各回答欄に表示された値をコピーし、調査票の各シ-

ト回答欄に値貼り付けをしてください。

【回答作成の流れ】

1. 調査票の入手

JASSO ウェブサイトからダウンロードする。

2. 回答の入力

1) 以下のシートには、例年同様、回答を直接入力してください。

1. 学校基本情報

2. 支援体制

3. 活動や取組

4. 受入に関する配慮

12. 発達障害が疑われる学生への支援の(1)

13. 意見、要望

2) これら以外のシートは、直接入力するか、「入力支援ツール」の以下の入力シートに、学生別の情報を入力してください。「入力支援ツール」の詳しい使い方は、JASSO ウェブサイトに公開されている「入力支援ツールの使い方」を参照してください。

【4】回答の提出

調査票の記入後に次の点を確認してください。

(1) 学校名、学校コード、所在地の都道府県名と No.が正しく表示されているか。

(2) 連絡先(電話・FAX 番号)、担当部課室名、担当者の役職・氏名(フリガナ)・E-Mail アドレスに誤りはないか。

(3) 前年度調査の回答内容と比較して、各項目の数値に著しい差がないか。

(4) 記入漏れシートはないか。

(5) 各シートに、黄色セルが残っていないか。(黄色セルがある場合、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。)

確認の後、回答を記入した調査票ファイル(Excel)にパスワードを設定し、メールに添付してJASSOまで送信してください。

「入力支援ツール」は提出せず控えとして保存してください。保存しておくことにより、次年度回答時に、不要となった情報を削除し、新たな情報を追加することで再利用が可能です。

【回答を記入した調査票のファイル名】

学校コード(13桁)_(アンダーバー)学校名_(アンダーバー)実態調査

(例:F123456789012_JASSO大学_実態調査)

※学校コードとは、文部科学省が各学校の識別用に割り当てているコードで、アルファベットのF(大学、短期大学)又はG(高等専門学校)で始まり、その後に12桁の数字が入っているものです。調査票の「1. 学校基本情報」シートの(1)に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で表示されますのでご確認ください。

【メールのタイトル】 学校名

【メールの送信先】 kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールで回答ファイルを送ることができない場合は、JASSO 学生生活部障害学生支援課に相談してください。

【パスワード】

パスワードは、JASSO から送った調査依頼文書(令和5年9月1日付け)に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、同パスワードでロックの解除ができることを確認の上、メールに添付して送信してください。

(参考)パスワード設定方法

■ Excel2010・2013・2016

① [ファイル] タブをクリックします。

② [情報] をクリックします。

③ [ブックの保護] をクリックします。

④ [パスワードの保護] をクリックし、パスワードを設定してください。

【5】調査結果の公表

令和6年夏頃を予定

調査結果は、JASSO ウェブサイト 障害のある学生の修学支援に関する実態調査

(https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/index.html) で閲覧できます。

【6】調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話: 03-5520-6176 E-Mail: shienka02@jasso.go.jp

FAQ よくある質問集

○ 全般的な質問

- Q** 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。
A 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」「3. 意見・要望」シートに回答してください。また、昨年度最髙年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 令和4年度卒業生」に、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」にも回答してください。
- Q** 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。
A 学生が在籍している間は回答してください。全く在籍学生がいけない場合はその旨を連絡してください。
- Q** キャンパスが分かれていますので、キャンパスごとに回答してもいいですか。
A お手数ですが1校1回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。
- Q** 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。
A 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に内容を記載するか、追加分についての別表を作成して調査票(回答)とともにメールに添付してください。
- Q** 5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。
A 令和5年5月1日時点の数値を記入してください。
- Q** 研修生は対象となりますか。
A 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。
- Q** 本学では、春入学の学生と秋入学の学生がいます。入学者数はどのように計上しますか。
A 調査期日(今年度5月1日)現在、1年生の入学者数を合算して計上してください。
- Q** 令和4年度に入学し、留年したため現在1年生の場合、入力支援ツールの現況の欄は、「入学者(新1年生)」と、「在籍者」のどちらを選択すればいいですか。
A 「在籍者」を選択してください。

- Q** 令和5年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。
A 学校に籍のある学生は全て計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。
- Q** 共通テスト利用の入試は、志願者数等に計上しますか。
A 個別の試験を行っていない入試形態の場合は計上しないでください。
- Q** 昨年度支援を行なった学生がいますが、今年度は申出がなく、支援も行なっていません。この場合、計上しますか。
A 障害学生数としては計上し、支援障害学生数には計上しないでください。
- Q** 昨年度は支援をしていた学生が今年度途中で退学してしまいました。この場合、障害学生に計上しますか。
A 今年度5月1日時点で在籍していれば計上してください。

○ 調査票の取得と回答方法について

- Q** 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。
A ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、JASSOに連絡してください。
- Q** メールで回答を送りましたが、間違はなく届くかどうか不安です。
A メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。
- Q** 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。
A 修正後、回答ファイル名の学校名の後に(再提出)と追記したファイルをメールに添付し、「学校名(再提出)」というメールタイトルで再送付してください。
- Q** 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。
A 本調査票は集計上の都合によりセルに保護をかけていますが、行の高さは編集できます。該当セルのある行を選択し、全文が表示されるまで高さを広げてください。
- Q** 障害についての質問
Q 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。
A 実態調査では学校や個人が特定されるような結果を公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。

- Q 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。
- A 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが把握していない学生については障害学生に計上しません。ただし、推察される障害が発達障害で何らかの支援を行っている場合は、この後のFAQも参照してください。

- Q 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 3～5ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。

- Q 発達障害(診断書あり)で、SLD、ADHD、ASDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 発達障害の中に「発達障害の重複」という小区分があります。この区分で回答してください。

- Q 精神障害で、神経症性障害等と摂食障害・睡眠障害等の重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。
- A 精神障害の中に「他の精神障害」という小区分があります。この区分で回答してください。

- Q 発達障害らしい学生がいて、対応に気をつけています。この場合、入力支援ツールの発達障害(診断書なし・配慮あり)情報入力シートに計上しますか。

- A 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行われている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。

- Q 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害種別はどのように計上しますか。

- A 身体障害と発達障害又は精神障害が重複している場合は、障害種別は身体障害とし、重複する発達障害又は重複する精神障害の該当欄に、その学生の発達障害又は精神障害の情報を入力してください。

- Q 最近、障害があることが分かった学生がいて、5月1日現在でそのことを把握していなかったのですが、この学生は障害学生数に含めますか？

- A 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在で在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。

- Q 令和元年度から「性別違和」が調査対象外となりましたが、これは、性別違和の学生への支援は、障害学生支援関連部署の担当ではなくなるということですか？

- A 性別違和は障害とは捉えない方向へ進んでいくものと考えられることを受けて、本調査の対象外となりました。性別違和の学生への支援担当部署について等、それぞれの大学等での取扱いに影

響を及ぼすものではありません。

○活動や取組、支援について

- Q 「3.障害学生支援に関する活動や取組」において「演習」は⑯の「講義」、⑰の「研修」のどちらに当てはまりますか？

- A カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑯の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑰の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑯の「講座・講演等イベント」となります。

- Q 学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援内容のところに計上しますか。

- A 学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には計上してください。学校が関与していない場合は、その支援内容は計上しません。

- Q 一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。

- A 学校に申出がなく、学校が支援していない場合は、計上しません。

- Q 自主的に障害学生を支援している学生から、ノートテイクのための入室許可の申出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。

- A 支援のための入室許可は、学校の支援として「その他の授業支援」として計上してください。ただし、この場合のノートテイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。

- Q ハンコンテイクや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生のどこに計上したらいいですか。

- A 「学生が運営する組織に参加する学生がいる。」に計上してください。

- Q ボランティア活動を行なう学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウントはどのように行なえばいいでしょうか。

- A 支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、又は本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。

- Q 授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。

- A 「その他」に計上し、どういった支援学生なのかを記入する欄に、その旨(○の授業の一環として

障害学生支援をしている等)を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C、その他」を選択し「C、その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。

Q 学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。

A 「2.支援体制」の(7)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設問がありますので、そちらに記入してください。授業支援と授業以外の支援には計上しません。

Q 精神障害に該当する学生に対する「休学」という措置を支援として捉えていいですか。また、休学に至るまで面談等、フォローしていた。こういった類も何らかの支援として捉えていいですか。

A 「休学」という措置単体のみを行った学生は支援障害学生に計上しないでください。しかし、休学中に定期的に連絡を取っている等があれば、支援障害学生に計上してください。また、休学に至るまでの面談等、フォローが年度内の話であれば、支援障害学生として計上してください。

【お問い合わせ】

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課

障害学生調査・分析係

電話:03-5520-6176

E-Mail: shienka02@jasso.go.jp

調査票

(大学・大学院用)

※課程別の調査票については学部(通学課程)のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

1. 課程数

短期大学:学部(通学課程)、学部(通信教育課程)、専攻科

高等専門学校:学部(通学課程)、専攻科

2. 学科(専攻)数

短期大学:人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、芸術、その他

高等専門学校:社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2023.html

1. 学校基本情報

令和5年度(2023年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査
(大学・大学院用)

1. 学校基本情報		学校コード表示欄
(1) 学校名と主たる所在地	学校名	主たる所在地の都道府県名
	No.	

(2) 学校全体の学生数 ※課程や学生数がない場合には0を入力してください。

課程	令和5年度 全学生数	令和5年度 全入学者数	令和4年度 全卒業者数
学部			
大学院			
専攻科			
計	0	0	0

全入学者数又は全卒業者数が0の場合、以下の当てはまる理由を選択してください。

<input type="checkbox"/>	年	年から募集停止しているため、入学者はいない。
<input type="checkbox"/>	年	年開学のため、卒業者はまだいない。
<input type="checkbox"/>	その他	

(3) 本調査の担当部署(者) ※担当者が異動しても連絡が取れるよう、E-Mailはできるだけ組織アドレスを記入してください。

部署名	担当者
役職	氏名
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
連絡先	E-Mail

(4) 障害学生支援の担当部署(者)
※セミナーの案内等をメールで送付しますので、できるだけ組織アドレスを記入してください。なお、障害学生支援担当部署がない場合は、案内等を送付しても差し支えない宛先を記入してください。(例:総務課等)

部署名	担当者
役職	氏名
郵便番号	所在地
電話番号	FAX番号
連絡先	E-Mail

次に、「2. 支援体制」シートを記入してください。

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針(ガイドライン)又は障害学生支援に関する規程等(例:入学選抜、修学支援に関わる委員会、部署、担当者等)に関する規程、規定等)について、該当する欄に「」を記入してください。なお、学生会等に関する規程等のうち、障害学生に関する具体的な裏記がないものは、下記①に該当しません。

<input type="checkbox"/>	①対応要領又は基本方針、規程等がある。 ①をホームページに掲載している。 URL: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②令和5年度中に決定予定である。
<input type="checkbox"/>	③対応要領又は基本方針、規程等はない。

(2) 障害学生支援に関する委員会等
障害学生支援について協議、検討する欄に「」を記入し、下欄に代表者について記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門委員会がある(障害学生委員会、バリアフリー委員会、委員会、支援担当者会議等)。 委員会名 <input type="text"/> 代表者(委員長等)の役職等(副学長、学部長等) <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②専門委員会はないが、他の委員会と対応している(学生委員会等)。 委員会名 <input type="text"/> 代表者(委員長等)の役職等(副学長、学部長等) <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援に関して検討・協議する委員会はない。

(3) 紛争解決のための第三者組織
障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行なう学内機関について、該当する欄に「」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。
<input type="checkbox"/>	②他の機関(ハラスメント委員会等)で対応している。機関 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③第三者的視点で調整を行なう機関はない。

(4) 障害学生支援担当部署(者)
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関について、該当する欄に「」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門部署・機関がある(障害学生支援センター、バリアフリー支援室等) 部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している(学生課、保健室等) 部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援業務を行なう部署・機関はない

2. 支援体制

2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

①専任スタッフ (担当者がいる場合、左の欄に「1」を記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター	
イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー	
ウ. 障害学生を専門に担当する医師	
エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持つ教職員	
オ. 障害学生支援を専門に担当する職員	
カ. 障害学生支援を専門に担当する教員	
キ. その他	
②兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の全員が随時対応する場合は左の欄のみ「1」を記入し、人数は記入不要です)	人数
ア. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当するコーディネーター	
イ. 他の業務と兼任で障害学生を担当するカウンセラー	
ウ. 他の業務と兼任で障害学生を担当する医師	
エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持ち他の業務と兼任で支援を行なう教職員	
オ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する職員	
カ. 他の業務と兼任で障害学生支援を担当する教員	
キ. その他	
③外部スタッフ	人数
ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等	
イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技術者(手話通訳、ノートタイパー等)	
ウ. その他	

2. 支援体制

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
学生生活において必要となる施設・設備の整備状況について、該当する欄に「1」を記入してください。

①屋外	部分的に整備しているが、現在必要な箇所を整備しているが、学内全体に整備する必要がある	部分的に整備しているが、現在必要な箇所を整備しているが、学内全体に整備する必要がある	完全に整備している	未整備
ア. 道路の舗装、段差の解消等				
イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等				
ウ. 点字ブロック、標識シール等				
エ. 専用駐車場				
②屋内				
ア. 自動扉等出入り口の整備				
イ. エレベーター				
ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等				
エ. 車椅子移動等に必要なスペース確保				
オ. 点字プレート等教室表示				
カ. 障害障害者用屋内信号装置				
ク. 障害者用トイレ				
ク. 自習室、学習室				
ケ. 燃気誘導ランプ				
③支援機器				
ア. 点字プリンタ				
イ. 立体コピー機				
ウ. 拡大読書機				
エ. 点字情報端末				
オ. 筆談器等				
カ. 車椅子、簡易ベット等				
その他				

※以下に、その他の具体的な内容を記入してください。

(5) 障害学生の相談受付窓口
障害学生が支援の申出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか、窓口の有無及びその周知について、該当する欄に「1」を記入してください。

①支援の申出等の相談に対応する窓口がある。	
ア. 窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	
イ. 窓口は設けているが、特に周知はしていない。	
②支援の申出等の相談に対応する窓口はない。	
ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	
イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない。	

(6) 支援の申出等に関する対応手順
障害学生から支援の申出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に「1」を記入してください。

①対応手順を規定した文書がある。	
②対応要領等に対応手順が記載されている。	
③対応手順を規定する文書はない。	

2. 支援体制

(8) 支援学生（ノートテイク等）
 支援学生を支援する学生（人数、所属する組織、所属について回答してください。支援学生の数は、現在支援に携わっている、又は本年度中に支援に携わる予定の人数を、延べ数ではなく集計で計上してください。障害学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している、学校が関わっていない場合を含みません。

1) 支援学生の数 ※正確な人数が不明の場合は概数で回答してください。
 人

① 支援学生がいる（支援学生に支援を依頼している）。
 支援学生が行なっている具体的な支援内容 ※複数ある場合は、複数記入してください。

② 支援学生はいない（支援学生による支援は行っていない）。

2) 支援学生の組織 ※複数回答可
 ① 学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。
 A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

② 上記①以外の支援学生がいる。
 i) 学生が自主的に運営する組織に参加する支援学生がいる。
 A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

ii) 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。
 A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

iii) その他 上記 i) ii) に該当しない支援学生がいる。

※後援の一環として障害学生支援を行なっている場合は、その中で単位取得・成績評価等に反映している場合は、下の C. その他 を選択して具体的な内容を記入してください。
 以下にどのような支援学生なのかを記入してください。（例：ゼミの課題として行なっている等）。

A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

次に、「3. 活動や取組」を記入してください。

3. 活動や取組

3. 活動や取組

以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。

① ① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組
 ア. 教職員向けの研修会等の実施

イ. 学生向けの研修会等の実施

ウ. パンフレット等の配布

エ. その他

② ② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組
 ア. 教職員向けの研修会等の実施

イ. 学生向けの研修会等の実施

ウ. パンフレット等の配布

エ. その他

③ ③ 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している。）
 ア. 相談窓口について

イ. 支援の申出方法について

ウ. 支援内容決定のプロセスについて

エ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明

オ. 在籍障害学生数

カ. 在籍支援障害学生数

キ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示

ク. その他

	<p>④障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援</p> <p>ア、学外機関との連携、支援情報の提供</p> <p>イ、一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施</p> <p>ウ、障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施</p> <p>エ、インターンシップ等先、就職先の開拓、企業との連携</p> <p>オ、その他</p>
	<p>⑤他大学等との連携</p> <p>連携している学校名と連携内容又は参加している(大学等による)ネットワーク名と活動内容を記入してください。</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p>

	<p>⑥学外機関との連携</p> <p>相談・支援機関、訓練機関、企業等、連携機関の名称と連携内容を記入してください。</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p> <p>名称/内容</p>
	<p>⑦相談対応、懇談会等(障害学生・支援スタッフ向け)</p>
	<p>⑧障害学生支援に関する(学内)教員研修(FD等)</p> <p>対象</p> <p>名称/内容</p> <p>対象</p> <p>名称/内容</p> <p>対象</p> <p>名称/内容</p> <p>対象</p> <p>名称/内容</p> <p>対象</p> <p>名称/内容</p> <p>対象</p> <p>名称/内容</p> <p>対象</p>

⑨障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)	
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象

⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数
名称/ 内容	派遣した人数

⑪障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)	
名称/ 内容	回数
名称/ 内容	回数
名称/ 内容	回数
名称/ 内容	回数
名称/ 内容	回数
名称/ 内容	回数
名称/ 内容	回数

- ⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布
- ⑬オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供
- ⑭入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続などに関する学内規程や支援事例等の周知

⑮障害学生支援に関する講座・講演等イベント	
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象
名称/ 内容	対象

⑯障害学生支援又は障害者支援に関する講義(ポランティア論等)

名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別

⑰発達障害、精神障害の傾向がある学生を把握するための取組

ア. 全学生に対し又は学年単位で(例えばは新入生全員を対象にするなど)、心理検査やメンタルヘルスに関するアンケートを実施し、把握を行なっている。

イ. 教職員が発達障害等の可能性に気づいた場合、支援担当部署等に相談したり、情報共有したりすることができる。

ウ. 教職員を対象に、学生の困りごとを把握するために必要なスキル等に関する研修等を実施している。

--	--	--

⑱前項⑰の取組で実態を把握した後のフォローアップ

ア. 把握した学生との面談を実施している。

イ. 必要に応じて、学生に医療機関(学内の保健管理センター含む)を紹介している。

ウ. 希望する学生に心理検査等を実施している。

--	--	--

次に、「4. 受入れに関する配慮」シートを記入してください。

4. 受入れに関する配慮

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①~③のうち該当する欄に「I」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「I」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

①入試要項(募集要項)に、受験上の配慮に関する記載がある。

ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している

イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。

ウ. その他

②ホームページに受験上の配慮に関する記載があるか、記載のある入試要項を掲載している。

ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している

イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している。

ウ. その他

③入試要項にもホームページにも記載していない。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①~④のうち該当する欄に「I」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「I」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

①随時、受け付けている。

② 全学共通のルールで期間を設けている。
※ルールは同じだが試験日が違うので実際の期日は違うという場合もこちらを選択してください。

ア. 出願受付締切まで

イ. 試験前日まで

ウ. その他

③学部、学科等や入試形態によって違う。

④特に告知はしていないが、相談があれば対応する。

4. 受入れに関する配慮

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
令和5年度入学者選抜において、もし受験者から申出があったら対応が可能であった受験上の配慮について、該当する欄に「1」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	① 配慮の準備があるか、申出があれば対応可能であった配慮がある。
	<input type="checkbox"/> A. 点字問題を点字で解答
	<input type="checkbox"/> B. 拡大文字問題の準備
	<input type="checkbox"/> C. 拡大解答用紙の準備
	<input type="checkbox"/> D. 音声で出題し音声で解答
	<input type="checkbox"/> E. マークシートに替えて文字で解答
	<input type="checkbox"/> F. チェック解答
	<input type="checkbox"/> G. 試験時間の延長
	<input type="checkbox"/> H. 照明器具の準備
	<input type="checkbox"/> I. 特製机の使用
	<input type="checkbox"/> J. 拡大鏡等の持参使用
	<input type="checkbox"/> K. 補聴器の持参使用
	<input type="checkbox"/> W. その他
具体的な内容	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
#	
<input type="checkbox"/> ② 申出がなかったため検討していない。	

次に、「5. 入学者数等」シートを記入してください。

5. 入学者数等

(1) 所属のある入学者数等

入学者数は実数、相込者数、志願者数、受験者数、合格者数、合格者数は延べ数です。

区分	⑥ 左の③～⑥の1年受験上の配座を行なった数																					
	普通科(通学課程)					特別科(通学課程)																
	特別支援科		特別支援科(通学課程)		特別支援科(通学課程)		特別支援科(通学課程)		特別支援科(通学課程)													
	障害者	障害者以外	障害者	障害者以外	障害者	障害者以外	障害者	障害者以外	障害者	障害者以外												
標準課程																						
特設課程																						
職業科																						
国際科																						
外国語科																						
芸術科																						
音楽科																						
美術科																						
体育科																						
保健科																						
看護科																						
福祉科																						
情報科																						
英語科																						
外国語科																						
総合科																						
その他																						
合計																						
備考	この欄には、所属のある入学者数等以外の入学者数を記入してください。																					
注	この欄には、所属のある入学者数等以外の入学者数を記入してください。																					

種別区分	種別区分	科目別の具体的な内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		
47		
48		
49		
50		

(2)受験上の配座の内容

※上記の内容は、受験生が受験する科目の受験科目の配座内容に準じて記載されています。

※以下の配座内容が記載されている場合は、下記の内容は、受験生が受験する科目の受験科目の配座内容に準じて記載されています。

区分	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
国語																							
英語																							
算数																							
理科																							
社会																							
外国語																							
音楽																							
美術																							
体育																							
その他																							
特別選考																							
その他																							
区分不明																							

6. 令和4年度卒業生

(1) 学部(通学課程) 最髙年次及び卒業障害学生数

障害種別	R4年度		③ 就職希望者数
	① R4年度 4月1日現在	② R5年度 3月31日現在	
視覚障害			
聴覚・言語障害			
身体不自由			
知的障害			
発達障害			
精神障害			
その他			
計	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行っていた卒業生の数

発達障害			
(診断書なし)			
計	0	0	0

(2) 状況別卒業障害学生数(令和5年5月1日現在)

障害種別	A 大学院 研究科					B 大学院 学部					C 短期大学 本科					D 専攻科					E 別科					① 進学者の計	② 就職している 進学者のうち	③ 就職していない 進学者のうち	計
	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤				
視覚障害																										0	0	0	0
聴覚・言語障害																										0	0	0	0
身体不自由																										0	0	0	0
知的障害																										0	0	0	0
発達障害																										0	0	0	0
精神障害																										0	0	0	0
その他																										0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の数

障害種別	A 大学院 研究科					B 大学院 学部					C 短期大学 本科					D 専攻科					E 別科					① 進学者の計	② 就職している 進学者のうち	③ 就職していない 進学者のうち	計
	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤				
発達障害																										0	0	0	0
(診断書なし)																										0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

セル、シート、ブックの構成はできません。
(全シート共通)

7.1 障害学生数
(1) 学障(特定学障)の障害学生数

区分	学障(特定学障)の障害学生数										計
	言語障害	聴覚障害	視覚障害	知的障害	発達障害	身体障害	精神障害	その他	言語障害	聴覚障害	
A.人文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B.法文学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C.経済学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D.工学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E.農学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F.看護(薬)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G.看護(歯)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H.理学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I.薬学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J.獣医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K.医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
L.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

内訳(診断名)欄に、診断名を記入すると、右側の<障害区分確認欄>に、その診断名の障害区分と記入が必要なシート名が表示されます。
障害区分が表示されず、「診断名検索」シートのオートフィルターで部分検索してもヒットしない場合は、「その他の障害」に区分し、シート10に
内訳(診断名)を記入してください。
※1人の学生に複数の診断名がある場合は主たる障害名で区分してください。いずれが主とはせず重複している場合は、1つずつ入力して障
害区分を確認した後、内訳(診断名)欄には、複数の診断名を同一行に記入してください。

- ・「複数の診断名がある場合は主たる障害名で区分してください。いずれが主とはせず重複している場合は、1つずつ入力して障
害区分を確認した後、内訳(診断名)欄には、複数の診断名を同一行に記入してください。」
- ・「病弱・虚弱(内部障害等)」と、「病弱・虚弱(他の慢性疾患)」又は「その他の障害」に該当する診断名がある→病弱・虚弱(内部障害等)
- ・「精神障害」と、それ以外の障害に該当する診断名がある→「精神障害(他の精神障害)」
- ・「精神障害」と「発達障害」が重複している→「その他の障害」

課程	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア 障害学生 数	イ その他の障 害学生数	現況
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

内訳(診断名)欄に、診断名を記入すると、右側の<障害区分確認欄>に、その診断名の障害区分と記入が必要なシート名が表示されます。障害区分が表示されず、「診断名検索」シートのオートフィルターで部分検索してもヒットしない場合は、「その他の障害」に区分し、シート10に内訳(診断名)を記入してください。

*1人の学生に複数の診断名がある場合は主たる障害名で区分してください。いずれが主とは言えず重複している場合は、1つずつ入力して障害区分を確認した後、内訳(診断名)欄には、複数の診断名の区分の仕方

《複数の診断名があり、障害区分がまたがる場合の区分の仕方》

- ・「病弱・虚弱(内部障害等)」と、「病弱・虚弱(他の慢性疾患)」又は「その他の障害」に該当する診断名がある→病弱・虚弱(内部障害等)
- ・「その他の障害」と、それ以外の障害に該当する診断名がある→「その他の障害」以外の障害区分
- ・「精神障害」と2つ以上の小区分に該当する複数の診断名がある→「精神障害(他の精神障害)」
- ・「精神障害」と「発達障害」が重複している→「その他の障害」

	課程	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア 障害学生 数	イ アのうち 支援障害 学生数	現況
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						

10. その他の障害の内訳

内訳(診断名)欄に、診断名を記入すると、右側の<障害区分確認欄>に、その診断名の障害区分と記入が必要なシート名が表示されます。障害区分が表示されず、「診断名検索」シートのオートフィルターで部分検索してもヒットしない場合は、「その他の障害」に区分し、シート10に内訳(診断名)を記入してください。

*1人の学生に複数の診断名がある場合は主たる障害名で区分してください。いずれが主とは言えず重複している場合は、1つずつ入力して障害区分を確認した後、内訳(診断名)欄には、複数の診断名を同一行に記入してください。

《複数の診断名があり、障害区分がまたがる場合の区分の仕方》

- ・「病弱・虚弱(内部障害等)」と、「病弱・虚弱(他の慢性疾患)」又は「その他の障害」に該当する診断名がある→病弱・虚弱(内部障害等)
- ・「その他の障害」と、それ以外の障害に該当する診断名がある→「その他の障害」以外の障害区分
- ・「精神障害」と2つ以上の小区分に該当する複数の診断名がある→「精神障害(他の精神障害)」
- ・「精神障害」と「発達障害」が重複している→「その他の障害」

	課程	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア 障害学生 数	イ アのうち 支援障害 学生数	現況
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						

11. 授業支援と授業以外の支援

11. 授業支援と授業以外の支援

(1) 学業(電子機器)の支援内容

区分	状況障害	言語障害	聴覚障害	視覚障害	身体不自由	精神疾患	S A A S L D D D	発達障害	精神障害	その他の障害
学業支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 学業支援(教科書・参考書)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 教科書の電子化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 教科書の拡大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 ガイドヘルプ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 手話訳(教科書録音等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 ノートテイク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 パソコン活用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 ビデオ教材制作(文字起こし)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 教科書・資料のデジタル化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 教科書・資料の拡大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 解き方解説	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 パソコンの教材使用許可	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 授業事項等文書伝達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 使用機器伝達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 教材・実習配座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 教室の環境配慮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 その他の授業支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11. 授業支援と授業以外の支援

11. 授業支援と授業以外の支援

(2) 学業(電子機器)以外の支援内容

区分	状況障害	言語障害	聴覚障害	視覚障害	身体不自由	精神疾患	S A A S L D D D	発達障害	精神障害	その他の障害
学業支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 学業支援(教科書・参考書)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 教科書の電子化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 教科書の拡大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 ガイドヘルプ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 リーディングサービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 手話訳(教科書録音等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 ノートテイク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 パソコン活用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 ビデオ教材制作(文字起こし)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 教科書・資料のデジタル化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 教科書・資料の拡大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 解き方解説	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 パソコンの教材使用許可	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 授業事項等文書伝達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 使用機器伝達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 教材・実習配座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 教室の環境配慮	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 印刷機・複写機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 その他の授業支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11. 授業支援と授業以外の支援

その他の授業支援の具体的な内容		講義大区分	講義小区分	具体的な内容
講義	副読			
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

11. 授業支援と授業以外の支援

その他の授業以外の支援の具体的な内容		講義大区分	講義小区分	具体的な内容
講義	副読			
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(1) 発達障害のある学生への支援に関する課題

発達障害のある学生への支援について、課題と併せて、課題に付している事項に記入してください(複数回答可)。

<input type="checkbox"/>	学生の学業上の困難が発達障害によるものかどうかの把握
<input type="checkbox"/>	教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	職員・教員・学生への理解
<input type="checkbox"/>	周囲の学生の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の自己理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の保護者の理解
<input type="checkbox"/>	支援体制・管理関係
<input type="checkbox"/>	職人情報の取扱い
<input type="checkbox"/>	その他

(2) 発達障害が疑われ、何らかの支援を行っている学生数

(1) 学部(通学課程) 学科(専攻)①人文学部-保健(医・歯学)

学年	性別	人文学部					工学部					経済学部					農学部				
		S	A	U	S	D	S	A	U	S	D	S	A	U	S	D	S	A	U	S	D
学科(専攻)別/ 障害種別 1 発達障害(発達障害) 2 発達障害(発達障害) 3 発達障害(発達障害) 4 発達障害(発達障害) 5 発達障害(発達障害) 6 発達障害(発達障害) 7 発達障害(発達障害) 8 発達障害(発達障害) 9 発達障害(発達障害) 10 発達障害(発達障害) 11 発達障害(発達障害) 12 発達障害(発達障害) 13 発達障害(発達障害) 14 発達障害(発達障害) 15 発達障害(発達障害) 16 発達障害(発達障害) 17 発達障害(発達障害) 18 発達障害(発達障害) 19 発達障害(発達障害) 20 発達障害(発達障害) 21 発達障害(発達障害) 22 発達障害(発達障害) 23 発達障害(発達障害) 24 発達障害(発達障害) 25 発達障害(発達障害) 26 発達障害(発達障害) 27 発達障害(発達障害) 28 発達障害(発達障害) 29 発達障害(発達障害) 30 発達障害(発達障害) 31 発達障害(発達障害) 32 発達障害(発達障害) 33 発達障害(発達障害) 34 発達障害(発達障害) 35 発達障害(発達障害) 36 発達障害(発達障害) 37 発達障害(発達障害) 38 発達障害(発達障害) 39 発達障害(発達障害) 40 発達障害(発達障害) 41 発達障害(発達障害) 42 発達障害(発達障害) 43 発達障害(発達障害) 44 発達障害(発達障害) 45 発達障害(発達障害) 46 発達障害(発達障害) 47 発達障害(発達障害) 48 発達障害(発達障害) 49 発達障害(発達障害) 50 発達障害(発達障害)																					

学年	性別	人文学部					工学部					経済学部					農学部				
		S	A	U	S	D	S	A	U	S	D	S	A	U	S	D	S	A	U	S	D
学科(専攻)別/ 障害種別 1 発達障害(発達障害) 2 発達障害(発達障害) 3 発達障害(発達障害) 4 発達障害(発達障害) 5 発達障害(発達障害) 6 発達障害(発達障害) 7 発達障害(発達障害) 8 発達障害(発達障害) 9 発達障害(発達障害) 10 発達障害(発達障害) 11 発達障害(発達障害) 12 発達障害(発達障害) 13 発達障害(発達障害) 14 発達障害(発達障害) 15 発達障害(発達障害) 16 発達障害(発達障害) 17 発達障害(発達障害) 18 発達障害(発達障害) 19 発達障害(発達障害) 20 発達障害(発達障害) 21 発達障害(発達障害) 22 発達障害(発達障害) 23 発達障害(発達障害) 24 発達障害(発達障害) 25 発達障害(発達障害) 26 発達障害(発達障害) 27 発達障害(発達障害) 28 発達障害(発達障害) 29 発達障害(発達障害) 30 発達障害(発達障害) 31 発達障害(発達障害) 32 発達障害(発達障害) 33 発達障害(発達障害) 34 発達障害(発達障害) 35 発達障害(発達障害) 36 発達障害(発達障害) 37 発達障害(発達障害) 38 発達障害(発達障害) 39 発達障害(発達障害) 40 発達障害(発達障害) 41 発達障害(発達障害) 42 発達障害(発達障害) 43 発達障害(発達障害) 44 発達障害(発達障害) 45 発達障害(発達障害) 46 発達障害(発達障害) 47 発達障害(発達障害) 48 発達障害(発達障害) 49 発達障害(発達障害) 50 発達障害(発達障害)																					

〔1〕学部（国文学課程）、学科（専攻）②領域（医、歯学を除く。）～その他

学年	学期	科目	領域（医・歯学を除く。）				その他
			基礎	専攻	教育	保健	
医 学 部	1	1 基礎医学	○	○	○	○	○
		2 解剖学	○	○	○	○	○
		3 生理学	○	○	○	○	○
		4 生化学	○	○	○	○	○
		5 細胞病理学	○	○	○	○	○
		6 分子生物学	○	○	○	○	○
		7 免疫学	○	○	○	○	○
		8 分子遺伝学	○	○	○	○	○
		9 細胞分子生物学	○	○	○	○	○
		10 分子細胞生化学	○	○	○	○	○
		11 細胞組織発生学	○	○	○	○	○
		12 発生学	○	○	○	○	○
		13 発生学特論	○	○	○	○	○
		14 発生学特論	○	○	○	○	○
		15 発生学特論	○	○	○	○	○
		16 発生学特論	○	○	○	○	○
		17 発生学特論	○	○	○	○	○
		18 発生学特論	○	○	○	○	○
		19 発生学特論	○	○	○	○	○
		20 発生学特論	○	○	○	○	○
		21 発生学特論	○	○	○	○	○
		22 発生学特論	○	○	○	○	○
23 発生学特論	○	○	○	○	○		
24 発生学特論	○	○	○	○	○		
25 発生学特論	○	○	○	○	○		
26 発生学特論	○	○	○	○	○		
27 発生学特論	○	○	○	○	○		
28 発生学特論	○	○	○	○	○		
29 発生学特論	○	○	○	○	○		
30 発生学特論	○	○	○	○	○		
31 発生学特論	○	○	○	○	○		
32 発生学特論	○	○	○	○	○		
33 発生学特論	○	○	○	○	○		
34 発生学特論	○	○	○	○	○		
35 発生学特論	○	○	○	○	○		
36 発生学特論	○	○	○	○	○		
37 発生学特論	○	○	○	○	○		
38 発生学特論	○	○	○	○	○		
39 発生学特論	○	○	○	○	○		
40 発生学特論	○	○	○	○	○		
41 発生学特論	○	○	○	○	○		
42 発生学特論	○	○	○	○	○		
43 発生学特論	○	○	○	○	○		
44 発生学特論	○	○	○	○	○		
45 発生学特論	○	○	○	○	○		
46 発生学特論	○	○	○	○	○		
47 発生学特論	○	○	○	○	○		
48 発生学特論	○	○	○	○	○		
49 発生学特論	○	○	○	○	○		
50 発生学特論	○	○	○	○	○		

学年	学期	科目	領域（医・歯学を除く。）				その他
			基礎	専攻	教育	保健	
医 学 部	1	1 基礎医学	○	○	○	○	○
		2 解剖学	○	○	○	○	○
		3 生理学	○	○	○	○	○
		4 生化学	○	○	○	○	○
		5 細胞病理学	○	○	○	○	○
		6 分子生物学	○	○	○	○	○
		7 免疫学	○	○	○	○	○
		8 分子遺伝学	○	○	○	○	○
		9 細胞分子生物学	○	○	○	○	○
		10 分子細胞生化学	○	○	○	○	○
		11 細胞組織発生学	○	○	○	○	○
		12 発生学	○	○	○	○	○
		13 発生学特論	○	○	○	○	○
		14 発生学特論	○	○	○	○	○
		15 発生学特論	○	○	○	○	○
		16 発生学特論	○	○	○	○	○
		17 発生学特論	○	○	○	○	○
		18 発生学特論	○	○	○	○	○
		19 発生学特論	○	○	○	○	○
		20 発生学特論	○	○	○	○	○
		21 発生学特論	○	○	○	○	○
		22 発生学特論	○	○	○	○	○
23 発生学特論	○	○	○	○	○		
24 発生学特論	○	○	○	○	○		
25 発生学特論	○	○	○	○	○		
26 発生学特論	○	○	○	○	○		
27 発生学特論	○	○	○	○	○		
28 発生学特論	○	○	○	○	○		
29 発生学特論	○	○	○	○	○		
30 発生学特論	○	○	○	○	○		
31 発生学特論	○	○	○	○	○		
32 発生学特論	○	○	○	○	○		
33 発生学特論	○	○	○	○	○		
34 発生学特論	○	○	○	○	○		
35 発生学特論	○	○	○	○	○		
36 発生学特論	○	○	○	○	○		
37 発生学特論	○	○	○	○	○		
38 発生学特論	○	○	○	○	○		
39 発生学特論	○	○	○	○	○		
40 発生学特論	○	○	○	○	○		
41 発生学特論	○	○	○	○	○		
42 発生学特論	○	○	○	○	○		
43 発生学特論	○	○	○	○	○		
44 発生学特論	○	○	○	○	○		
45 発生学特論	○	○	○	○	○		
46 発生学特論	○	○	○	○	○		
47 発生学特論	○	○	○	○	○		
48 発生学特論	○	○	○	○	○		
49 発生学特論	○	○	○	○	○		
50 発生学特論	○	○	○	○	○		

※その他の授業変遷の具体的な内容

学年	学期	科目	領域（医・歯学を除く。）	その他
1	1			
1	2			
1	3			
1	4			
1	5			
1	6			
1	7			
1	8			
1	9			
1	10			
1	11			
1	12			
1	13			
1	14			
1	15			
1	16			
1	17			
1	18			
1	19			
1	20			
1	21			
1	22			
1	23			
1	24			
1	25			
1	26			
1	27			
1	28			
1	29			
1	30			
1	31			
1	32			
1	33			
1	34			
1	35			
1	36			
1	37			
1	38			
1	39			
1	40			
1	41			
1	42			
1	43			
1	44			
1	45			
1	46			
1	47			
1	48			
1	49			
1	50			

※ その他の授業以外の支援

No.	課程	障害区分	実施した支援の種類/実施率の百分
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

13. 意見、要望

(1) 障害学生支援について、課題と感じていることや困っていることを記入してください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じていることを記入してください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、意見、要望を自由に記入してください。

令和5年度(2023年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における

障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和6年8月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:shienka02@jasso.go.jp